

令和 7 年

近畿管内一級河川の水質現況の公表

(資 料 編)

令和 8 年 7 月

近 畿 地 方 整 備 局

目 次

1. 令和7年水質調査結果	1
1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点	1
1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	2
1. 3 BOD75%値のランク別割合	5
1. 4 各地点の水質状況	7
1. 5 主要河川の地点別水質経年変化	17
1. 6 水系別の水質概況	28
1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況	42
2. 住民参加による水質調査	49
2. 1 住民協働調査の目的	49
2. 2 調査内容	49
2. 3 実施水系、湖沼と地点数	51
2. 4 参加者数	52
3. 令和7年度ダイオキシン類の調査結果	54
3. 1 ダイオキシン類の調査地点	54
3. 2 ダイオキシン類の調査結果	54
4. 水質事故の発生状況	59

1. 令和7年水質調査結果

1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点

近畿地方整備局管内で、近畿地方の一級水系河川の直轄管理区間延長約800kmに対し、水質調査を167地点で実施（一部地点は指定区間にて実施）した。

令和7年に水質調査を行った地点の内訳は、河川類型指定 100地点（河川96地点、ダム湖4地点）、湖沼類型指定 52地点（うち12地点は滋賀県調査）、類型未指定 15地点（河川11地点、ダム湖4地点）となっている。類型別及び水系別の水質調査地点数を表－1.1及び1.2に示す。

表－1.1 類型別水質調査地点数

	河 川 類型指定	湖 沼 類型指定	類 型 未指定	計
河 川	96	0	11	107
ダ ム	4	5	4	13
湖 沼	0	47	0	47
計	100	52	15	167

表－1.2 水系別水質調査地点数

水 系 名	新し 宮 川がわ	紀 の 川がわ	大 和 川がわ	淀 川がわ	加 古 川がわ	揖 保 川がわ	九 頭 竜 川がわ	北 川がわ	由 良 川がわ	円 山 川がわ	合 計
調査地点数	5	11	14	103	6	6	8	3	6	5	167

水質調査地点数についての経年変化を見ると、昭和42年には39地点であったものが、翌年に43地点、3年後の昭和45年には46地点となりその後も増加し、平成17年には168地点、平成23年には169地点となった。令和7年は2箇所減少し、167地点にて水質調査を行っている。

1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

類型指定区間内において河川指定100地点と湖沼指定13地点（琵琶湖については47地点のうち8地点で代表）の113地点に対するBOD75%値（またはCOD75%値）の満足状況は以下のとおりである。

図－1.1に河川、図－1.2に湖沼の類型指定地点における類型別環境基準の満足状況を示す。

類型別に見ると、河川については、AA類型、A類型、C類型、D類型では、令和6年、令和7年とも全ての地点で環境基準を満足した。B類型では、令和7年に1地点で環境基準を満足しなかった。

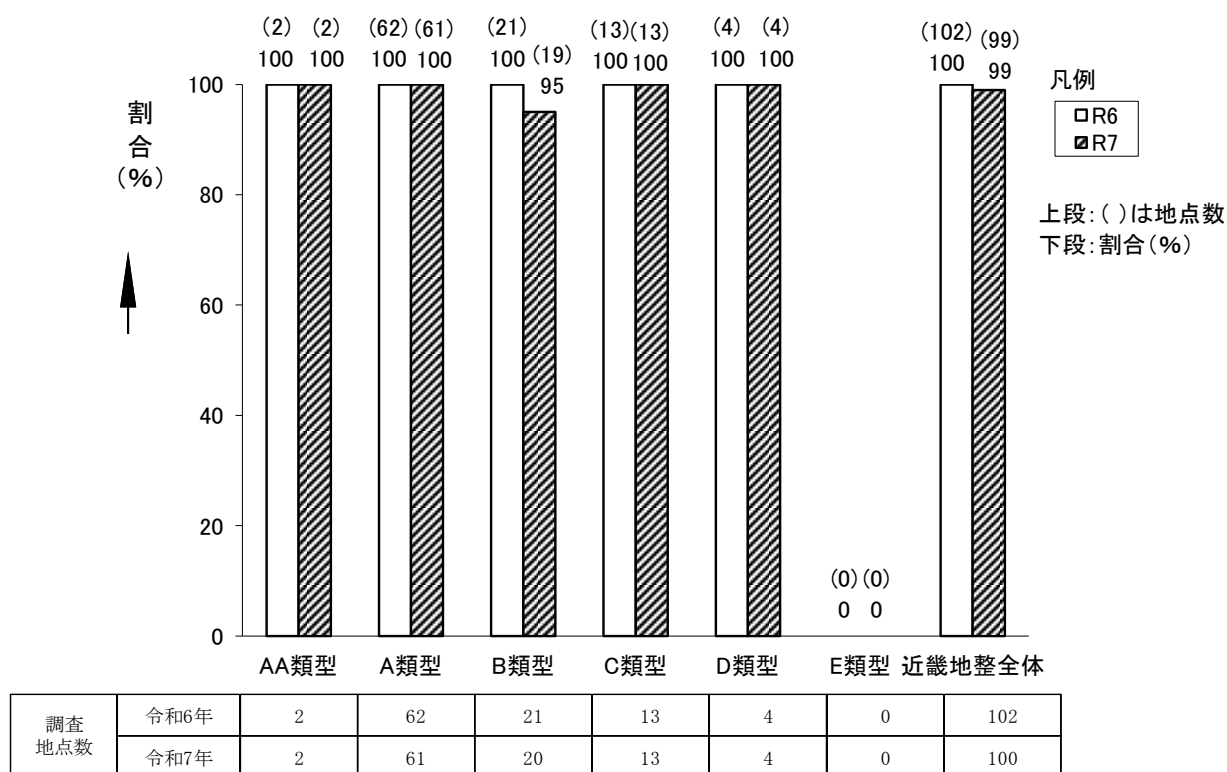
河川全体では、令和6年は全ての地点で環境基準を満足したが、令和7年は1地点で環境基準を満足しなかった。なお、E類型に指定されている地点はない。

湖沼については、AA類型では令和6年と同様に8地点全てで環境基準を満足しなかった。A類型では令和6年は5地点のうち2地点で環境基準を満足せず、令和7年は5地点のうち3地点で環境基準を満足しなかった。

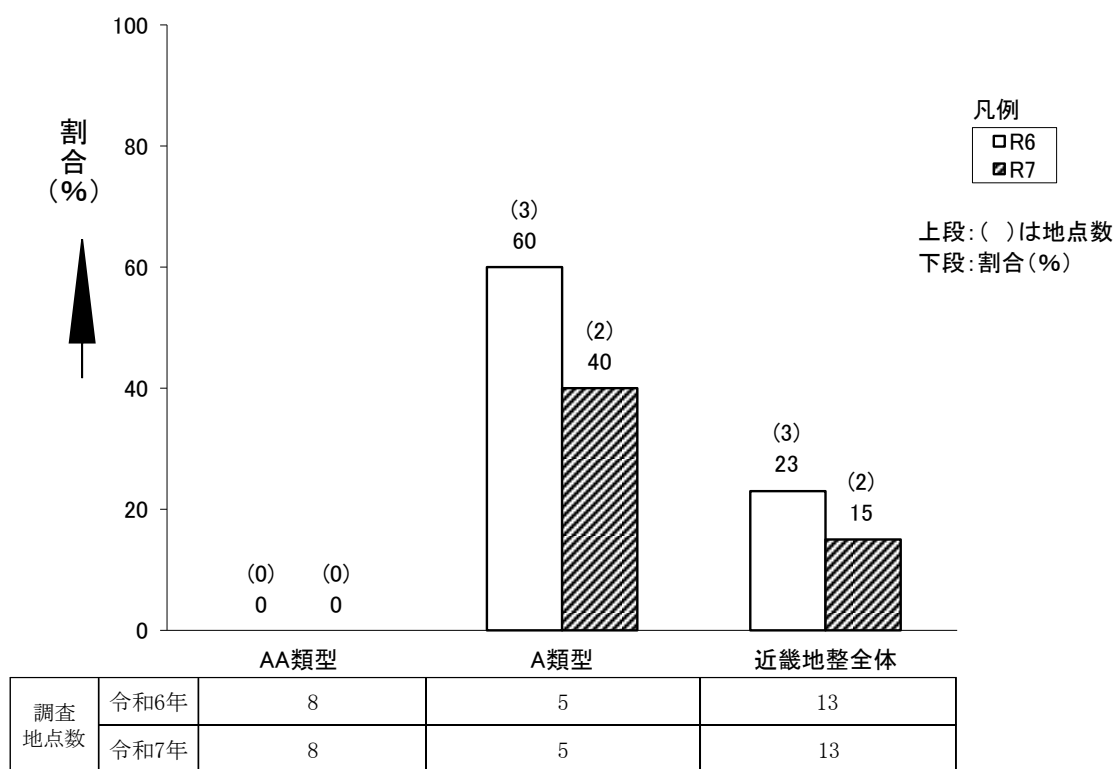
図－1.3に河川、図－1.4に湖沼の類型指定地点における水系型別環境基準の満足状況を示す。

河川について水系別に見ると、令和6年はすべての地点で環境基準を満足したが、令和7年は円山川水系（4地点）で1地点が環境基準を満足しなかった。

湖沼について水系別で見ると、新宮川水系（1地点）、紀の川水系（1地点）では令和6年と同様に全ての地点で環境基準を満足した。淀川水系（11地点）では、令和6年は10地点で環境基準を満足しなかった。また令和7年は11地点すべてで環境基準を満足しなかった。



図－1.1 河川類型指定地点における類型別環境基準の満足状況
(令和6年、令和7年) (BOD75%値)



図－1.2 湖沼類型指定地点における類型別環境基準の満足状況
(令和6年、令和7年) (COD75%値)

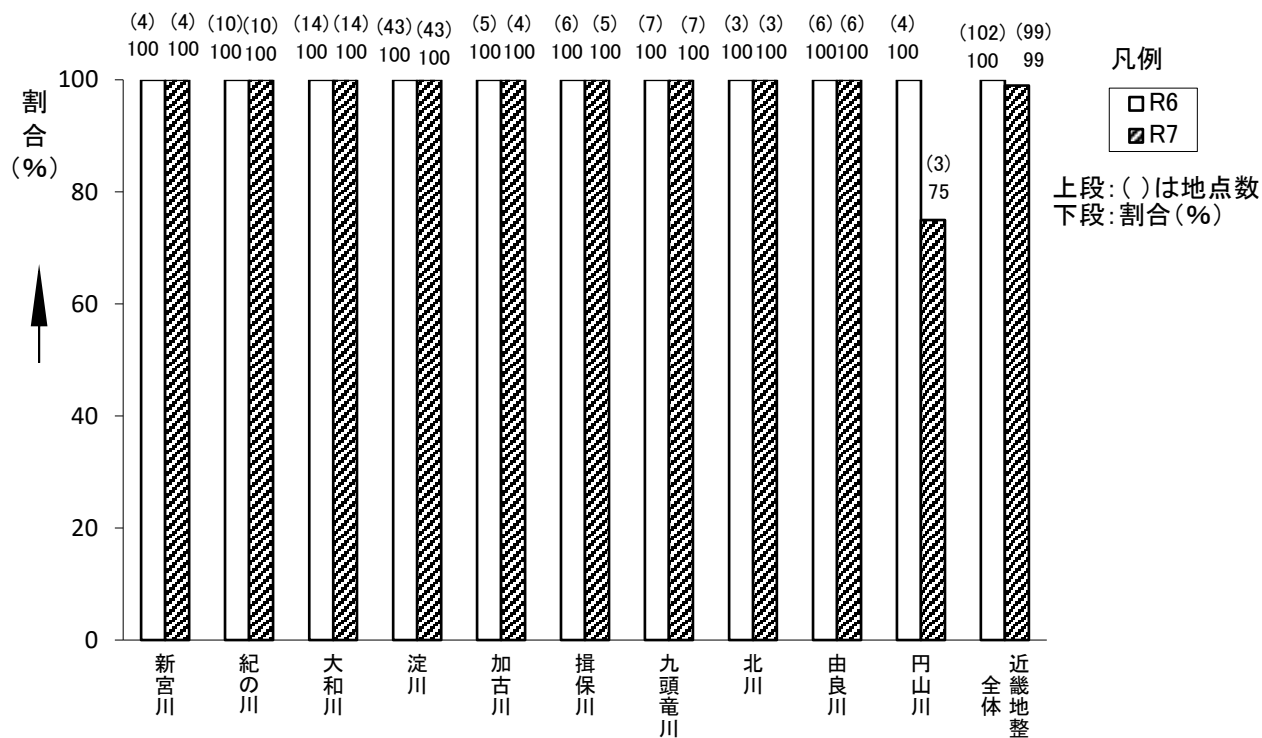


図-1.3 河川類型指定地点における水系別環境基準の満足状況
(令和6年、令和7年) (BOD75%値)

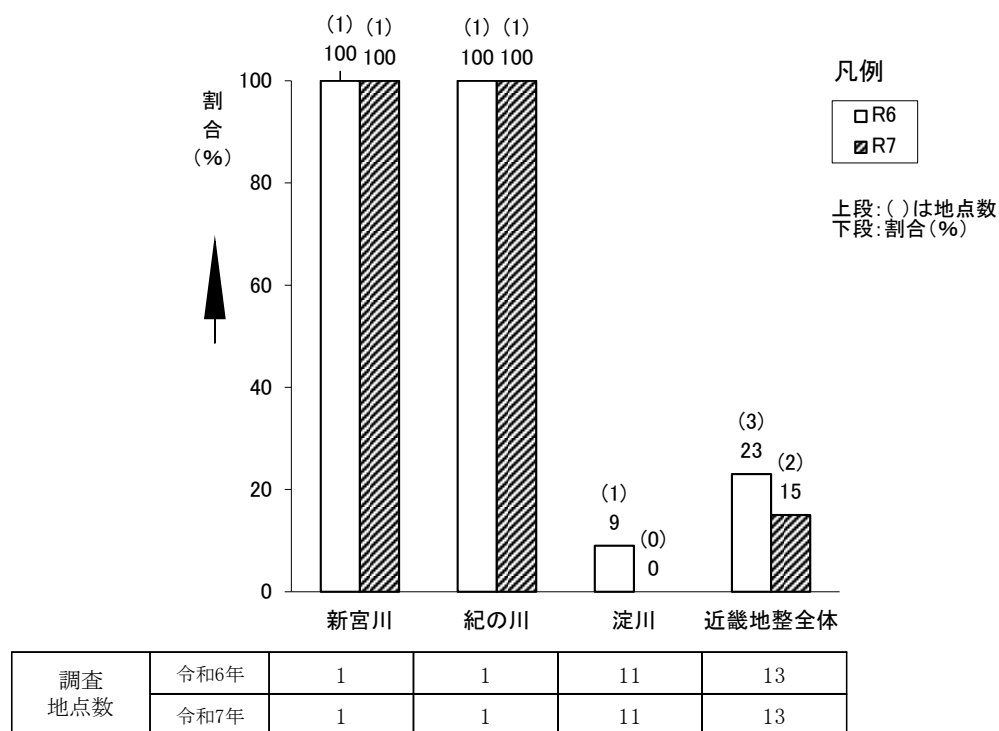
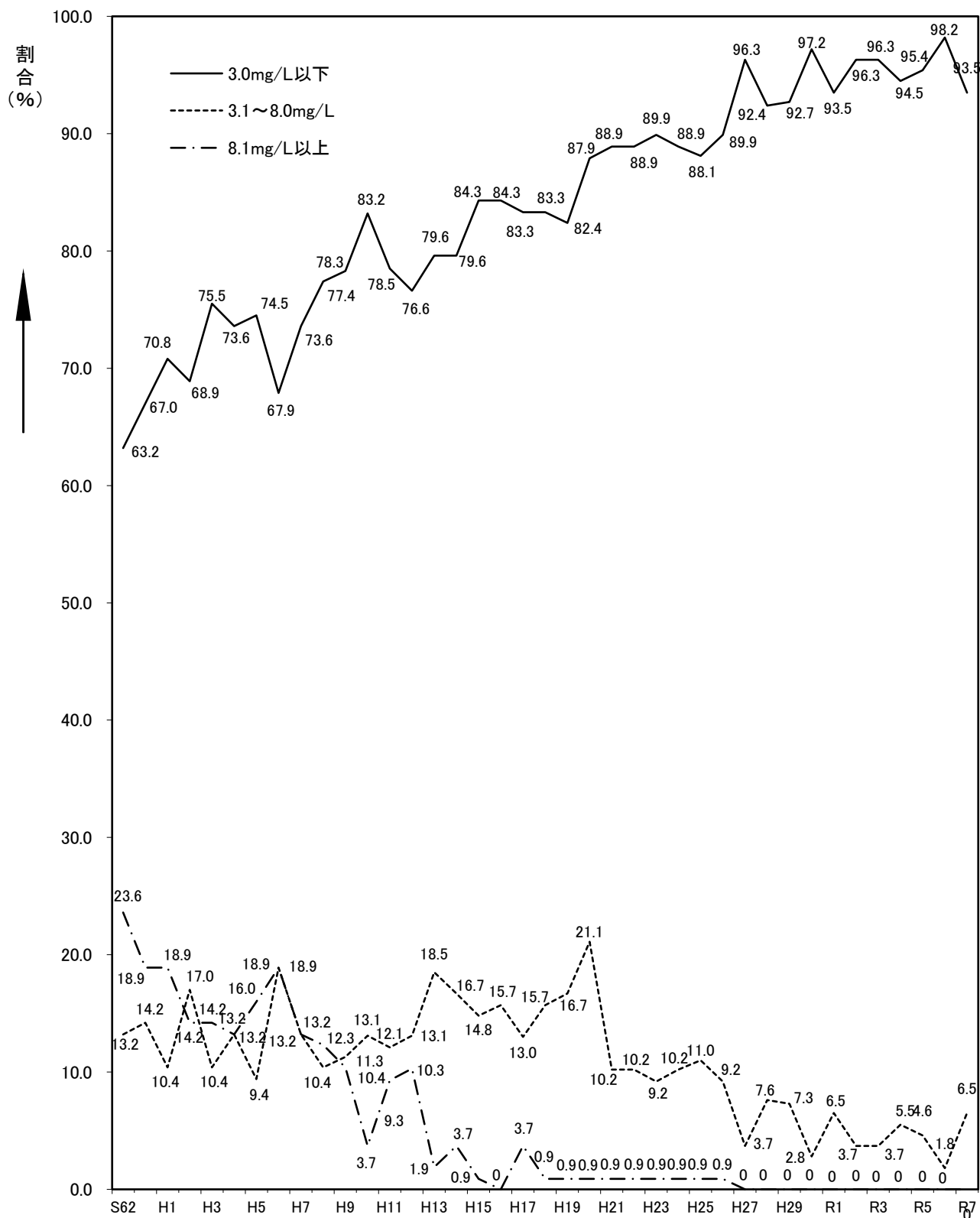


図-1.4 湖沼類型指定地点における水系別環境基準の満足状況
(令和6年、令和7年) (COD75%値)

1. 3 BOD75%値のランク別割合

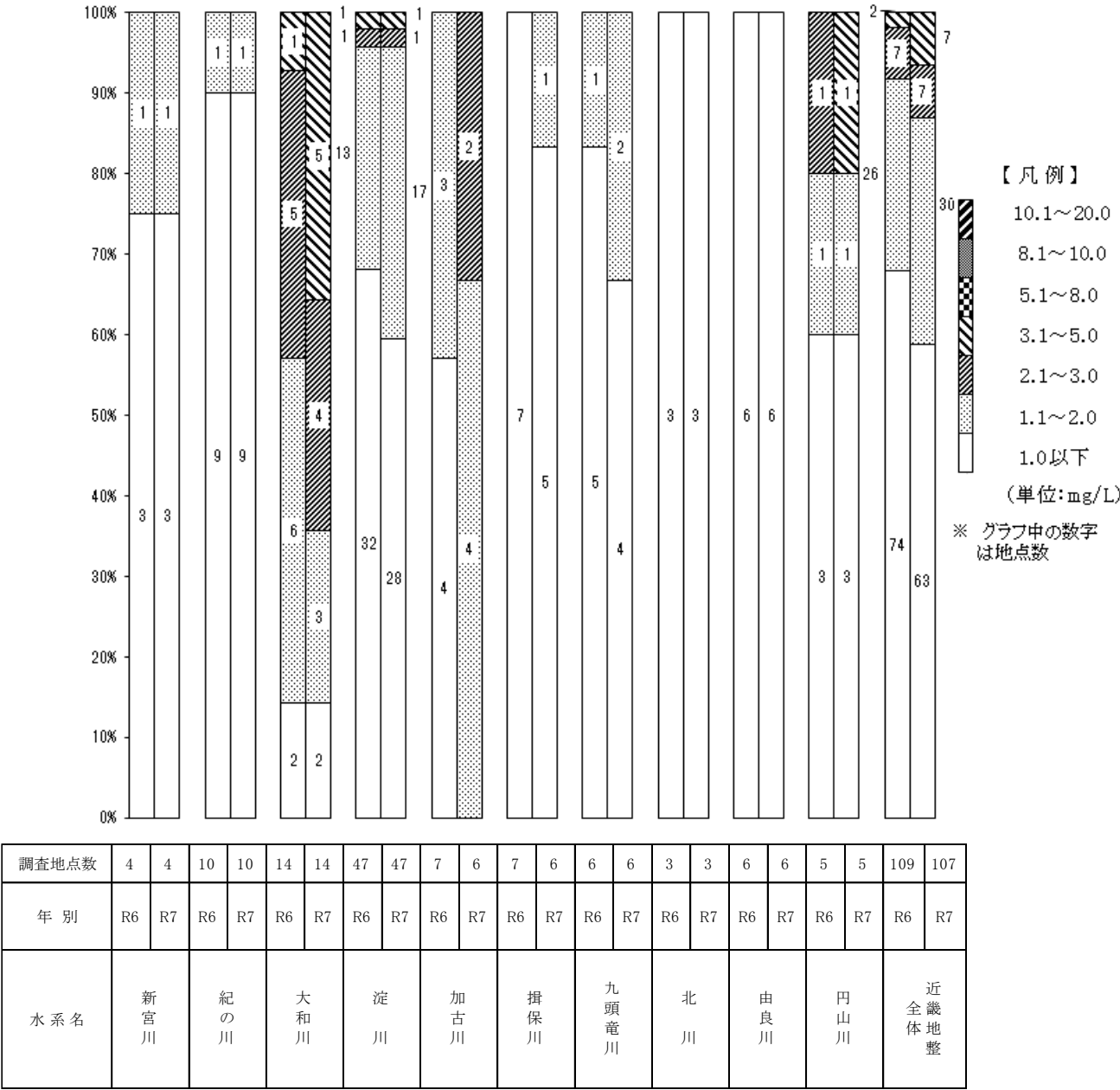
令和7年の河川107調査地点におけるBOD75%値のランク別割合経年変化を図－1.5に示す。水道用水として利用でき、またサケやアユが生息できる良好な水準（BOD75%値が3.0mg/L以下）の水質を満足している地点の割合は全調査地点の93.5%であり、令和6年と比べて4.7ポイント減少した。



図－1.5 BOD75%値ランク別割合経年変化（107 地点）

河川におけるBOD75%値のランク別割合について、令和6年と令和7年とを比較した結果を図－1.6に示す。

水利用に望ましくないとされる水質（BOD75%値が8.1mg/L以上）の地点は、令和6年と同様に令和7年はなかった。



図－1.6 水系別BOD75%値のランク別割合（107地点）

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

1. 4 各地点の水質状況

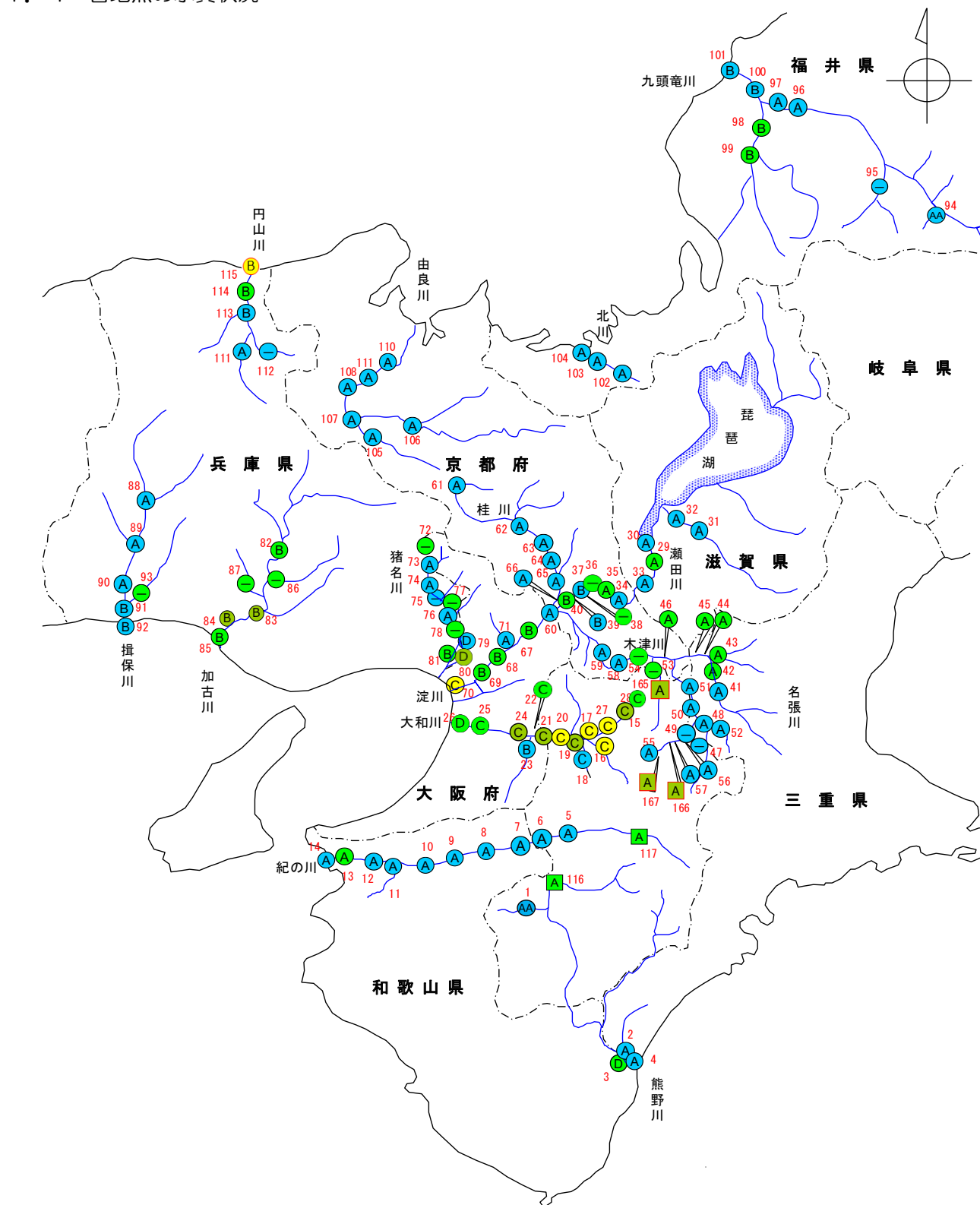
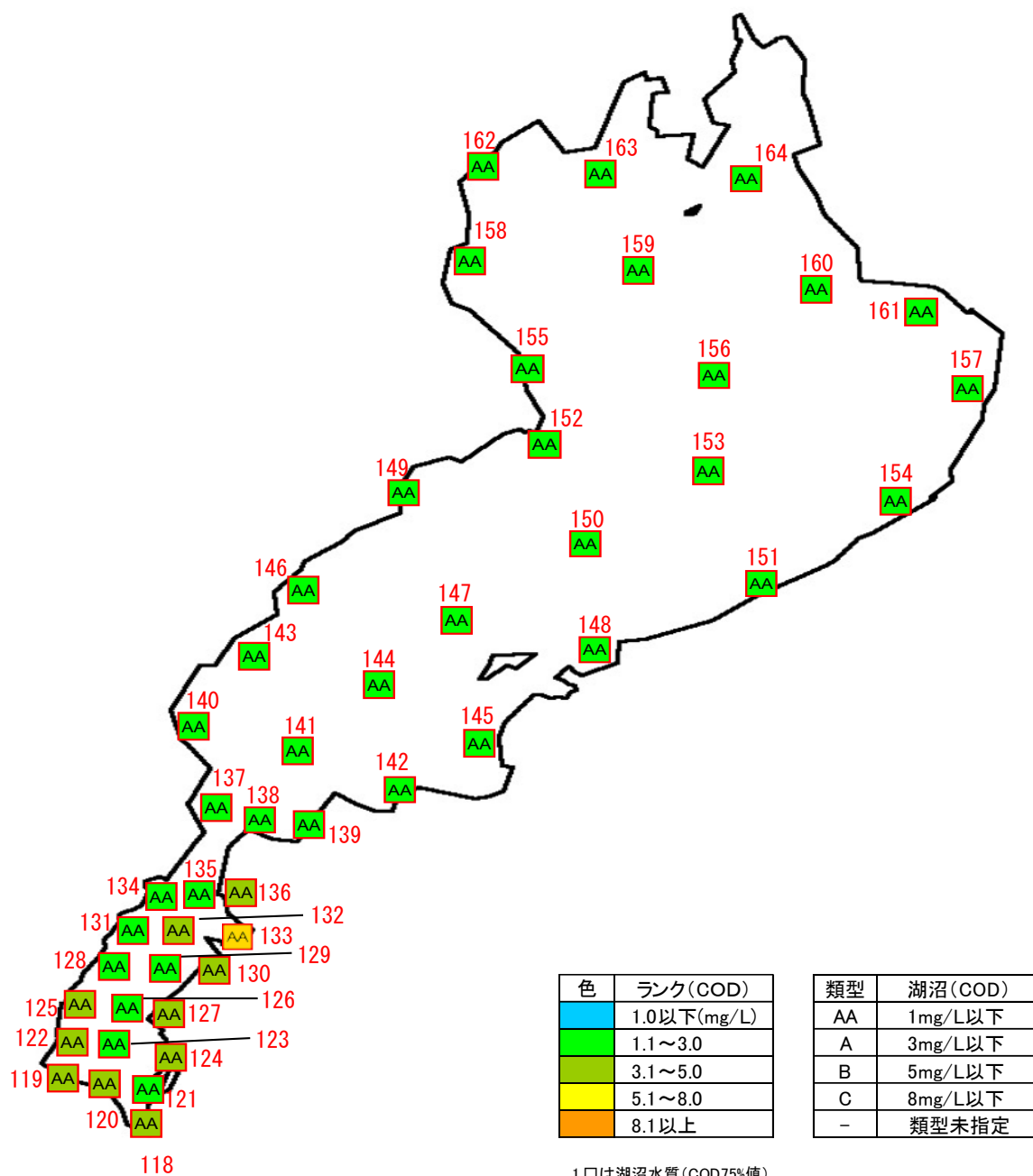


図-1.7 河川(湖沼)の水質状況(BOD75%値及びCOD75%値)



1. □は湖沼水質(COD75%値)
2. □内の記号は、環境基準の類型である。
3. □(赤囲い)は、環境基準値を満足していない地点である。
4. 数字: 表-1.5に示す調査地点

図-1.8 琵琶湖における水質状況 (COD 75%値)

各地点のBOD年平均值について表－1.3に示す。

令和7年は、熊野川および北川ほか5地点で0.5mg/Lと最も小さい値となった。

表－1.3 令和7年一級河川のBOD年平均值

単位:mg/L

河川名	調査地点		各地点のBOD年平均值
	地点数	府県名	
くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5 熊野川河口 0.6
きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6 御蔵橋 0.6 恋野橋 0.6 岸上橋 0.7 三谷橋 0.6 藤崎井堰 0.7 船戸 0.8 新六ヶ井堰 1.0 紀の川大橋 0.8
やまとがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 4.7 太子橋 3.8 御幸大橋 3.1 藤井 2.4 国豊橋 1.9 河内橋 1.8 浅香新取水口 1.5 遠里小野橋 1.6
よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 1.2 宇治橋 0.8 隠元橋 0.9 観月橋 0.8 宇治川大橋 0.9 宇治川御幸橋 1.0 枚方大橋 1.0 鳥飼大橋 1.0 菅原城北大橋 1.2 伝法大橋 4.3
やすがわ ※野洲川	2	滋賀	石部 0.8 服部 0.7
かつらがわ ※桂川	5	京都	渡月橋 0.6 西大橋 0.7 久世橋 0.6 羽束師橋 0.9 宮前橋 0.9
うだがわ ※宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7 高倉橋 0.8 辻堂橋 0.8 室生路橋 0.7
なばりがわ ※名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.6 名張 0.8 家野橋 0.9 高山ダム下流 1.1
きづがわ ※木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.9 長田橋 1.2 岩倉橋 1.3 島ヶ原大橋 1.3 笹瀬橋 1.2 加茂恭仁大橋 0.9 玉水橋 0.8 木津川御幸橋 0.7
いながわ ※猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.7 軍行橋 0.8 猪名川橋 0.8 利倉 2.5
かこがわ 加古川	3	兵庫	国包 2.0 池尻 2.4 相生橋 1.9
いぼがわ 揖保川	5	兵庫	曲里 0.5 山崎 0.7 龍野 0.6 上川原 0.7 本町橋 1.0
まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.7 立野 1.2 結和橋 1.7 港大橋 2.1
ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.6 筈巻橋 0.5 波美橋 0.6 由良川橋 0.6 以久田橋 0.7
きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.5 高塚 0.5 西津橋 0.6
くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6 新布施田 0.8 高屋橋 0.6 九頭竜川河口 1.1
ひのがわ ※日野川	2	福井	深谷 1.0 日光橋 1.3

備考：※印は主要支川（直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川）

表－1.4 (1) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 地点番号は図－1.7 に示す。
 地点名のアンダーラインは滋賀県調査
 環境基準状況：○印は達成
 ×印は未達成
 ー印は環境基準指定なし

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	B O D (mg/L)								基準値	
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)			
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7		
新 宮 川 （水系）													
1	川 原 樋 川	◎ 川 原 樋 川 取 水 口	AA	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.5	○	○	1	
2	熊 野 川	◎ 熊 野 大 橋	A	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	○	○	2	
3	市 田 川	◎ 市 田 川 河 口	D	1.5	1.7	2.0	1.9	2.5	3.0	○	○	8	
4	熊 野 川	熊 野 川 河 口	A	0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.6	0.8	○	○	2	
紀 の 川 （水系）													
5	紀 の 川	◎ 大 川 橋	A	0.6	0.6	0.5	0.6	0.9	0.8	○	○	2	
6	〃	御 蔵 橋	A	0.7	0.6	0.6	0.7	1.1	0.8	○	○	2	
7	〃	◎ 恋 野 橋	A	0.6	0.6	0.5	0.6	0.9	0.9	○	○	2	
8	〃	岸 上 橋	A	0.6	0.7	0.5	0.7	1.0	0.8	○	○	2	
9	〃	三 谷 橋	A	0.6	0.6	0.6	0.5	0.9	0.7	○	○	2	
10	〃	◎ 藤 崎 井 堰	A	0.7	0.7	0.7	0.8	1.2	1.0	○	○	2	
11	貴 志 川	高 島 橋	A	1.4	0.7	1.8	0.6	2.1	1.0	○	○	2	
12	紀 の 川	◎ 船 戸	A	0.9	0.8	0.7	0.9	2.6	1.4	○	○	2	
13	〃	新 六 ヶ 井 堰	A	1.2	1.0	0.7	1.1	2.7	1.1	○	○	2	
14	〃	紀 の 川 大 橋	A	1.2	0.8	0.7	0.8	2.8	0.9	○	○	2	
大 和 川 （水系）													
15	佐 保 川	井 筒 橋	C	2.3	2.9	2.4	3.2	2.4	4.4	○	○	5	
16	初 瀬 川	上 吐 田	C	3.3	4.7	3.8	5.0	6.7	8.8	○	○	5	
17	大 和 川	太 子 橋	C	2.9	3.8	2.9	4.9	4.0	5.3	○	○	5	
18	曾 我 川	◎ 小 柳 橋	C	0.8	0.9	0.9	1.0	1.3	1.5	○	○	5	
19	〃	保 橋	C	2.0	2.3	1.9	2.1	3.2	3.8	○	○	5	

表-1.4 (2) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点 番号	河川名	地名	類型 指定	BOD (mg/L)										基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)				
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7			
20	大和川	御幸大橋	C	2.3	3.1	2.7	3.7	3.2	4.2	○	○	5		
21	〃	◎ 藤井	C	2.0	2.4	2.3	2.7	2.9	3.9	○	○	5		
22	〃	国豊橋	C	1.7	1.9	1.8	2.0	2.7	3.2	○	○	5		
23	石川	◎ 石川橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.2	1.8	○	○	3		
24	大和川	◎ 河内橋	C	1.4	1.8	1.6	2.2	2.0	3.3	○	○	5		
25	〃	◎ 浅香新取水口	C	1.2	1.5	1.3	1.5	1.7	2.7	○	○	5		
26	〃	◎ 遠里小野橋	D	1.3	1.6	1.4	1.7	1.8	2.9	○	○	8		
27	佐保川	◎ 額田部高橋	C	2.4	3.4	2.5	4.1	4.3	7.8	○	○	5		
28	〃	郡界橋	C	2.0	2.7	2.0	2.9	2.4	4.6	○	○	5		
淀川（水系）														
29	瀬田川	洗堰下	A	1.0	1.2	1.1	1.4	1.2	1.6	○	○	2		
30	〃	◎ 唐橋流心	A	0.6	0.6	0.7	0.7	1.0	1.0	○	○	2		
31	野洲川	石部	A	0.9	0.8	1.0	0.7	1.3	1.4	○	○	2		
32	〃	服部	A	0.9	0.7	0.8	0.8	2.8	1.2	○	○	2		
33	宇治川	大（天ヶ瀬ダム）峰橋	A	0.8	0.9	0.9	0.9	1.8	1.2	○	○	2		
34	〃	宇治橋	A	0.7	0.8	0.7	0.9	0.9	1.2	○	○	2		
35	〃	◎ 隠元橋	A	0.7	0.9	0.9	1.1	1.0	1.6	○	○	2		
36	山科川	中野橋	未指定	1.9	2.1	1.8	1.8	2.6	4.3	－	－	－		
37	宇治川	観月橋	B	0.7	0.8	0.6	0.8	1.0	1.1	○	○	3		
38	東高瀬川	三栖橋	未指定	1.7	1.1	1.1	1.2	4.2	1.6	－	－	－		
39	宇治川	宇治川大橋	B	0.7	0.9	0.7	1.0	0.8	1.1	○	○	3		
40	〃	◎ 宇治川御幸橋	B	0.9	1.0	1.0	1.3	1.2	1.7	○	○	3		
41	木津川	◎ 大野木橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.3	1.5	○	○	2		
42	〃	長田橋	A	1.1	1.2	1.3	1.5	1.5	1.6	○	○	2		
43	服部川	◎ 伊賀上野橋	A	1.1	1.3	1.1	1.5	2.4	2.5	○	○	2		
44	木津川	◎ 岩倉橋	A	1.1	1.3	1.3	1.6	1.8	1.7	○	○	2		

表-1.4 (3) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	B O D (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	
45	木 津 川	◎ 島ヶ原大橋	A	1.1	1.3	1.4	1.7	1.9	2.1	○	○	2
46	〃	◎ 笹瀬橋	A	1.1	1.2	1.1	1.6	1.8	2.2	○	○	2
47	青 蓮 寺 川	青 蓮 寺 ダ ム 湖	未指定	0.8	0.8	1.0	0.9	1.4	1.3	－	－	－
48	名 張 川	新 夏 見 橋	A	0.7	0.6	0.8	0.6	0.9	0.9	○	○	2
49	宇 陀 川	安 部 田	未指定	0.8	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	－	－	－
50	名 張 川	名 張	A	0.8	0.8	0.9	0.8	1.0	1.1	○	○	2
51	〃	◎ 家野橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.3	1.2	○	○	2
52	〃	比 奈 知 ダ ム 湖	A	1.2	0.8	1.5	0.8	2.8	1.5	○	○	2
53	〃	高 山 ダ ム 湖	未指定	1.4	1.4	1.6	1.5	3.0	2.9	－	－	－
54	〃	高 山 ダ ム 下 流	未指定	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	1.2	－	－	－
55	宇 陀 川	◎ 高倉橋	A	0.7	0.8	0.7	0.9	1.2	1.2	○	○	2
56	〃	◎ 辻堂橋	A	0.8	0.8	1.0	0.7	1.5	1.1	○	○	2
57	〃	室 生 路 橋	A	0.8	0.7	0.7	0.6	1.5	0.9	○	○	2
58	木 津 川	◎ 加茂恭仁大橋	A	0.8	0.9	0.9	1.0	1.9	1.2	○	○	2
59	〃	◎ 玉水橋	A	0.7	0.8	0.8	0.8	1.0	1.2	○	○	2
60	〃	◎ 木津川御幸橋	A	0.7	0.7	0.9	0.9	1.0	1.1	○	○	2
61	桂 川	貯 水 池 基 準 点 (日 吉 ダ ム)	A	0.9	0.9	0.9	1.0	2.4	1.5	○	○	2
62	〃	◎ 渡月橋	A	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.9	○	○	2
63	〃	◎ 西大橋	A	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	○	○	2
64	〃	久 世 橋	A	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9	0.7	○	○	2
65	〃	羽 束 師 橋	A	0.9	0.9	0.8	0.9	1.0	1.2	○	○	2
66	〃	◎ 宮前橋	A	1.1	0.9	1.1	1.0	3.0	1.2	○	○	2
67	淀 川	◎ 枚方大橋	B	0.9	1.0	1.0	1.1	1.8	1.7	○	○	3
68	〃	◎ 鳥飼大橋	B	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.4	○	○	3
69	〃	◎ 菅原城北大橋	B	1.0	1.2	1.0	1.3	2.1	2.6	○	○	3
70	〃	◎ 伝法大橋	C	2.4	4.3	3.7	4.8	5.5	10.0	○	○	5

表-1.4 (4) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	B O D (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	
71	芥 川	◎ 鷺 打 橋	A	0.8	0.9	0.9	0.9	1.2	1.5	○	○	2
72	一庫大路次川	一 庫 ダ ム	未指定	1.1	1.0	1.0	1.1	2.1	2.2	－	－	－
73	猪 名 川	◎ 銀 橋	A	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	1.3	○	○	2
74	〃	呉 服 橋	A	0.7	0.7	0.8	1.0	1.3	1.1	○	○	2
75	最 明 寺 川	最 明 寺 川 流 末	未指定	0.9	1.4	0.9	0.9	1.1	3.5	－	－	－
76	猪 名 川	◎ 軍 行 橋	A	0.8	0.8	1.0	0.9	1.1	1.4	○	○	2
77	内 川	内 川 流 末	未指定	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.5	－	－	－
78	駄 六 川	駄 六 川 流 末	未指定	1.3	1.4	1.2	1.3	1.9	2.6	－	－	－
79	猪 名 川	猪 名 川 橋	D	0.8	0.8	1.0	0.7	1.3	1.6	○	○	8
80	猪 名 川	◎ 利 倉	D	2.5	2.5	2.6	2.6	4.4	4.7	○	○	8
81	藻 川	◎ 中 園 橋	B	1.0	1.1	1.1	1.3	1.2	1.8	○	○	3
加 古 川 （水系）												
82	加 古 川	◎ 板 波	B	0.8	1.1	0.9	1.2	1.0	2.2	○	○	3
83	〃	国 包	B	1.1	2.0	1.0	2.3	2.1	3.3	○	○	3
84	〃	◎ 池 尻	B	1.3	2.4	1.1	2.2	2.6	11.0	○	○	3
85	〃	相 生 橋	B	0.9	1.9	0.6	1.9	2.1	3.9	○	○	3
86	東 条 川	古 川 橋	未指定	1.5	1.5	1.8	1.7	1.8	1.9	－	－	－
87	万 願 寺 川	西 脇 橋	未指定	1.5	1.8	1.3	1.4	2.8	3.7	－	－	－
揖 保 川 （水系）												
88	揖 保 川	曲 里	A	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.6	○	○	2
89	〃	◎ 山 崎	A	0.6	0.7	0.6	0.8	0.8	1.0	○	○	2
90	〃	◎ 龍 野	A	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	○	○	2
91	〃	◎ 上 川 原	B	0.6	0.7	0.6	0.7	1.3	1.1	○	○	3
92	〃	本 町 橋	B	0.8	1.0	0.8	0.5	1.1	2.3	○	○	3
93	林 田 川	構	未指定	0.7	1.0	0.8	1.2	0.9	1.3	－	－	－

表-1.4 (5) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値	
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)			
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7		
九頭竜川（水系）													
94	九頭竜川	◎ 九頭竜ダム湖	AA	0.6	0.6	0.7	0.7	1.0	0.7	○	○	1	
95	真名川ダム湖	真名川ダム湖	未指定	1.0	0.7	1.3	0.9	2.0	1.0	－	－	－	
96	九頭竜川	◎ 中角	A	0.5	0.6	0.5	0.6	0.9	0.8	○	○	2	
97	〃	高屋橋	A	0.7	0.6	0.6	0.6	1.2	0.9	○	○	2	
98	日野川	◎ 深谷	B	0.9	1.0	1.0	1.3	1.2	2.5	○	○	3	
99	〃	日光橋	B	1.0	1.3	1.1	1.2	1.4	1.8	○	○	3	
100	九頭竜川	◎ 新布施田	B	0.7	0.8	0.7	0.8	1.3	1.2	○	○	3	
101	〃	九頭竜川河口	B	1.1	1.1	0.7	0.5	2.7	2.8	○	○	3	
北川（水系）													
102	北川	上中橋	A	0.6	0.5	0.5	0.5	0.7	0.6	○	○	2	
103	〃	◎ 高塚	A	0.5	0.5	<0.5	0.5	0.6	0.6	○	○	2	
104	〃	西津橋	A	0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.5	0.9	○	○	2	
由良川（水系）													
105	土師川	◎ 土師橋	A	0.7	0.6	0.8	0.8	1.0	0.8	○	○	2	
106	由良川	◎ 以久田橋	A	0.6	0.7	0.6	0.7	0.8	1.1	○	○	2	
107	〃	◎ 音無瀬橋	A	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	0.8	○	○	2	
108	〃	筈巻橋	A	0.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.6	○	○	2	
109	〃	◎ 波美橋	A	0.5	0.6	0.5	0.7	0.8	1.0	○	○	2	
110	〃	◎ 由良川橋	A	0.6	0.6	0.7	0.6	0.9	1.1	○	○	2	
円山川（水系）													
111	円山川	◎ 府市場	A	0.5	0.7	0.6	0.8	0.7	1.2	○	○	2	
112	出石川	弘原	未指定	0.6	0.7	0.5	0.8	0.7	0.9	－	－	－	
113	円山川	◎ 立野	B	0.5	1.2	0.5	0.8	0.7	3.3	○	○	3	
114	〃	結和橋	B	1.6	1.7	2.2	1.6	2.9	4.1	○	○	3	
115	〃	港大橋	B	1.1	2.1	1.5	3.2	1.7	4.0	○	×	3	

表－1.5 (1) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点 (N・P)

地点番号は図－1.7 および図－1.8 に示す。

地点名のアンダーラインは滋賀県調査

環境基準状況：○印は達成

×印は未達成

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	C O D (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	
新 宮 川 (水系)												
118	熊 野 川	◎ 猿 谷 ダ ム 湖 中 央	A	1.6	1.8	1.9	2.0	2.4	2.6	○	○	3
紀 の 川 (水系)												
119	紀 の 川	大滝ダム湖ダムサイト	A	1.4	1.4	1.7	1.6	1.7	1.9	○	○	3
淀 川 (水系)												
120	琵琶湖 (南湖)	栗 津 沖 中 央	AA	2.8	3.0	2.9	3.2	3.2	3.6	×	×	1
121		三 保 ケ 崎 沖	AA	3.1	3.1	3.1	3.2	4.8	3.9	×	×	1
122		◎ 浜 大 津 沖	AA	3.1	3.2	3.3	3.2	4.3	4.3	×	×	1
123		浜 大 津 沖 中 央	AA	2.7	2.8	2.8	3.0	3.1	3.4	×	×	1
124		柳 ケ 崎 沖	AA	3.1	3.1	3.2	3.3	4.5	4.3	×	×	1
125		柳 ケ 崎 沖 中 央	AA	2.7	2.7	2.9	2.8	3.0	3.2	×	×	1
126		山 田 港 沖	AA	3.1	3.8	3.4	3.6	3.6	7.1	×	×	1
127		唐 崎 沖	AA	3.6	3.1	3.2	3.1	8.8	4.8	×	×	1
128		◎ 唐 崎 沖 中 央	AA	2.9	2.9	3.0	3.0	3.3	3.3	×	×	1
129		伊 佐 々 川 沖	AA	3.3	3.6	3.5	4.2	4.0	4.5	×	×	1
130		大 宮 川 沖	AA	2.7	2.7	3.0	2.8	3.1	3.0	×	×	1
131		大 宮 川 沖 中 央	AA	2.6	2.7	2.7	2.8	2.9	2.9	×	×	1
132		志 那 沖	AA	2.9	3.4	3.2	3.6	3.8	5.1	×	×	1
133		雄 琴 沖	AA	2.6	2.6	2.8	2.8	3.1	3.1	×	×	1
134		雄 琴 沖 中 央	AA	2.7	2.9	2.8	3.1	3.0	3.9	×	×	1
135	◎ 新 杉 江 港 沖	AA	4.0	4.5	4.0	5.1	6.2	5.7	×	×	1	
136	堅 田 沖	AA	2.5	2.5	2.8	2.7	3.0	2.9	×	×	1	
137	◎ 堅 田 沖 中 央	AA	2.7	2.6	2.9	2.8	3.2	3.0	×	×	1	
138	木 ノ 浜 沖	AA	2.7	2.8	2.9	3.1	3.0	3.4	×	×	1	
南湖 平 均				2.9	3.1	3.1	3.2	3.9	4.0			
139	琵琶湖 (北湖)	丹 出 川 沖	AA	2.3	2.3	2.6	2.5	2.8	2.9	×	×	1
140		丹 出 川 沖 中 央	AA	2.2	2.4	2.4	2.5	2.8	2.9	×	×	1
141		吉 川 港 沖	AA	2.4	2.4	2.6	2.6	3.0	3.0	×	×	1
142		ほ う ら い 沖	AA	2.2	2.2	2.4	2.4	2.8	2.8	×	×	1

表－1.5 (2) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	C O D (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	
143	琵琶湖 (北湖)	ほうらい沖中央	AA	2.2	2.3	2.4	2.4	3.0	2.8	×	×	1
144		日野川沖	AA	2.8	2.8	3.1	3.0	3.9	4.4	×	×	1
145		南比良沖	AA	2.2	2.2	2.3	2.3	3.4	2.8	×	×	1
146		○南比良沖中央	AA	2.3	2.3	2.4	2.5	3.2	3.2	×	×	1
147		長命寺沖	AA	2.3	2.4	2.7	2.6	3.1	3.5	×	×	1
148		◎北小松沖	AA	2.3	2.4	2.4	2.6	3.0	2.8	×	×	1
149		北小松沖中央	AA	2.1	2.1	2.2	2.2	3.5	2.7	×	×	1
150		◎愛知川沖	AA	2.4	2.4	2.5	2.5	3.1	3.4	×	×	1
151		大溝沖	AA	2.3	2.3	2.5	2.5	3.2	2.9	×	×	1
152		大溝沖中央	AA	2.1	2.1	2.3	2.1	3.1	2.5	×	×	1
153		石寺沖	AA	2.2	2.2	2.4	2.2	3.1	2.7	×	×	1
154		安曇川沖	AA	2.2	2.2	2.5	2.4	3.1	2.7	×	×	1
155		○安曇川沖中央	AA	2.3	2.4	2.4	2.5	3.1	2.9	×	×	1
156		彦根港沖	AA	2.5	2.4	2.6	2.6	3.5	3.0	×	×	1
157		外ヶ浜沖	AA	2.2	2.3	2.4	2.5	2.9	2.8	×	×	1
158		外ヶ浜沖中央	AA	2.3	2.3	2.3	2.5	3.1	3.0	×	×	1
159		天野川沖	AA	2.3	2.3	2.4	2.4	3.0	2.9	×	×	1
160		◎今津沖	AA	2.3	2.2	2.4	2.4	3.0	2.6	×	×	1
161		○今津沖中央	AA	2.3	2.3	2.3	2.4	3.1	3.0	×	×	1
162		姉川沖	AA	2.2	2.2	2.4	2.4	3.2	2.8	×	×	1
163	◎長浜沖	AA	2.4	2.4	2.5	2.7	3.0	3.0	×	×	1	
164	知内川沖	AA	2.2	2.2	2.4	2.3	3.0	3.0	×	×	1	
165	知内川沖中央	AA	2.2	2.2	2.4	2.3	2.9	2.8	×	×	1	
166	早崎港沖	AA	2.3	2.1	2.5	2.3	3.1	2.7	×	×	1	
北湖平均				2.3	2.3	2.4	2.4	3.2	3.0			
167	布目川	◎布目ダム	A	4.0	3.8	4.1	4.4	5.3	4.8	×	×	3
168	宇陀川	◎室生ダム湖	A	3.0	3.1	2.9	3.4	4.1	4.1	○	×	3
169	〃	◎県営水道取水口	A	3.2	3.3	3.4	3.9	4.0	4.5	×	×	3

1. 5 主要河川の地点別水質経年変化

表-1.3の地点ごとに、BOD年平均値の経年変化を以下に示す。

① 熊 野 川

熊野川の2地点のうち、熊野川河口は近年0.5～0.7mg/L程度で推移しており、熊野大橋は平成23年以降、0.5mg/Lで推移している。

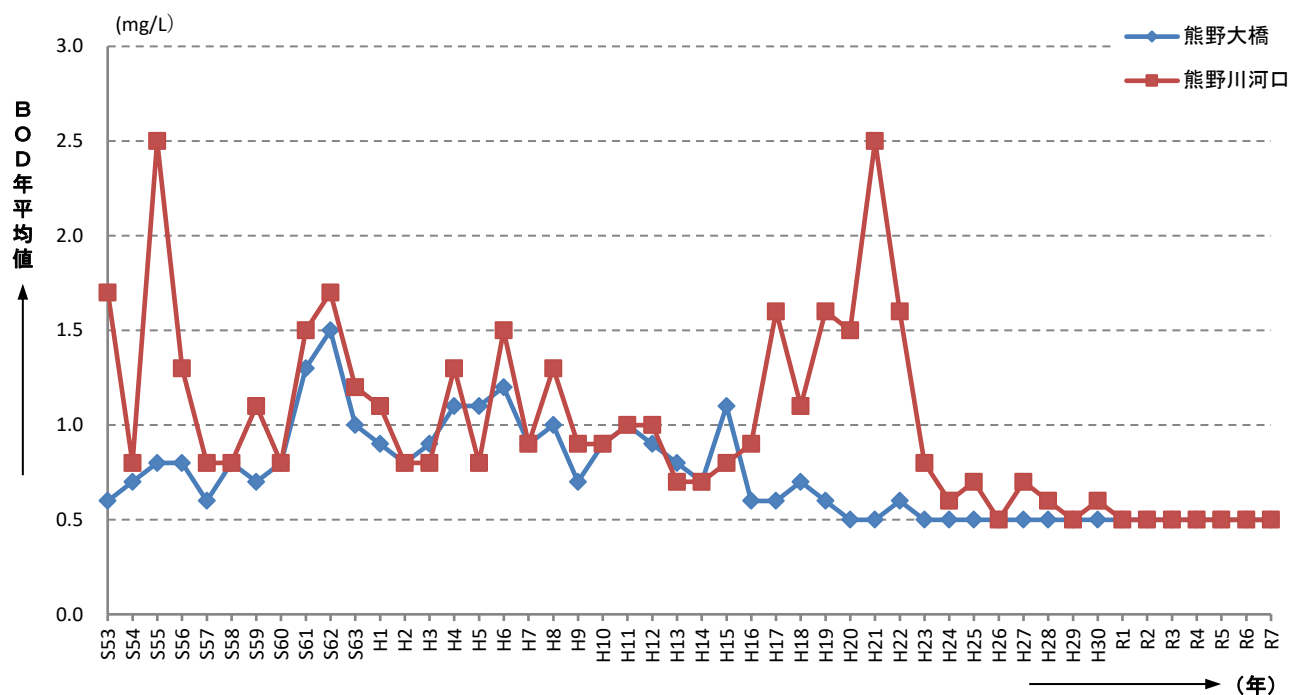
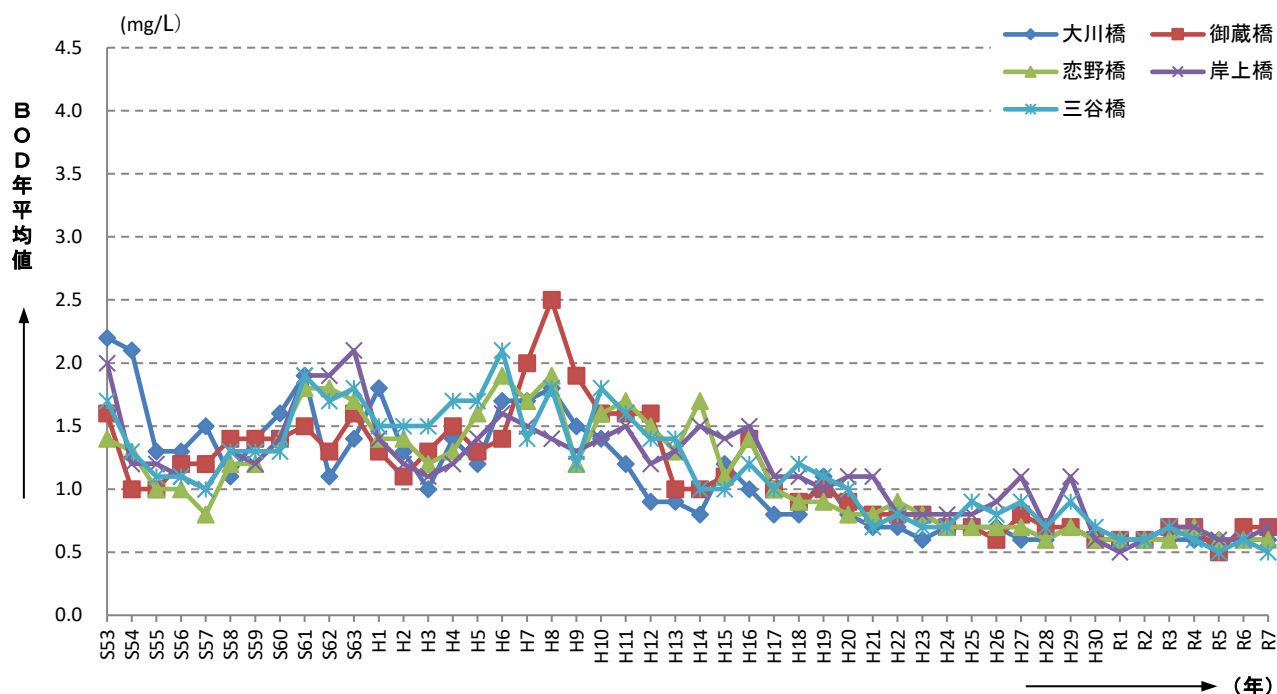


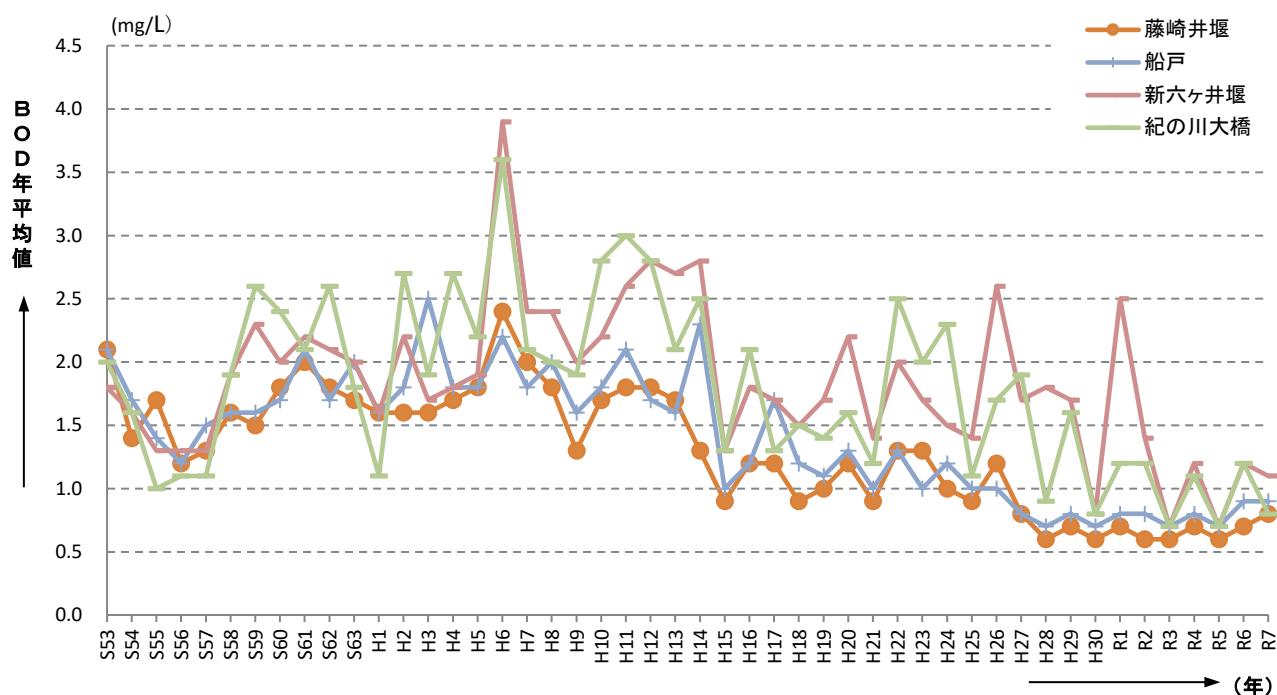
図-1.9 熊野川の水質経年変化（BOD年平均値）

② 紀 の 川

紀の川(上流)の各地点は、いずれも平成6年頃から平成21年頃までは減少傾向にあり、近年は概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移している。紀の川(下流)の各地点は変動が大きい。藤崎井堰や船戸では平成6年頃から平成28年頃までは減少傾向にあり、近年は1.0mg/L未満で推移している。



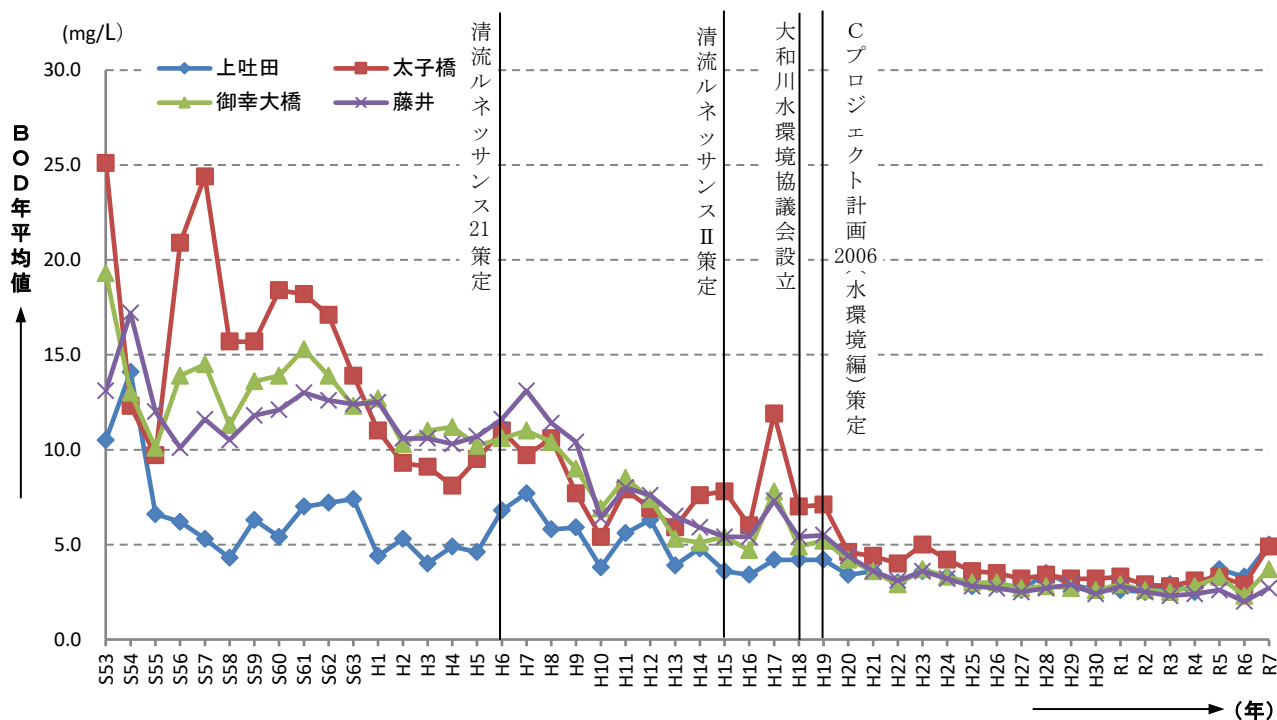
図－1.10 紀の川（上流）の水質経年変化（BOD年平均値）



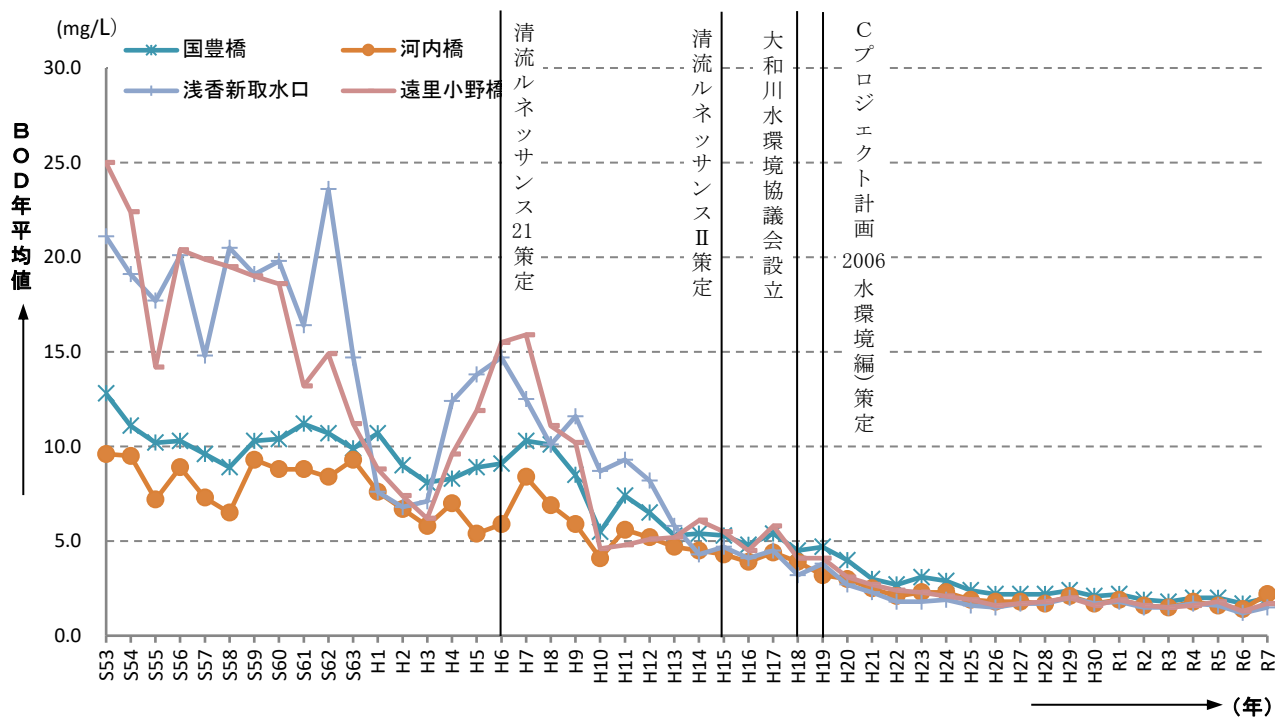
図－1.11 紀の川（下流）の水質経年変化（BOD年平均値）

③ 大 和 川

大和川では、二期にわたる「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21、Ⅱ）」における河川浄化事業、下水道の整備や、啓発活動等の効果により近年着実に水質が改善され、年々、減少傾向にある。平成20年以降は大和川(奈良県)及び大和川(大阪府)のいずれの地点も、概ね5.0mg/Lを下回っている。



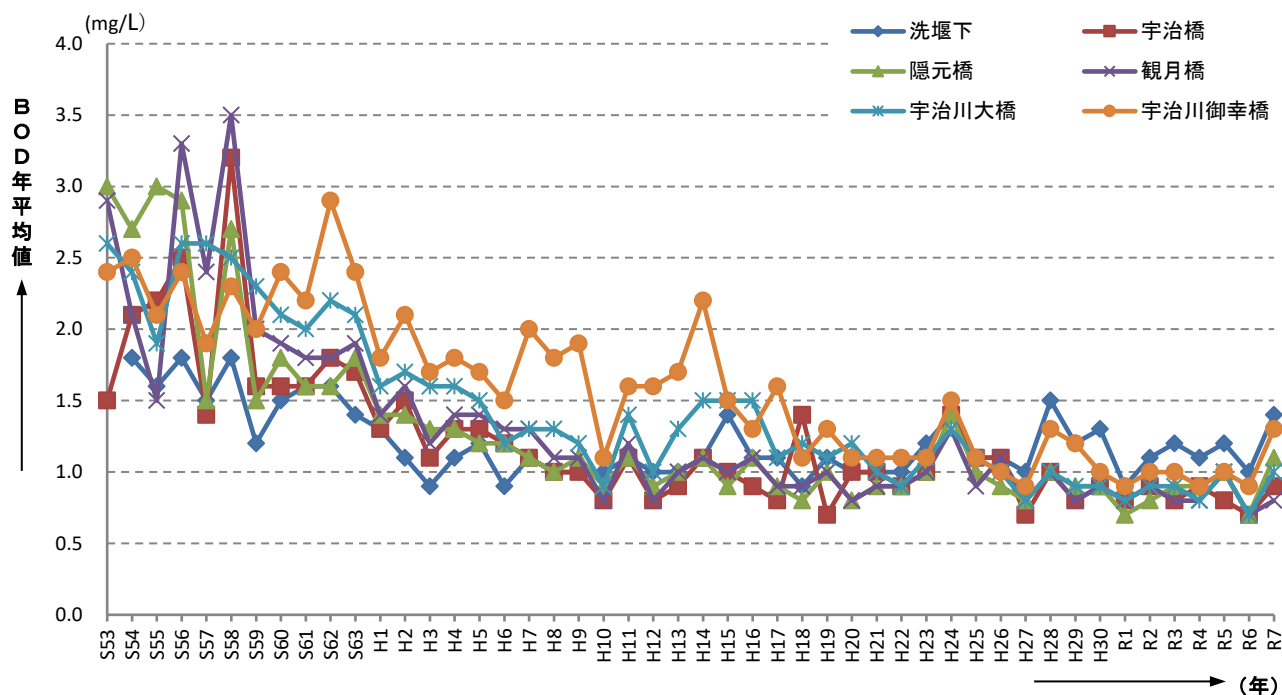
図－1.12 大和川（奈良県）の水質経年変化（BOD年平均値）



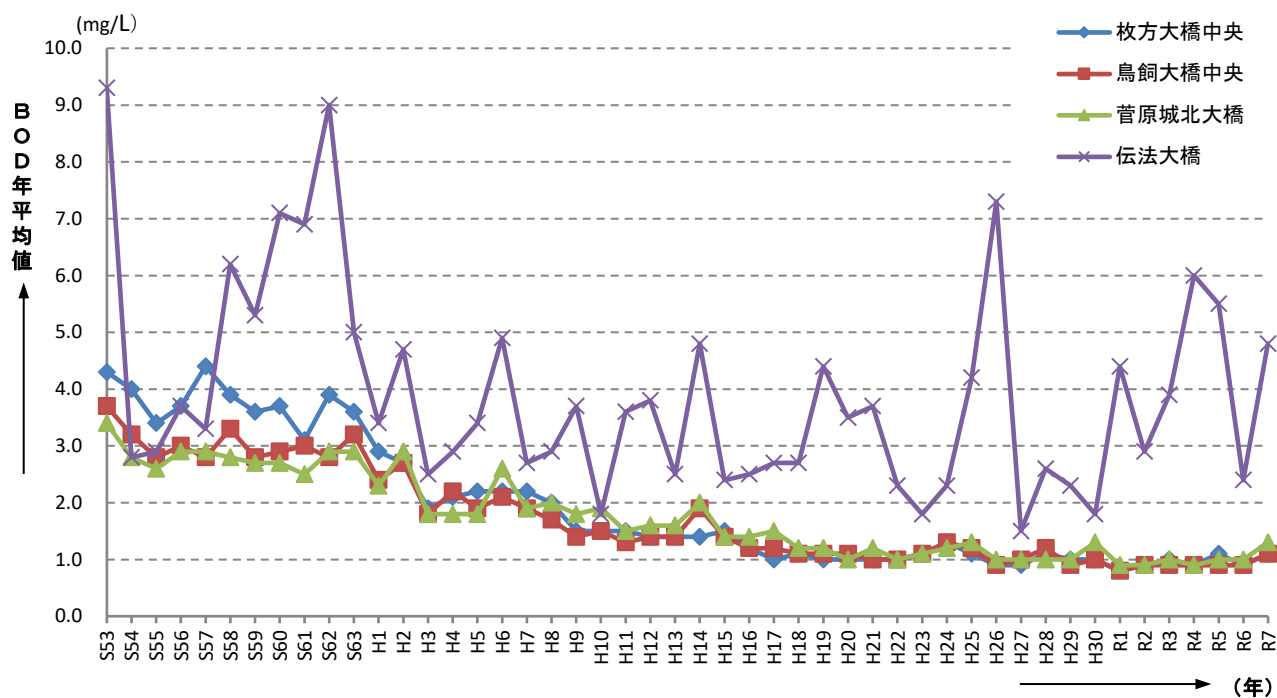
図－1.13 大和川（大阪府）の水質経年変化（BOD年平均値）

④ 淀 川

淀川本川(三川合流点上流)のいずれの地点も年々、概ね減少傾向にあり、平成18年以降は概ね1.5mg/L以下で推移している。淀川本川(三川合流点下流)では、最下流の伝法大橋^{でんぽうおおはし}は海水遡上の影響で他の地点よりやや高めで推移しているが、その他の地点は年々、減少傾向にあり、平成18年以降は1.0mg/L前後で推移している。



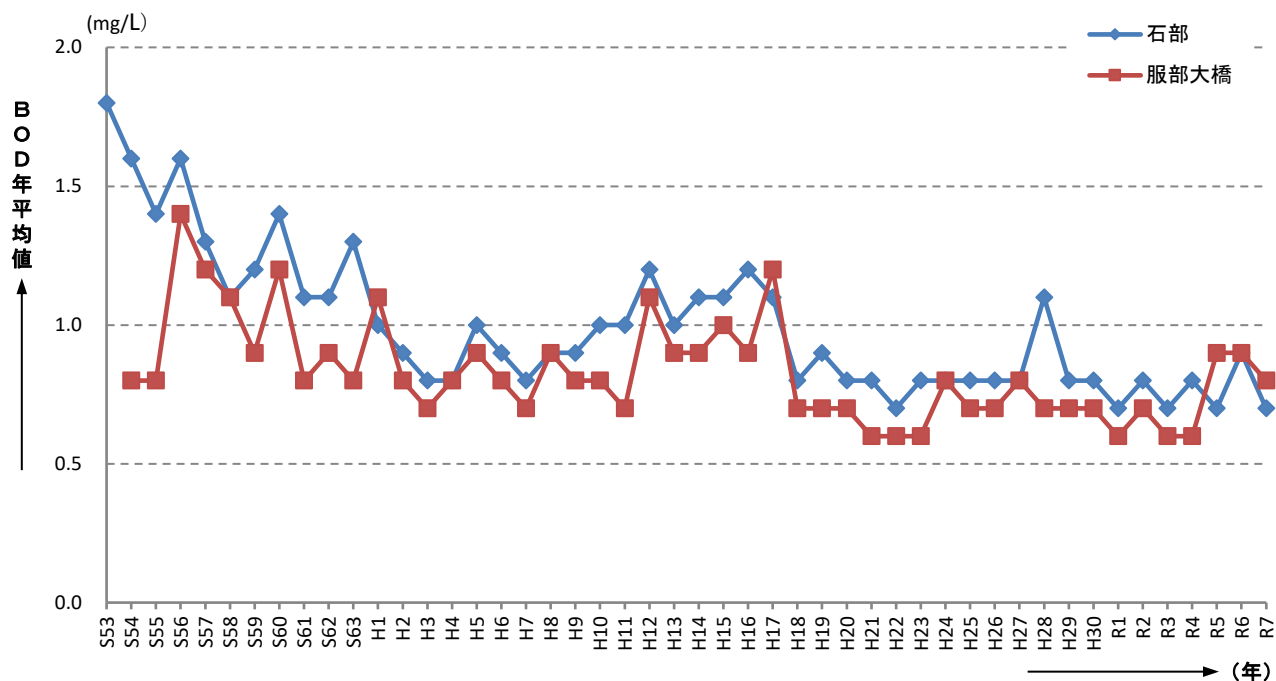
図－1.14 淀川本川（三川合流点上流）平均水質の経年変化（BOD年平均值）



図－1.15 淀川本川（三川合流点下流）平均水質の経年変化（BOD年平均值）

⑤ 野 洲 川

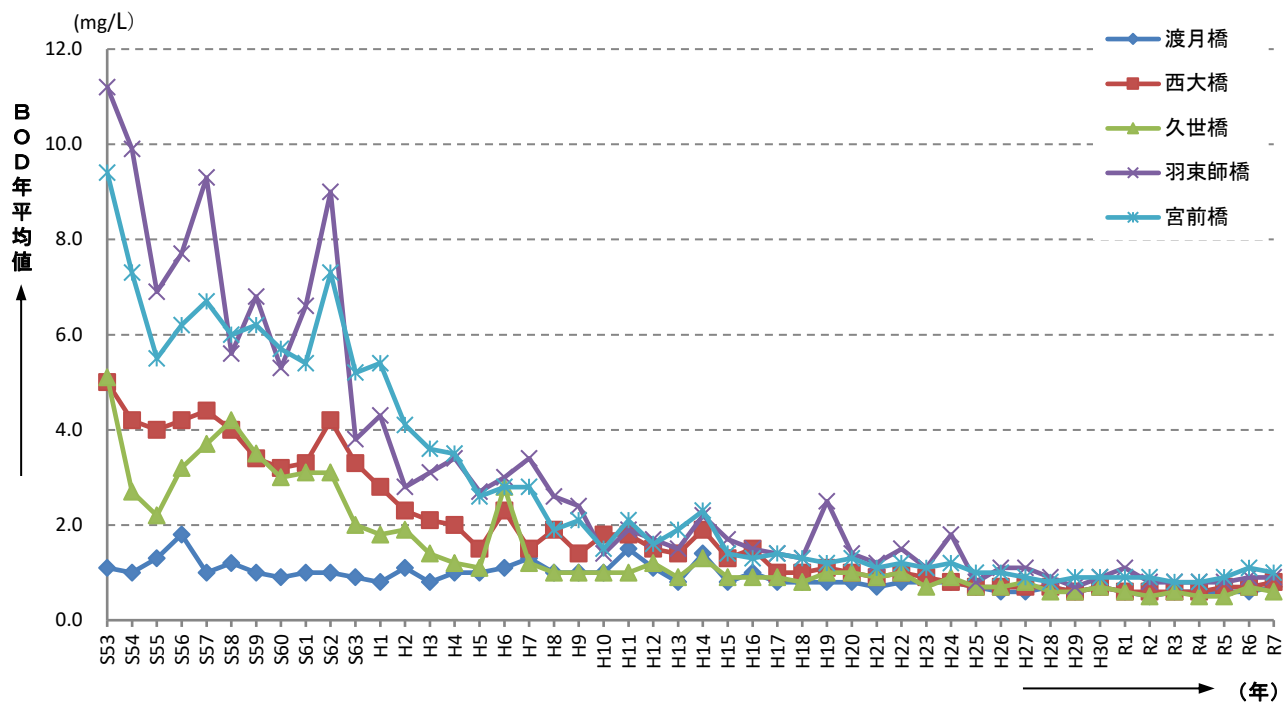
野洲川の2地点では平成18年以降、水質が改善され概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移している。



図－1.16 野洲川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑥ 桂 川

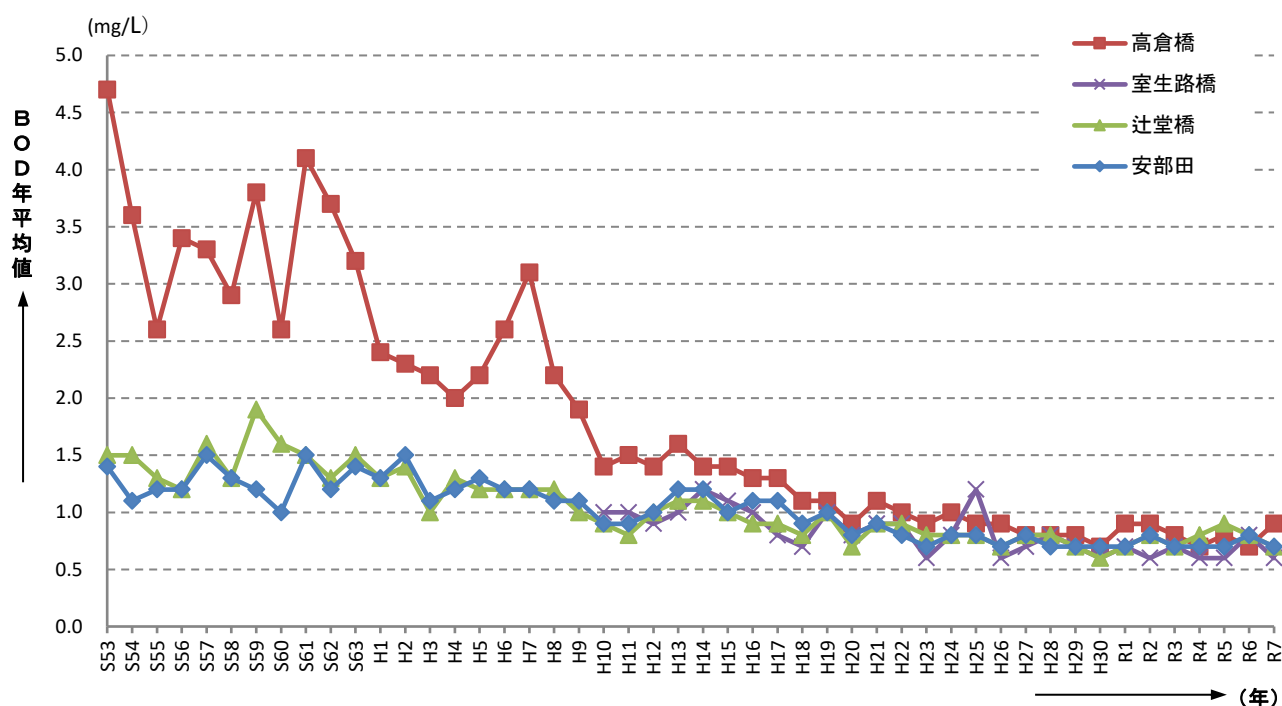
いずれの地点も概ね減少傾向にあり、水質は改善されている。平成10年までは地点ごとの差が大きい
が、それ以降は地点ごとの差が小さくなり、いずれの地点も概ね1.0mg/L前後で推移している。



図－1.17 桂川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑦ 宇 陀 川

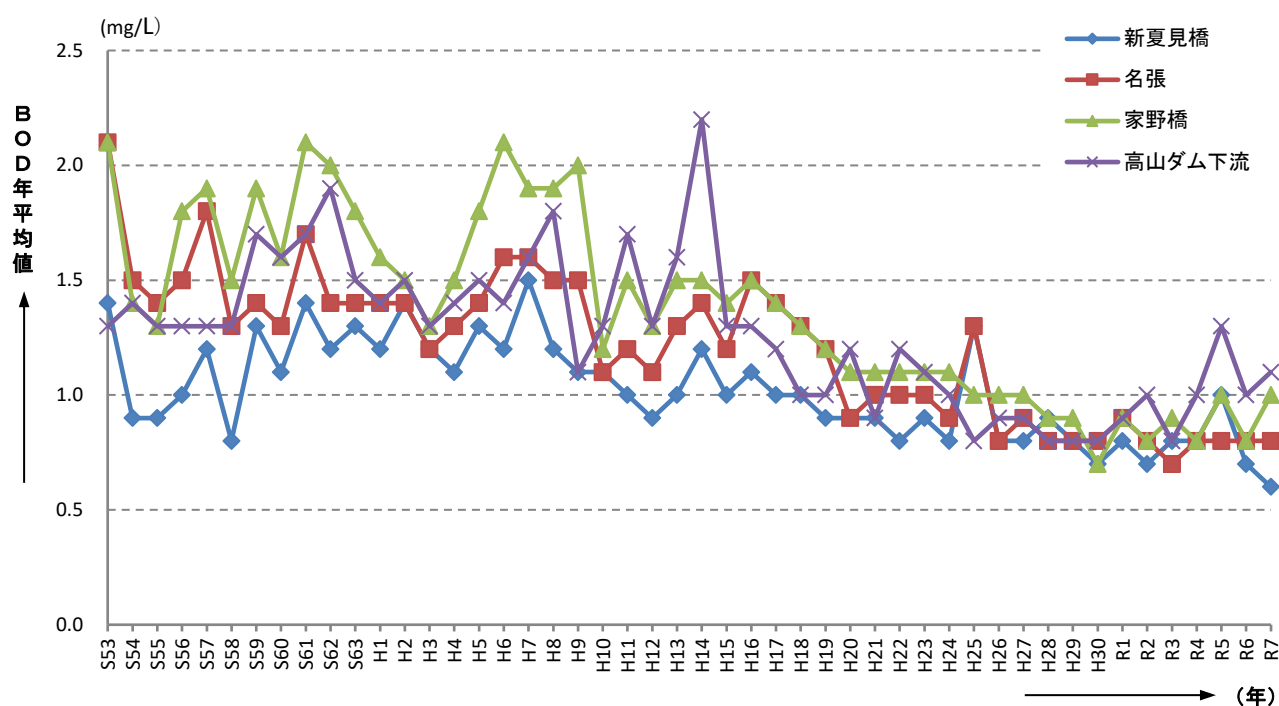
高倉橋では平成9年頃まで高い値を示していたが、それ以降は概ね、1.5mg/L以下で減少傾向にある。近年は、いずれの地点も0.5～1.0mg/Lの間で推移している。



図－1.18 宇陀川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑧ 名 張 川

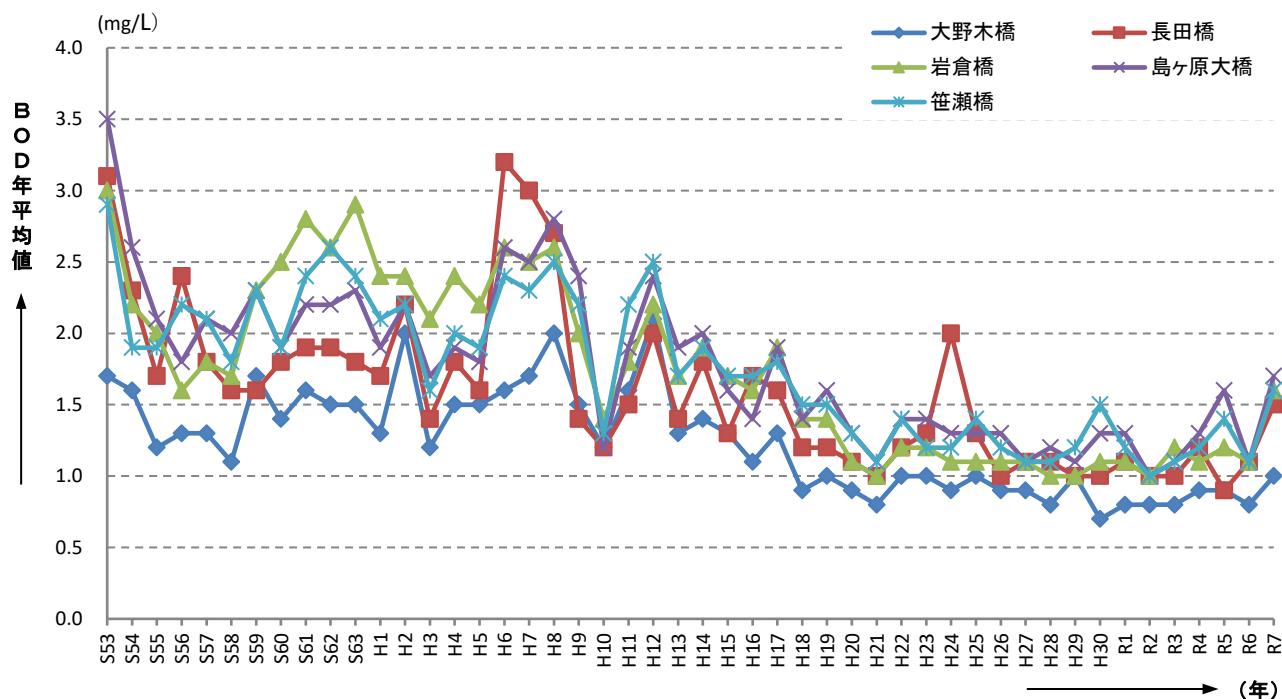
いずれの地点も平成16年頃までは変動が大きいだが、それ以降は概ね減少傾向にあり、近年は0.5～1.5 mg/Lの間で推移している。



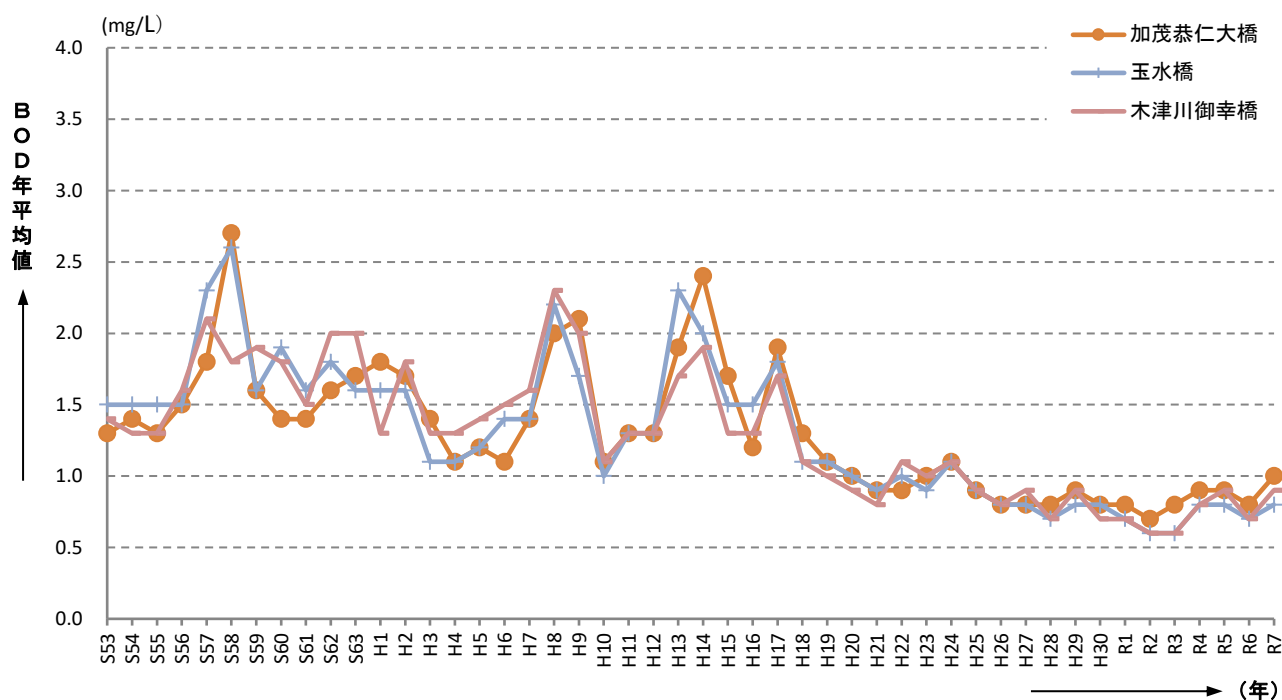
図－1.19 名張川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑨ 木 津 川

木津川(上流)の各地点は、平成12年以降、概ね減少傾向にあり、近年は横ばい傾向である。木津川(下流)の3地点の水質はほぼ同レベルの濃度で同様の変動を示し、近年は1.0mg/Lを下回っている。



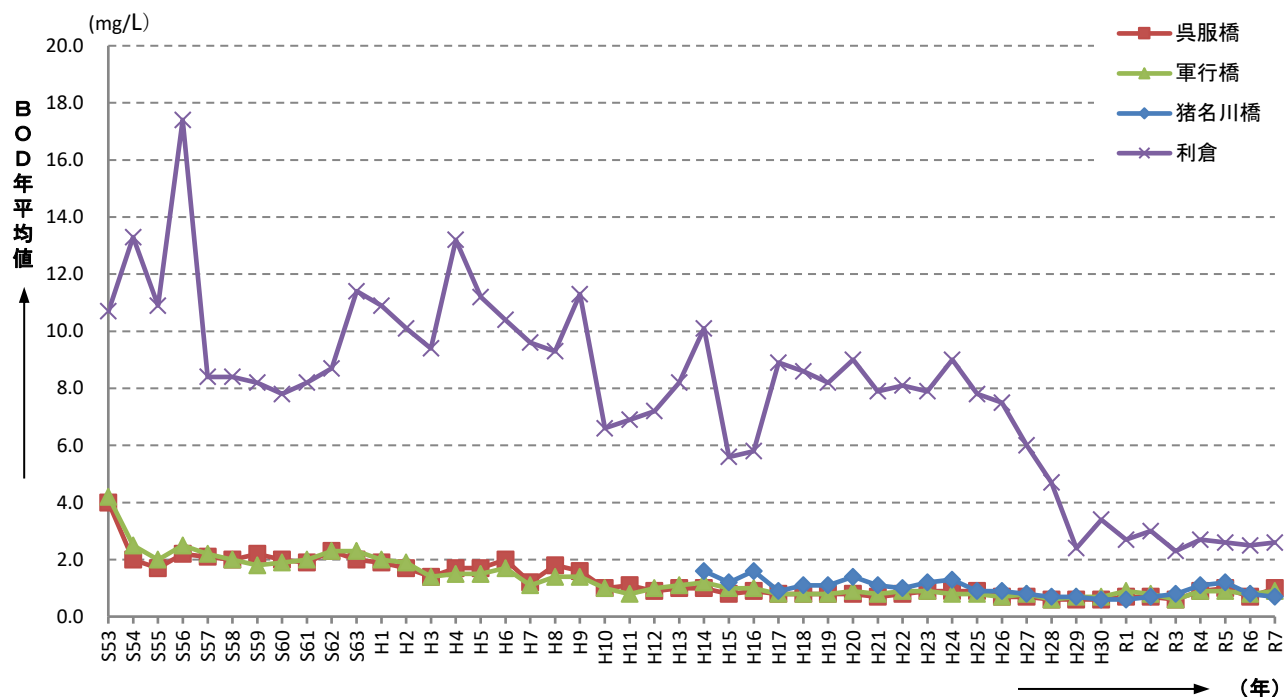
図－1.20 木津川（上流）の水質経年変化（BOD年平均値）



図－1.21 木津川（下流）の水質経年変化（BOD年平均値）

⑩ 猪 名 川

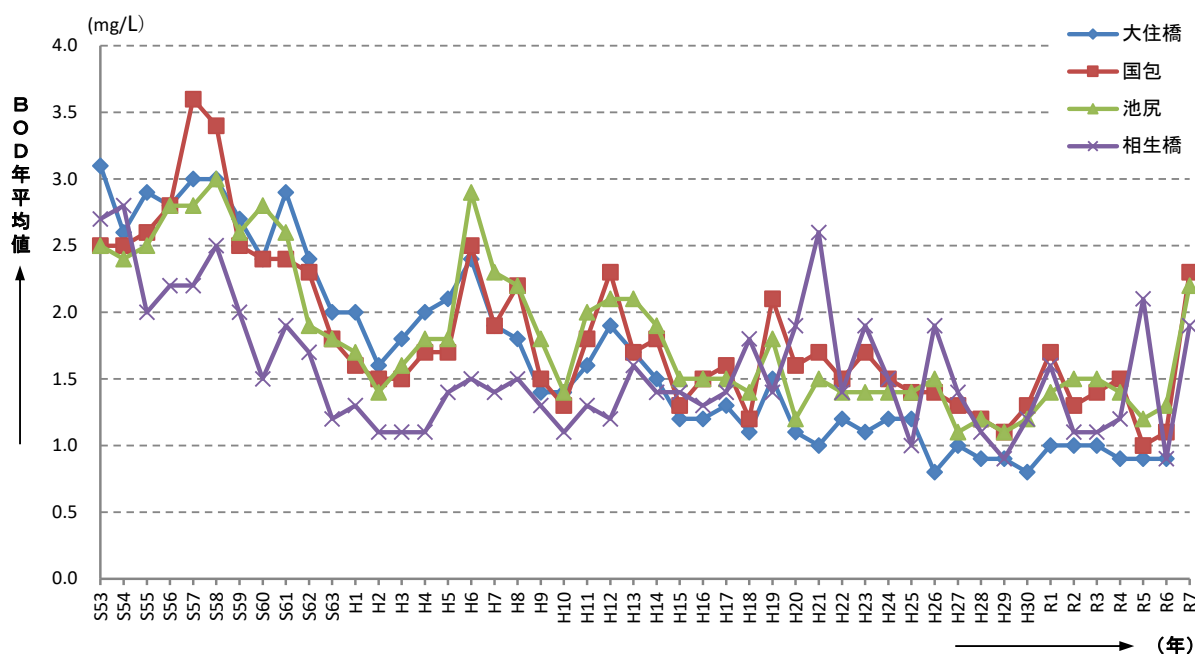
猪名川中・上流域の水質は良好で、平成10年頃からは1.0mg/L前後で推移している。下流域の利倉は毎年、他の地点に比べて高い値で推移しているが、近年は急激に低下し、平成29年以降は、4mg/L以下で推移している。



図－1.22 猪名川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑪ 加 古 川

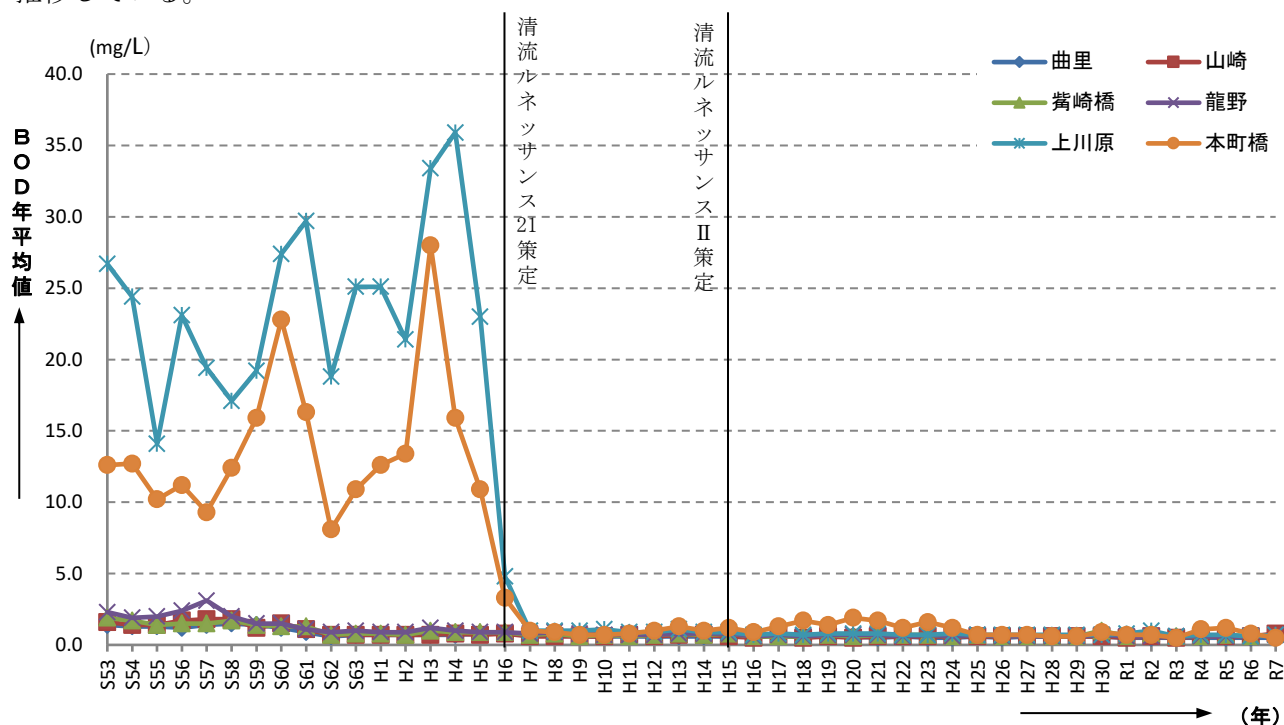
各地点とも変動があるものの、概ね減少傾向にある。下流域の相生橋は、若干高い値を示したが、その他の3地点は、概ね1.5mg/L未満で推移している。



図－1.23 加古川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑫ 揖保川

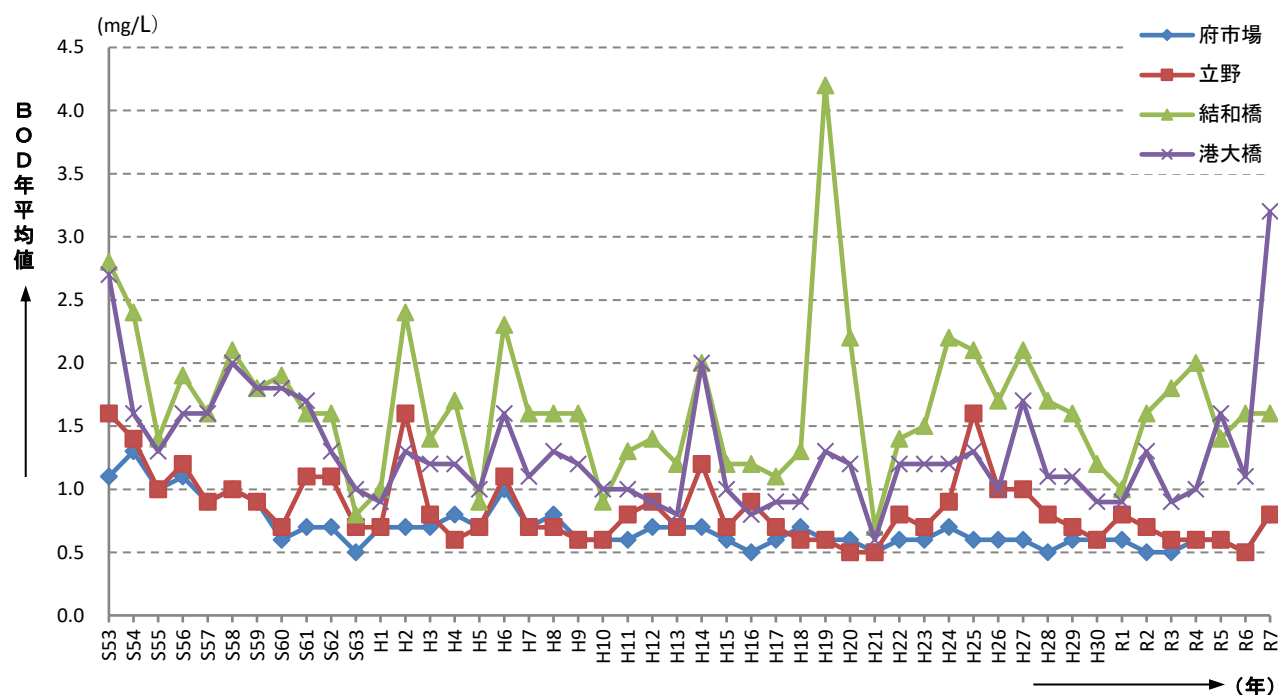
平成5年頃までは上川原及び本町橋で10mg/Lを上回る値となっていたが、流域における下水道事業、河川浄化事業（汚泥浚渫等）などにより水質が改善され、平成7年以降は、他の地点とともに1.0mg/L程度で推移している。



図－1.24 揖保川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑬ 円山川

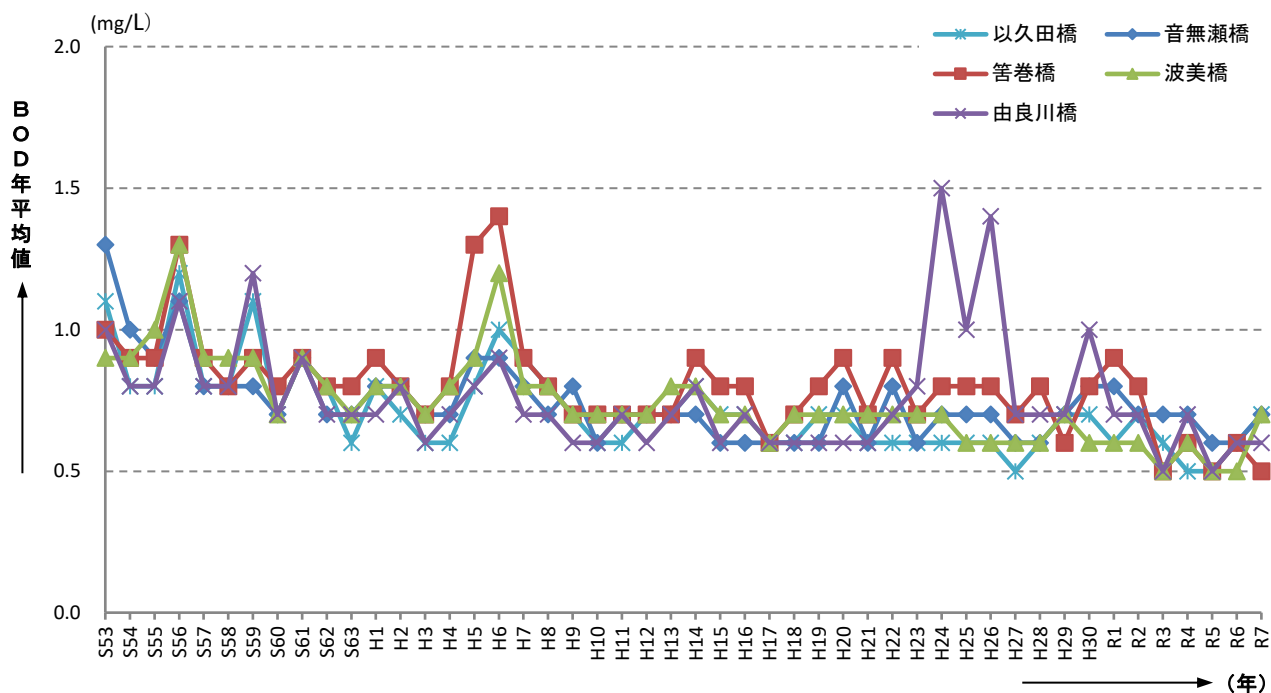
結和橋は海水遡上のため2.0mg/Lを上回る年があるが、その他の地点については概ね2.0mg/L未満で推移している。



図－1.25 円山川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑭ 由 良 川

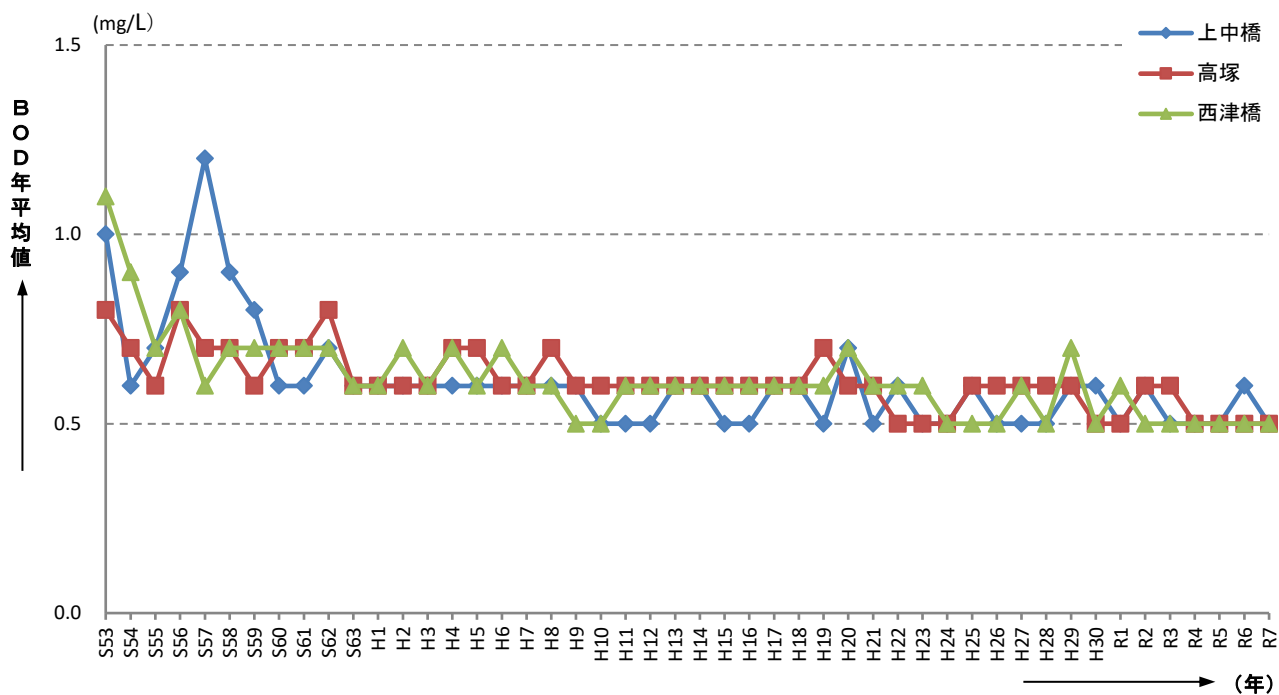
平成27年以降は、いずれの地点も概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移し、良好な水質を維持している。



図－1.26 由良川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑮ 北 川

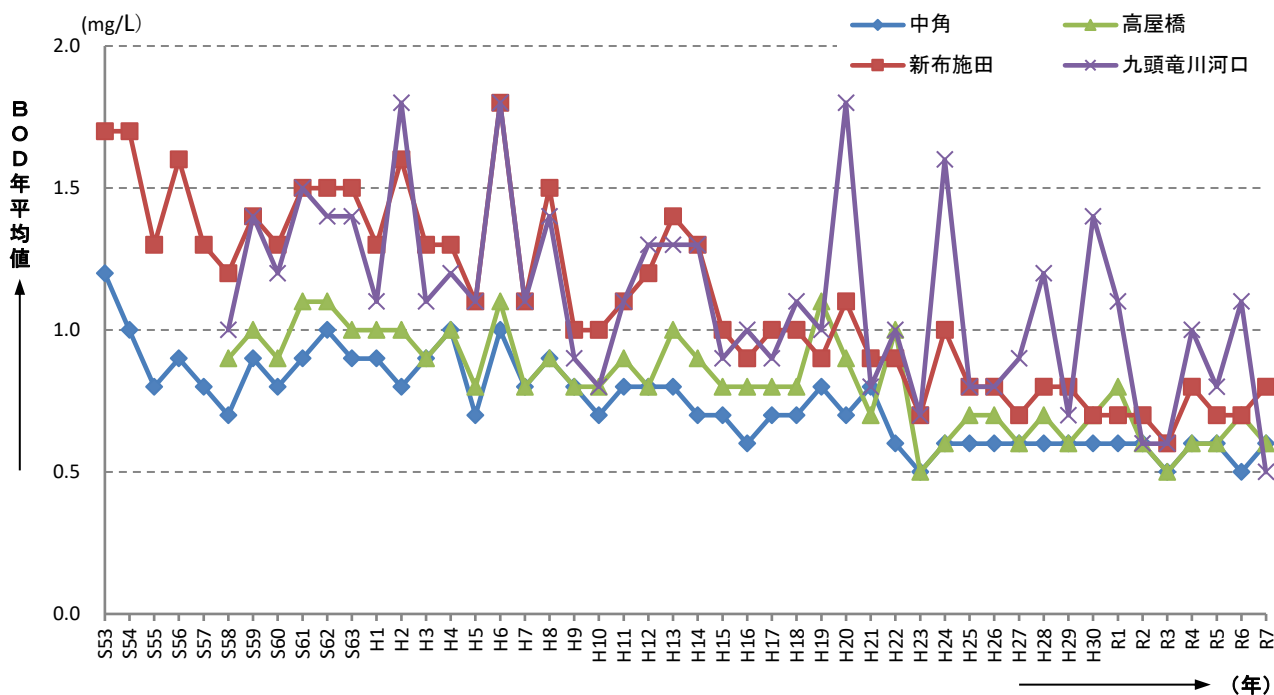
各地点とも昭和62年以降0.6mg/L前後で推移しており、良好な水質を維持している。



図－1.27 北川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑩ 九頭竜川

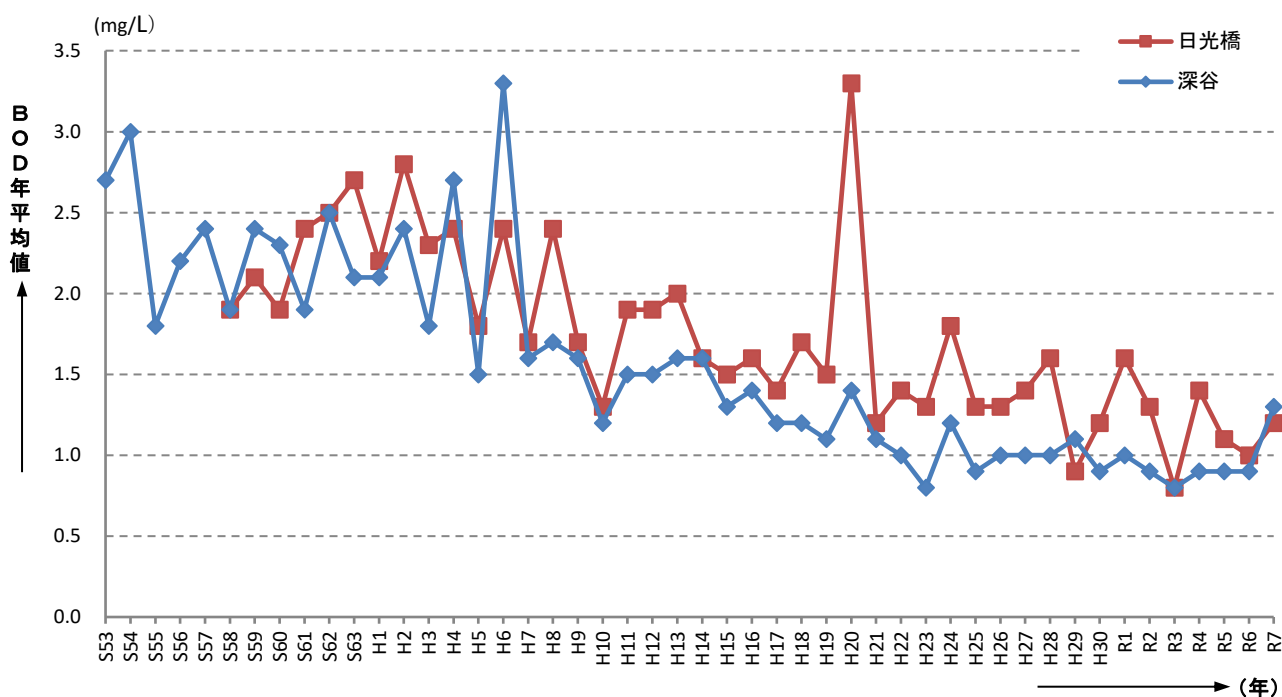
九頭竜川河口を除く各地点は、平成15年頃からは概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移し、良好な水質を維持している。九頭竜川河口は変動が大きい。



図－1.28 九頭竜川の水質経年変化（BOD年平均值）

⑪ 日野川（九頭竜川水系）

2地点とも平成6年頃から概ね減少傾向にある。

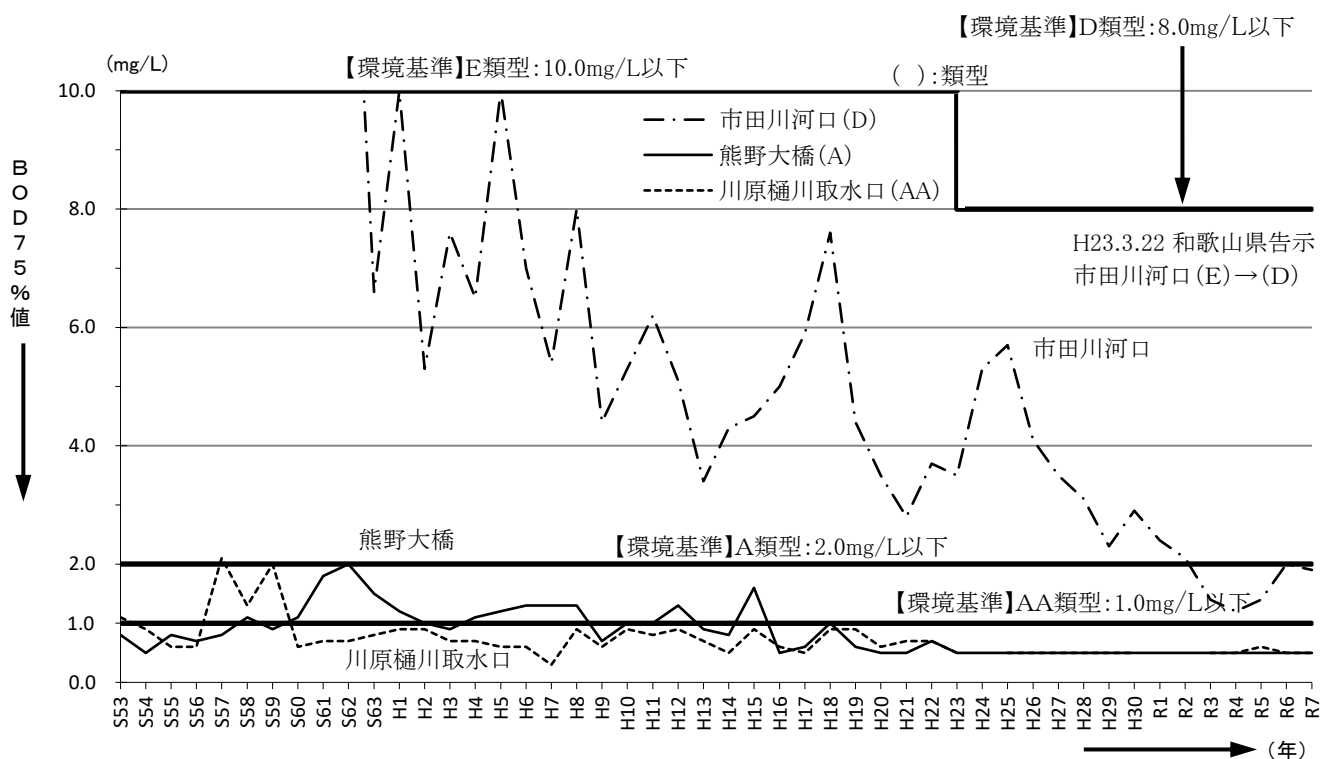


図－1.29 日野川の水質経年変化（BOD年平均值）

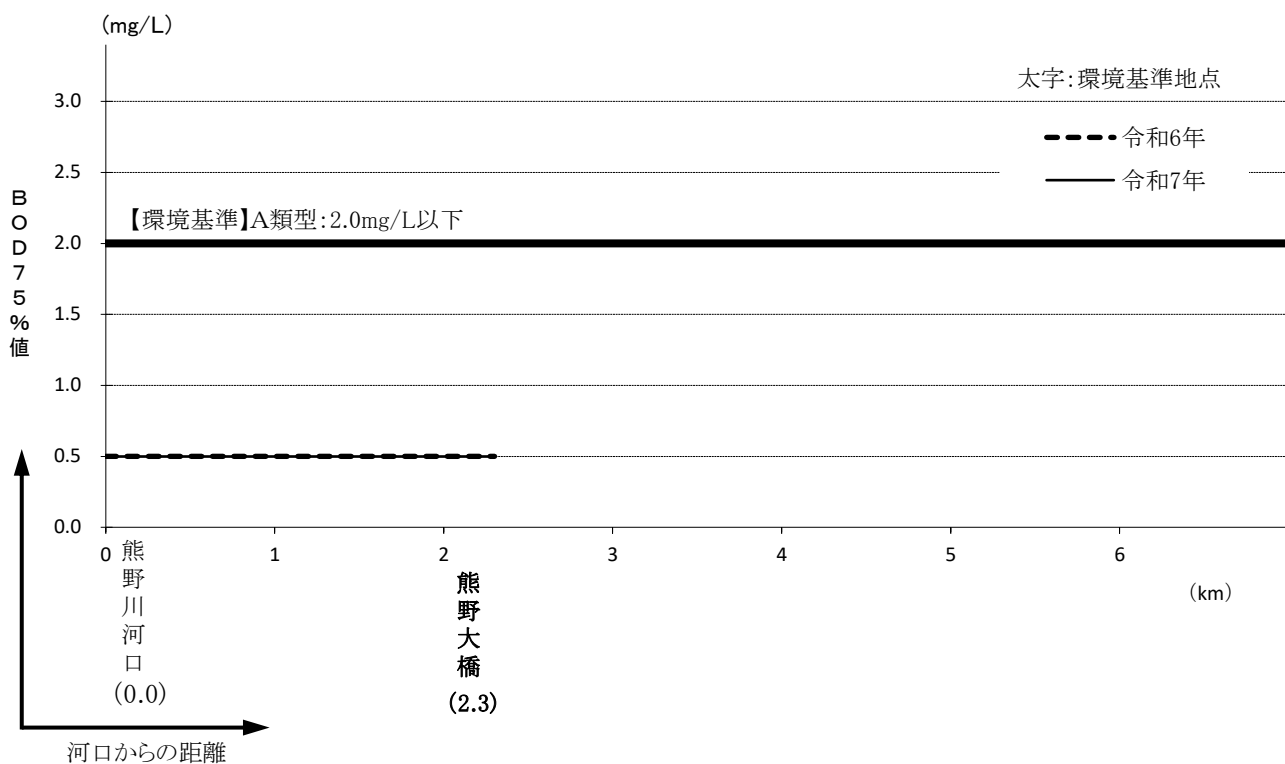
1. 6 水系別の水質概況

① 新 宮 川

熊野大橋地点でみると、令和7年のBOD75%値は<0.5mg/Lであり、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。



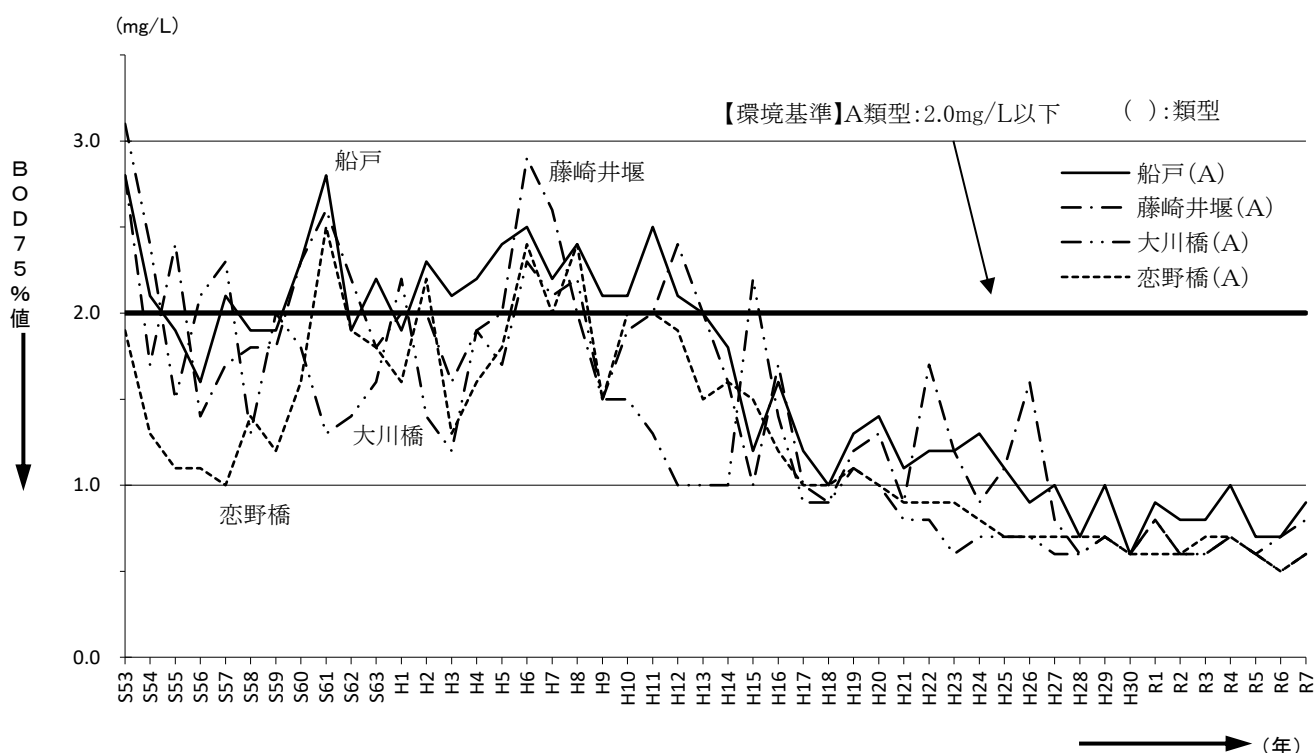
図－1.30 新宮川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）



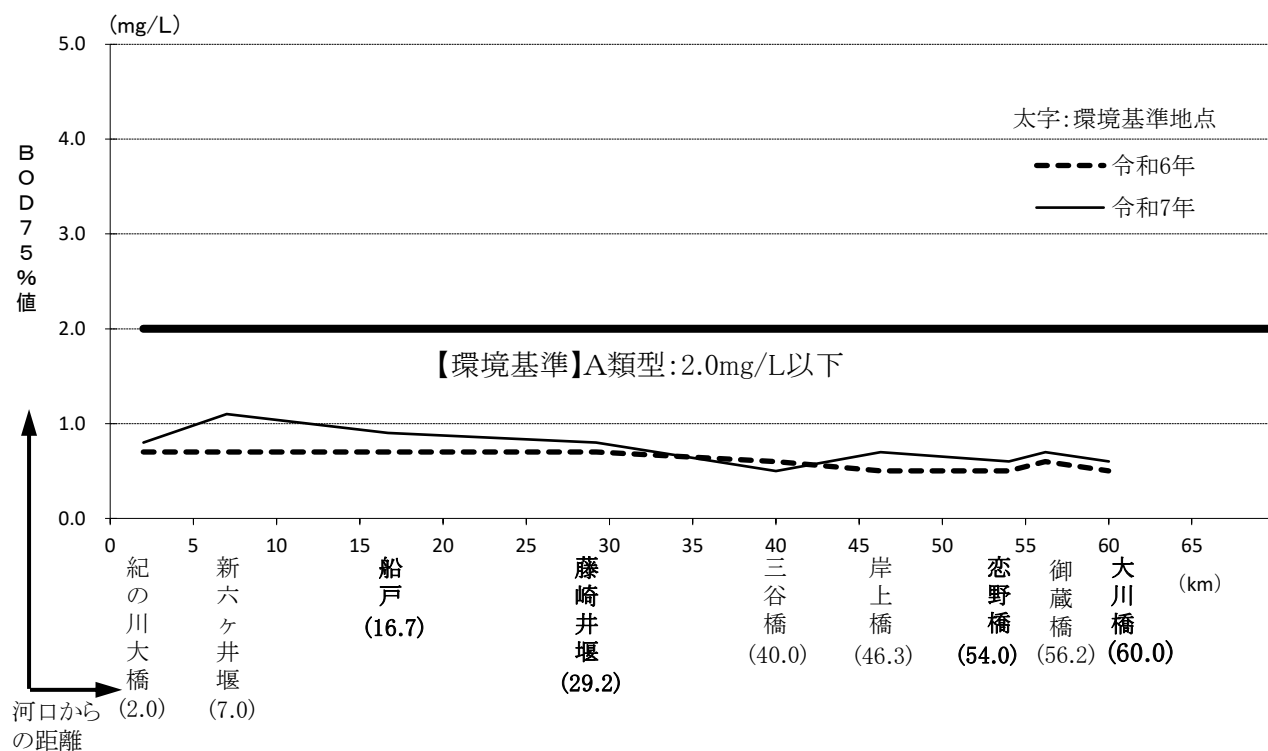
図－1.31 熊野川の水質縦断図（BOD75%値）

② 紀 の 川

船戸地点でみると、平成2年より環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を上回る水質となっていたが、平成14年から環境基準を満足する水質を維持しており、令和7年のBOD75%値は0.9mg/Lである。



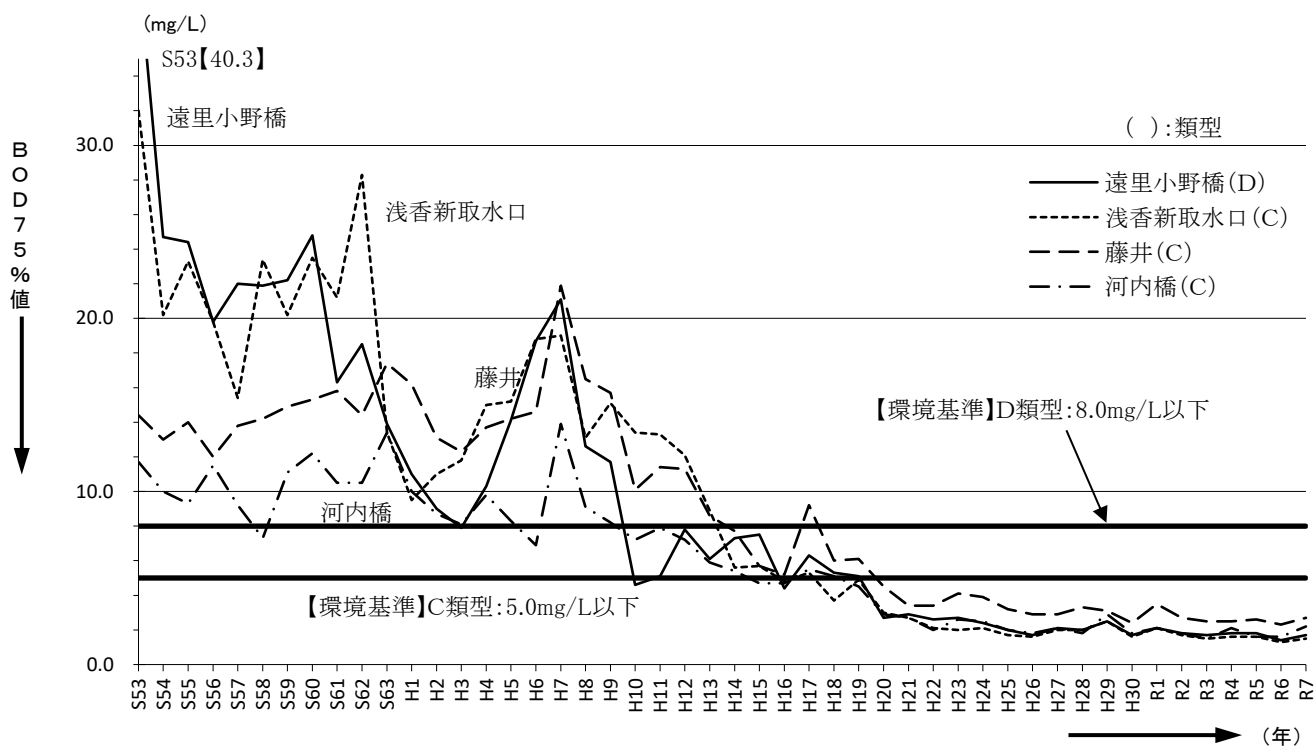
図－1.32 紀の川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）



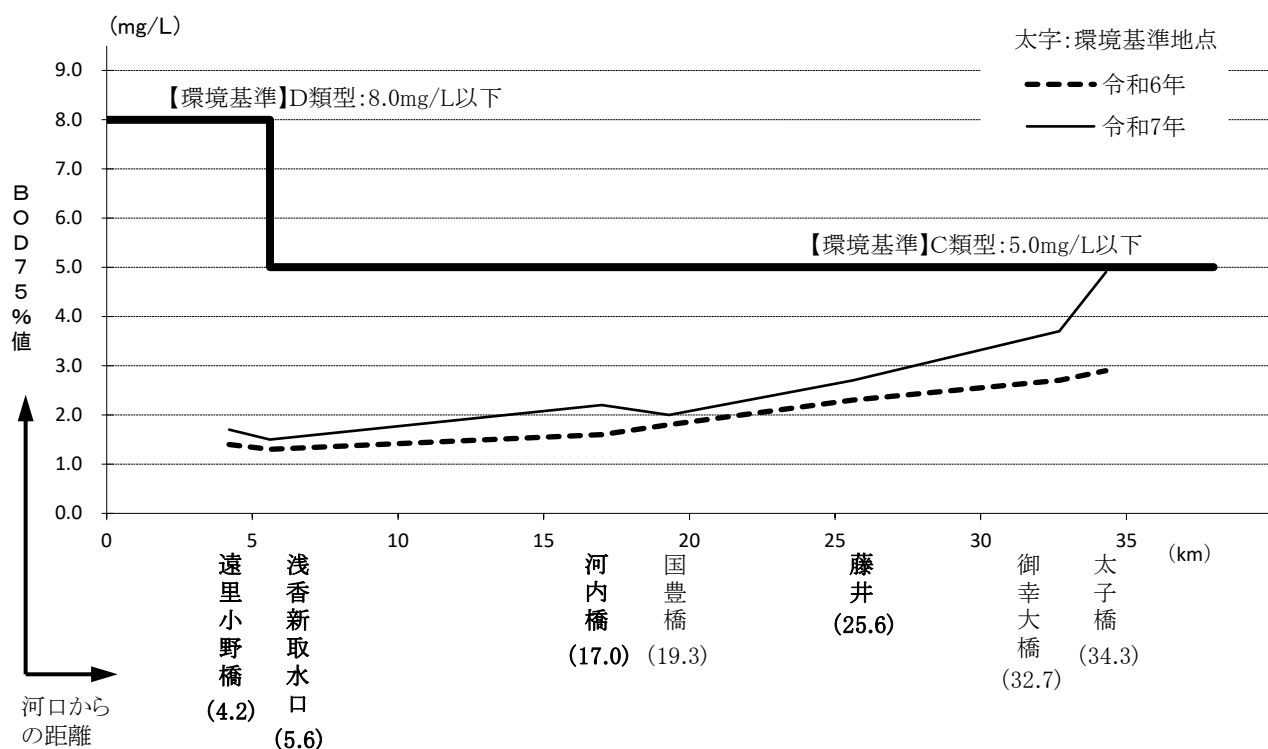
図－1.33 紀の川の水質縦断図（BOD75%値）

③ 大 和 川

浅香新取水口地点でみると、平成7年以降水質は改善されている。令和7年のBOD75%値は1.5mg/Lとなり、環境基準（C類型:5.0mg/L以下）を下回る水質となった。



図－1.34 大和川水系（大和川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

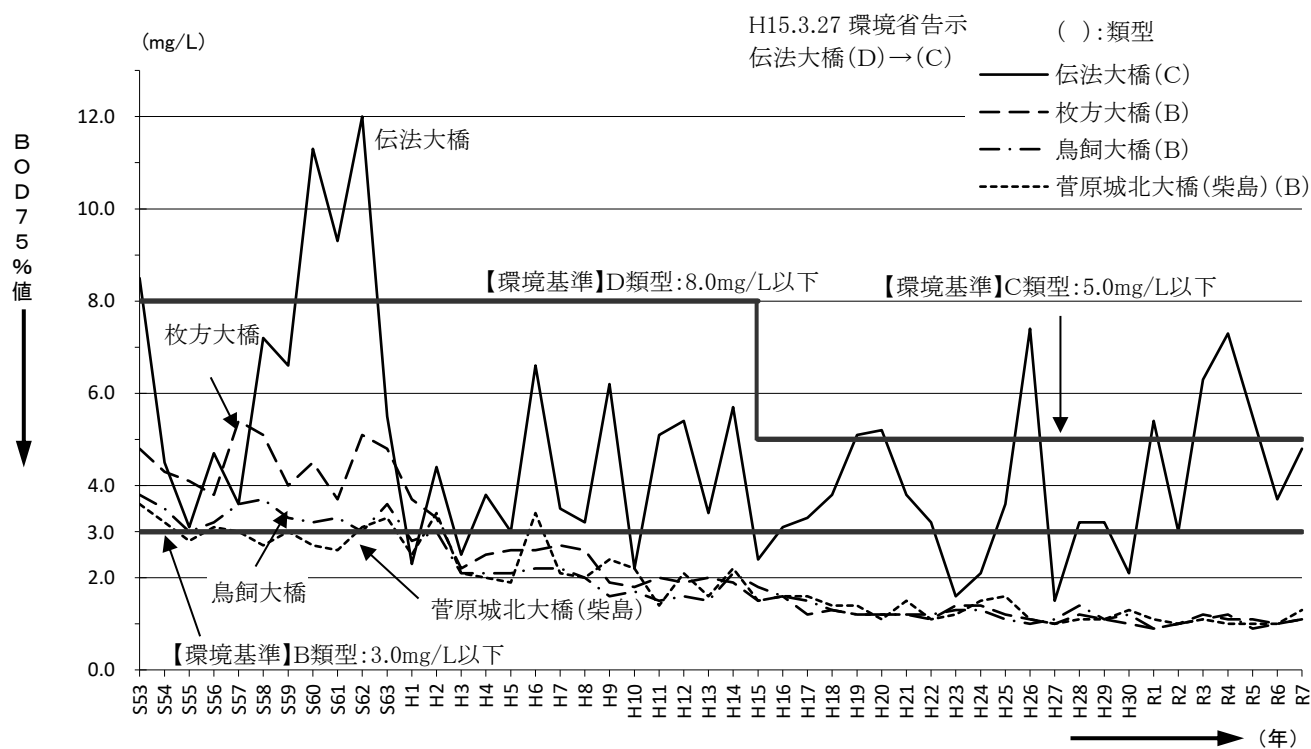


図－1.35 大和川の水質縦断図（BOD75%値）

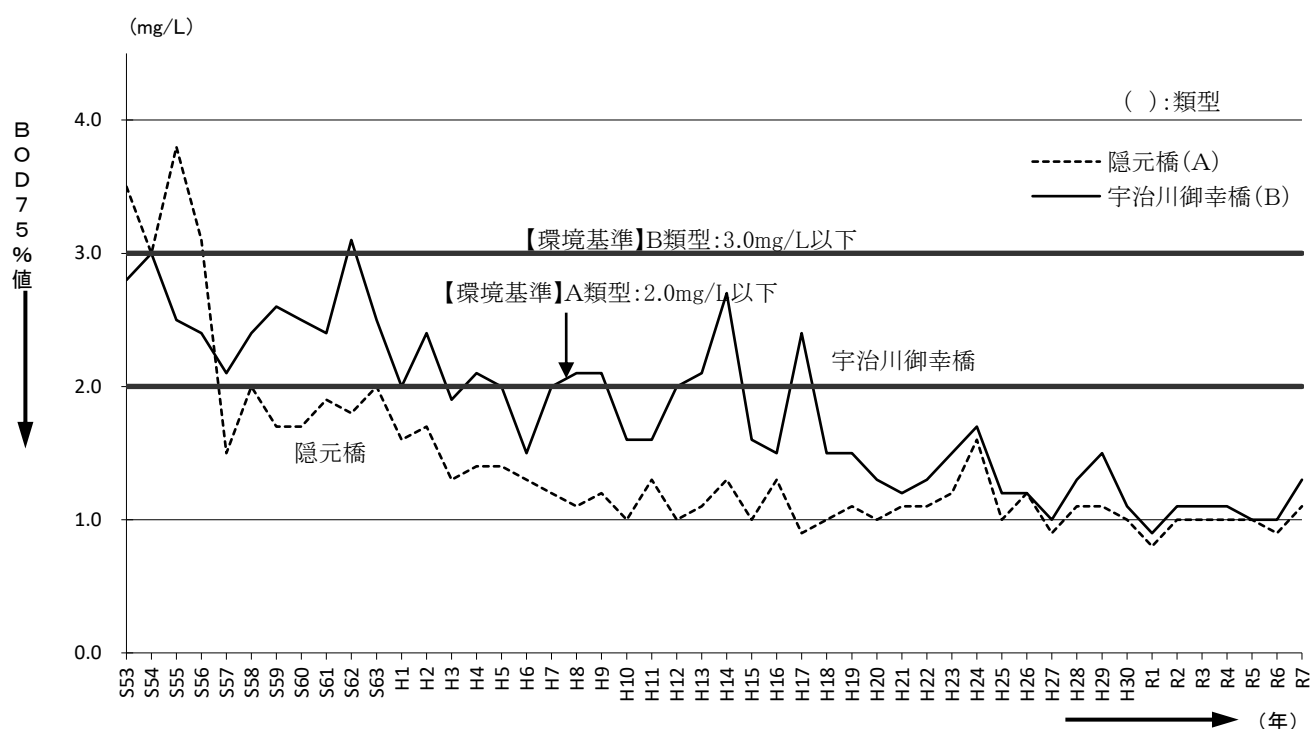
④ 淀 川

淀川本川三川合流点下流の枚方大橋地点でみると、平成3年よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足しており、令和7年は1.1mg/Lとなっている。

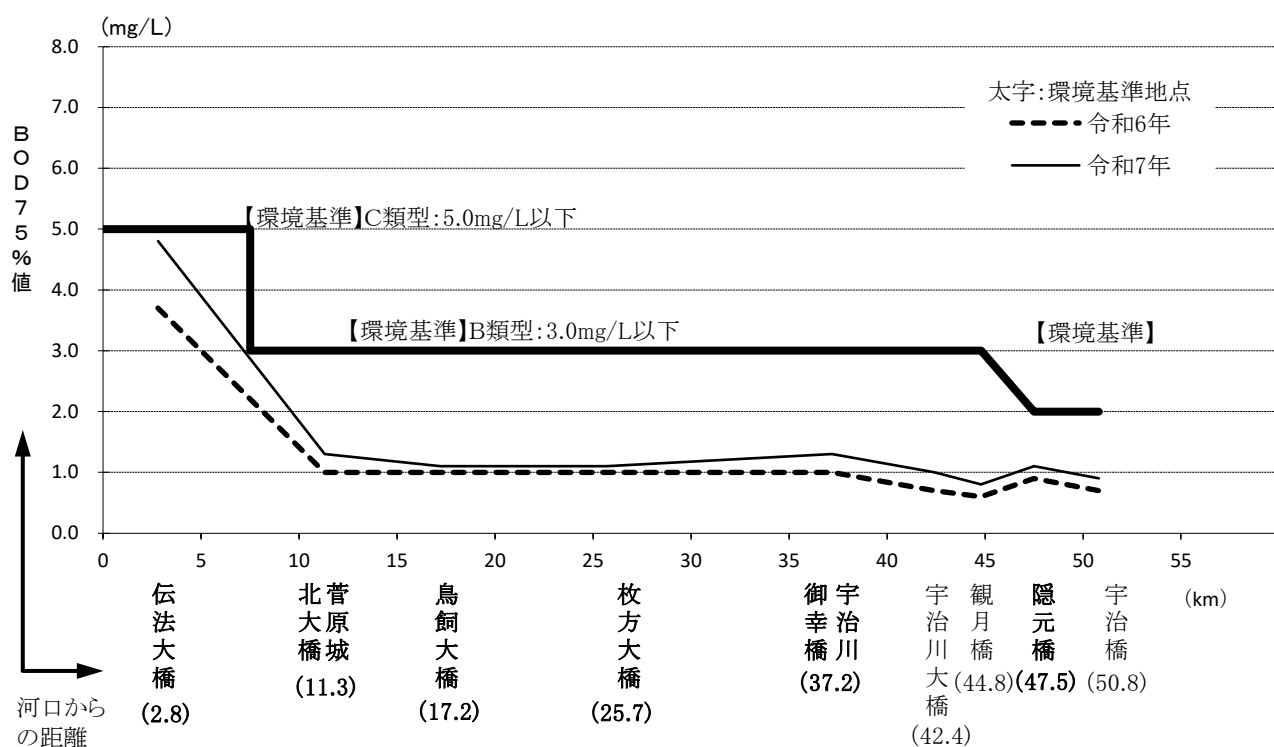
宇治川（三川合流前）^{うじがわごうばし}の宇治川御幸橋地点でみると、昭和63年よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足しており、令和7年は1.3mg/Lとなっている。



図－1.36 淀川水系（三川合流点下流）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

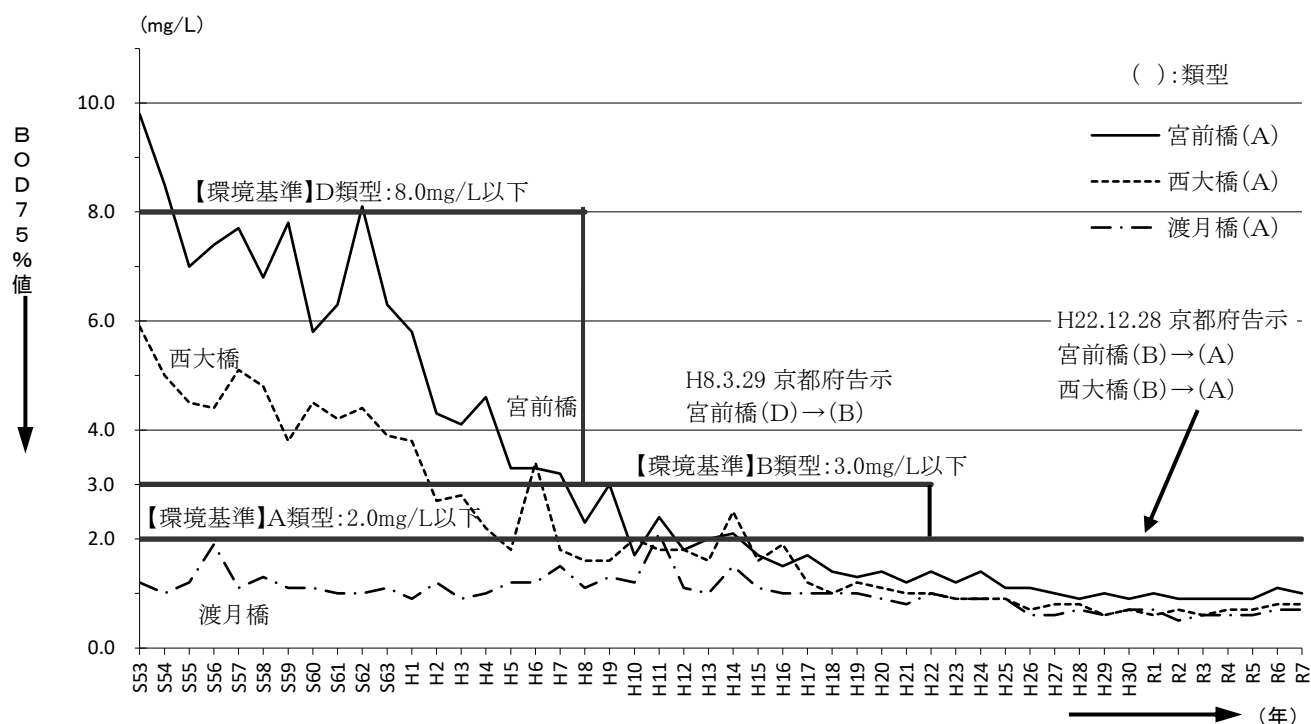


図－1.37 淀川水系（宇治川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

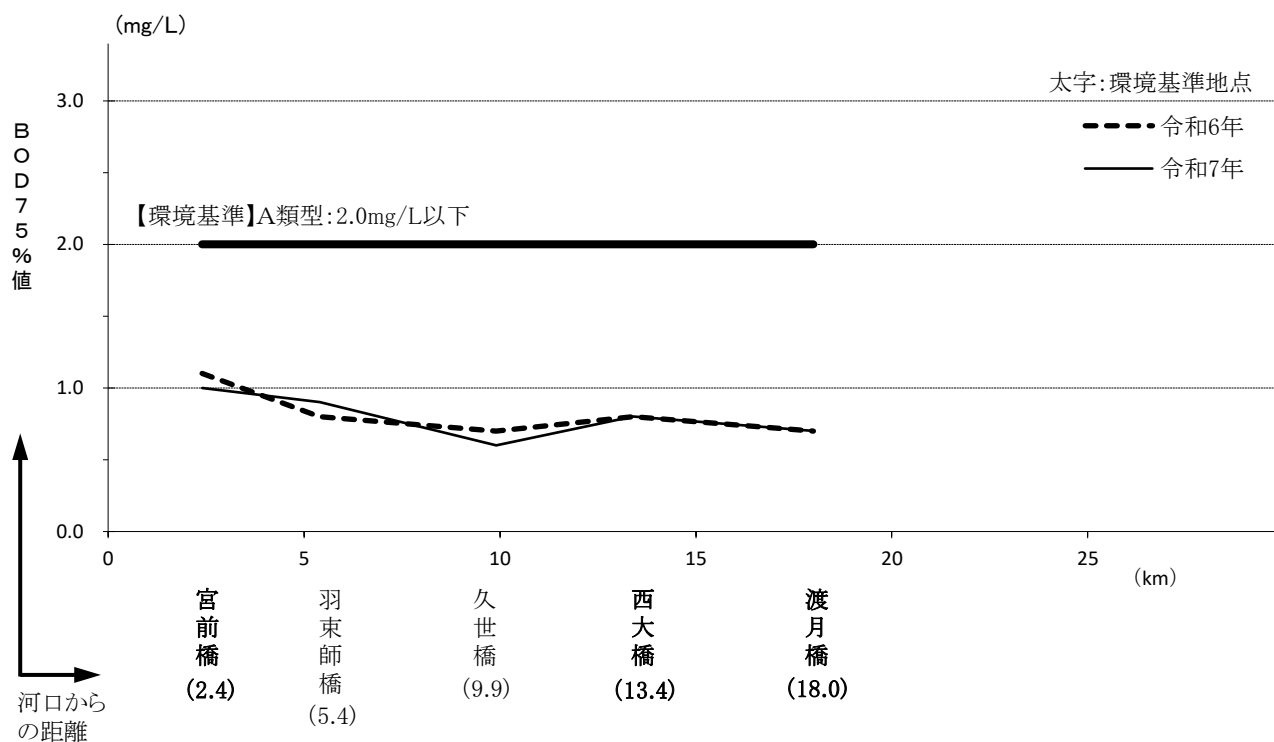


図－1.38 淀川（本川、宇治川）の水質縦断図（BOD75%値）

桂川の宮前橋地点でみると、令和7年のBOD75%値は1.0mg/Lであり、平成8年以降は環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

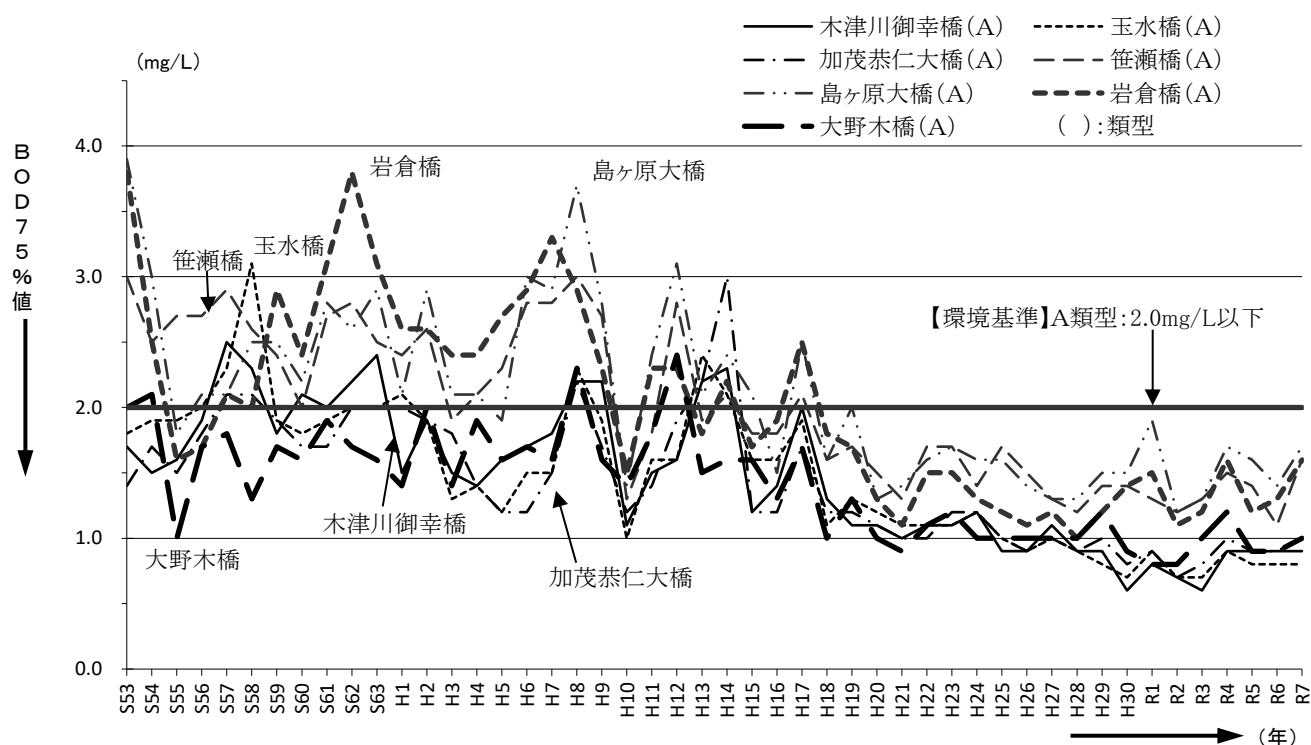


図－1.39 淀川水系（桂川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

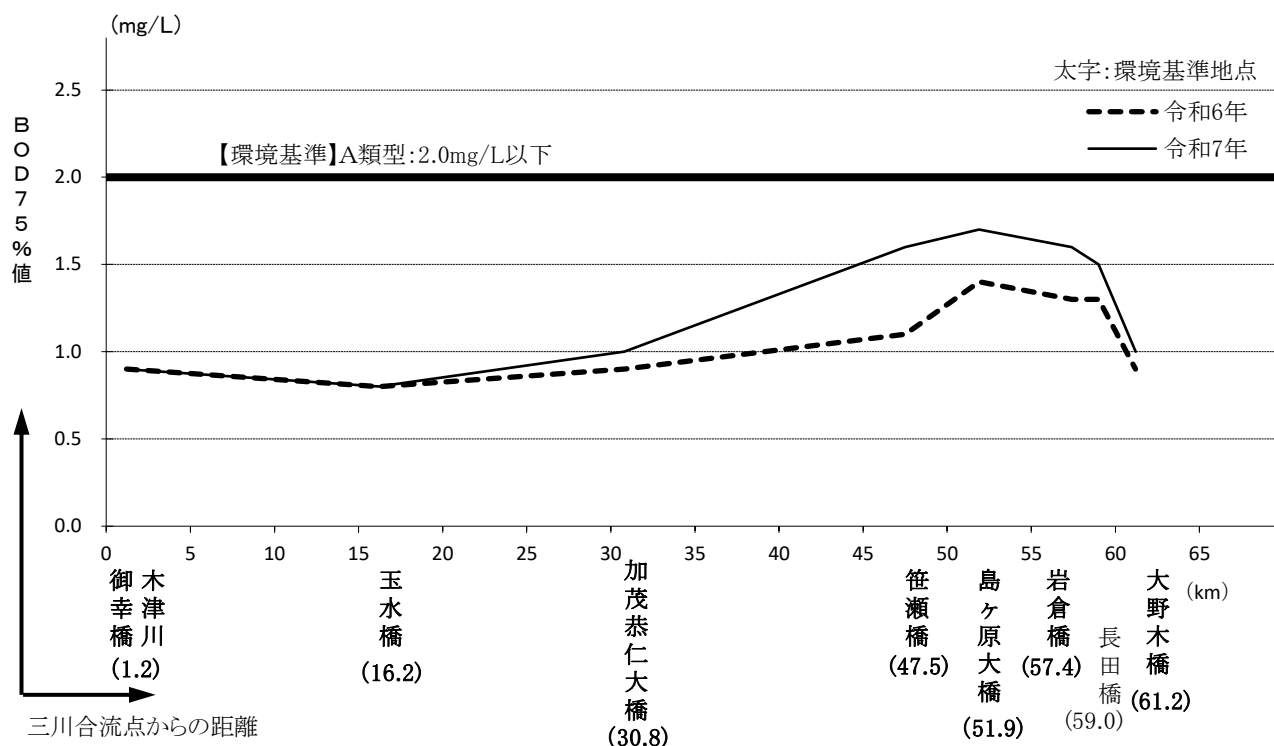


図－1.40 桂川の水質縦断面図（BOD75%値）

木津川の各調査地点でみると、近年、BOD75%値は2.0mg/L以下で推移し、平成20年以降、全地点で環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質となった。また、最下流の木津川御幸橋^{きづがわごこうはし}においても令和7年のBOD75%値は0.9mg/Lと、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質となっている。

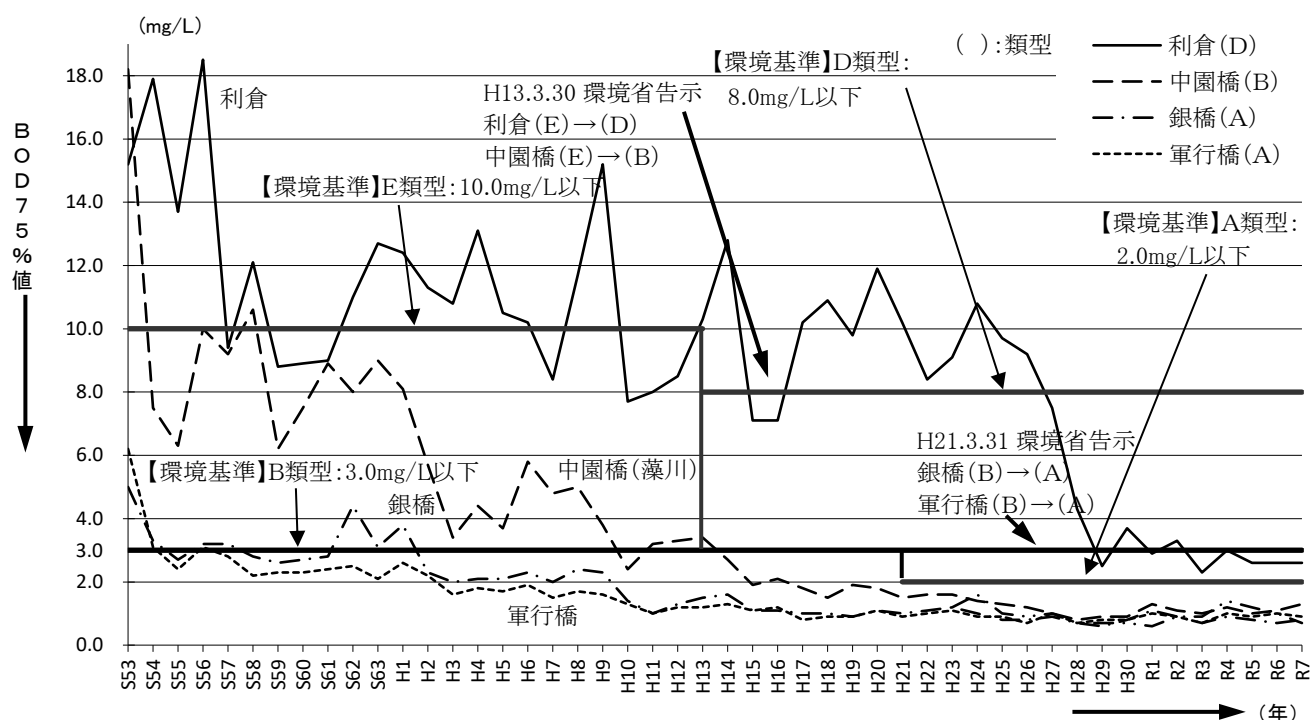


図－1.41 淀川水系（木津川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

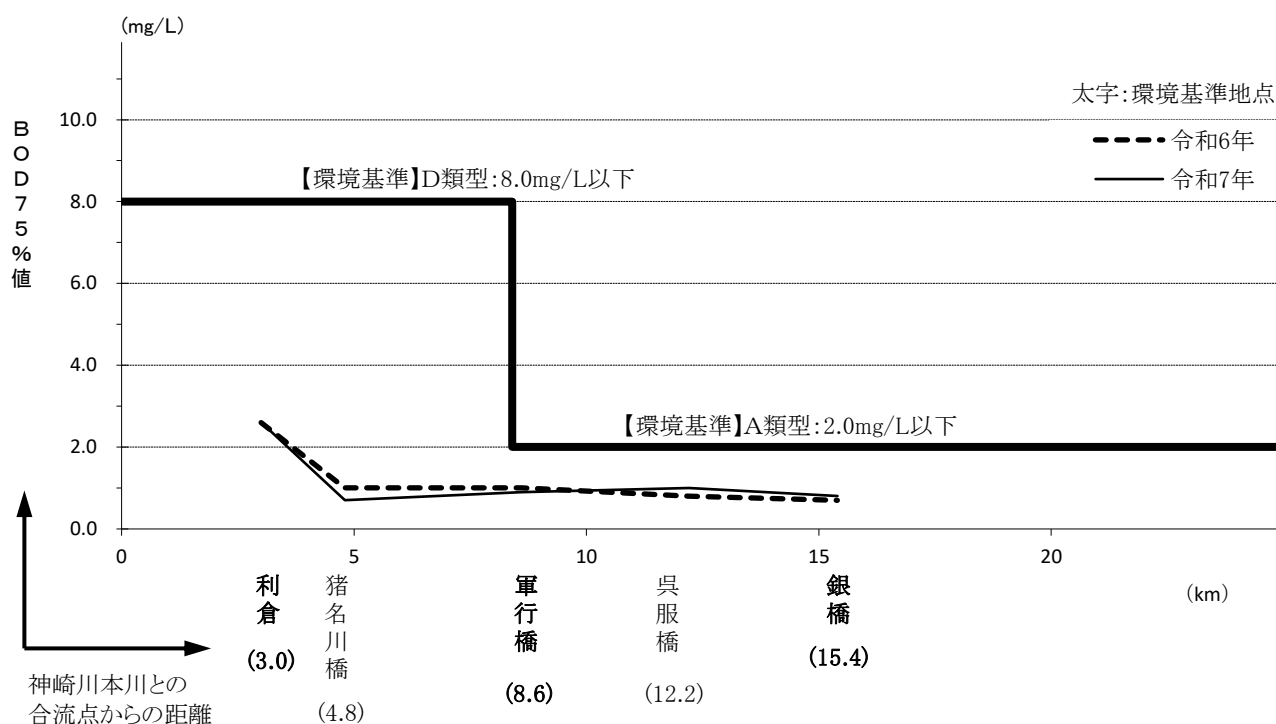


図－1.42 木津川の水質縦断面図（BOD75%値）

淀川水系の右派川神崎川右支川である猪名川の水質を軍行橋地点でみると、令和7年のBOD75%値は0.9mg/Lであった。昭和50年代よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持し、平成10年以降は1.0mg/L前後の水質となっている。



図－1.43 淀川水系（猪名川、藻川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

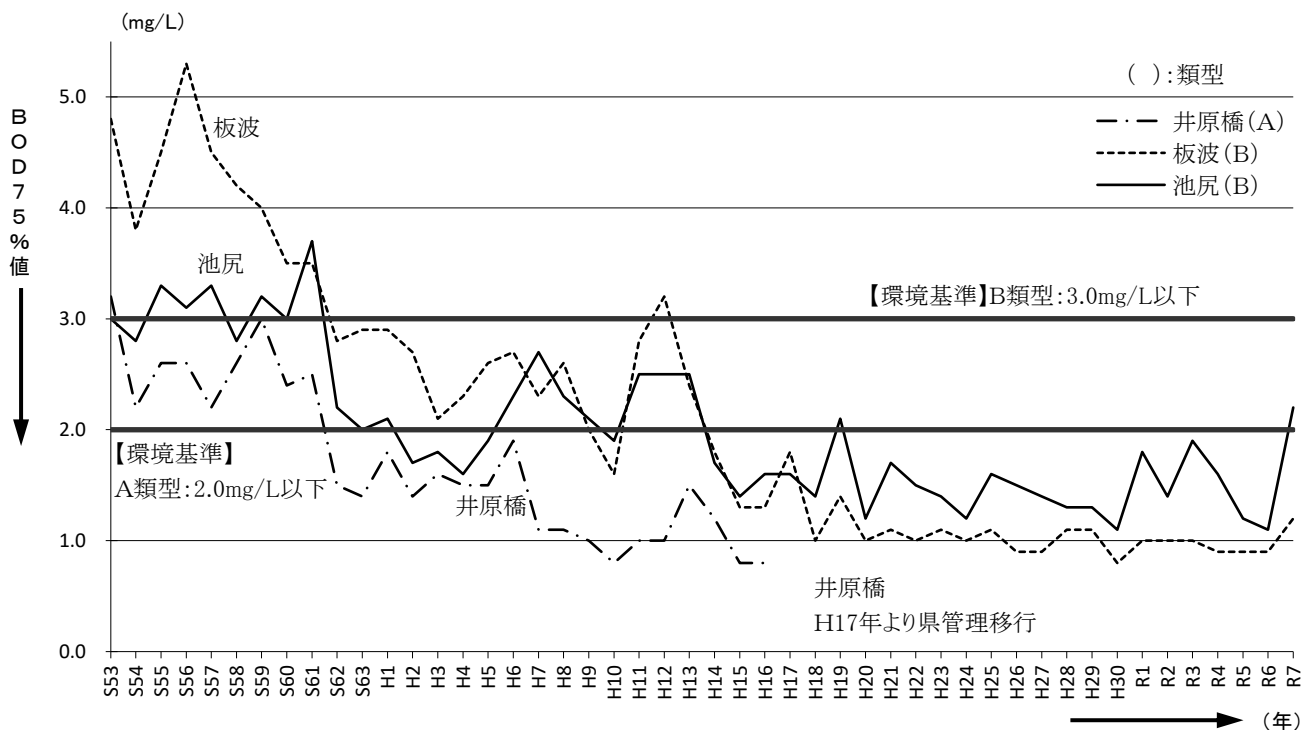


図－1.44 猪名川の水質縦断面図（BOD75%値）

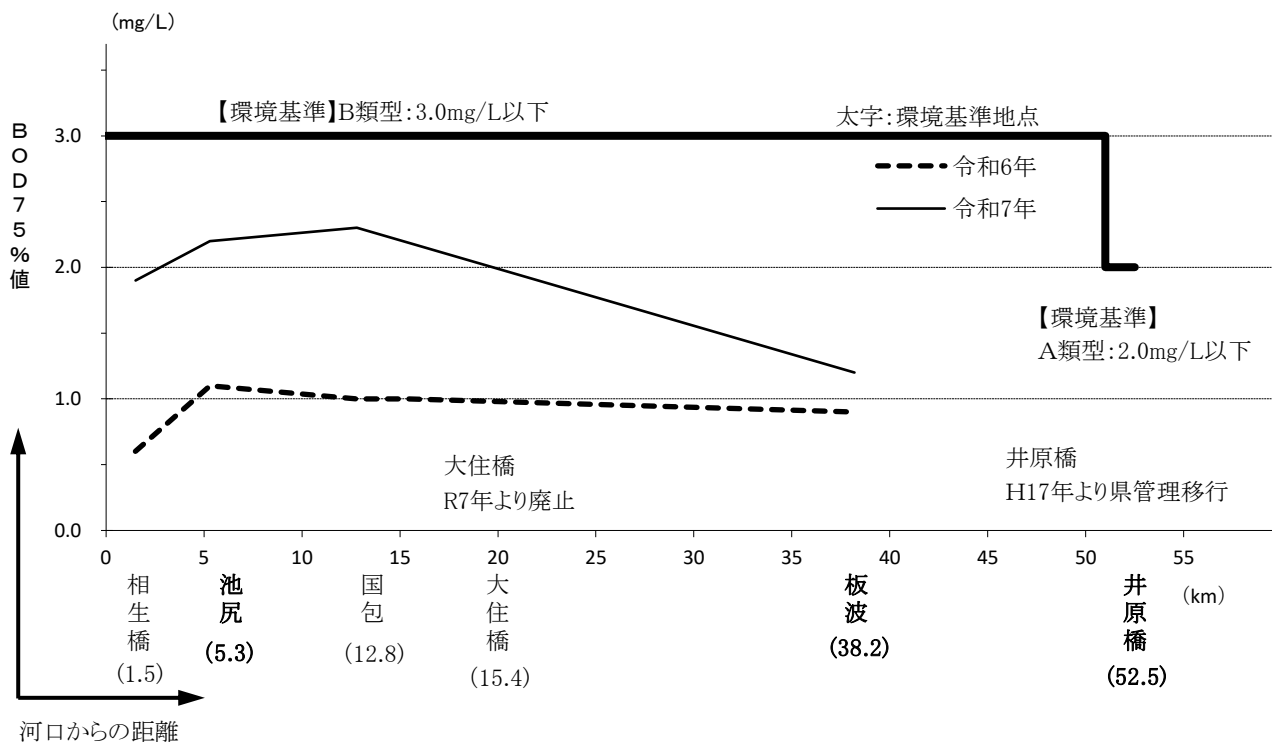
⑤ 加古川

いたば

板波地点でみると、令和7年のBOD75%値は1.2mg/Lであり、平成13年以降は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。



図－1.45 加古川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

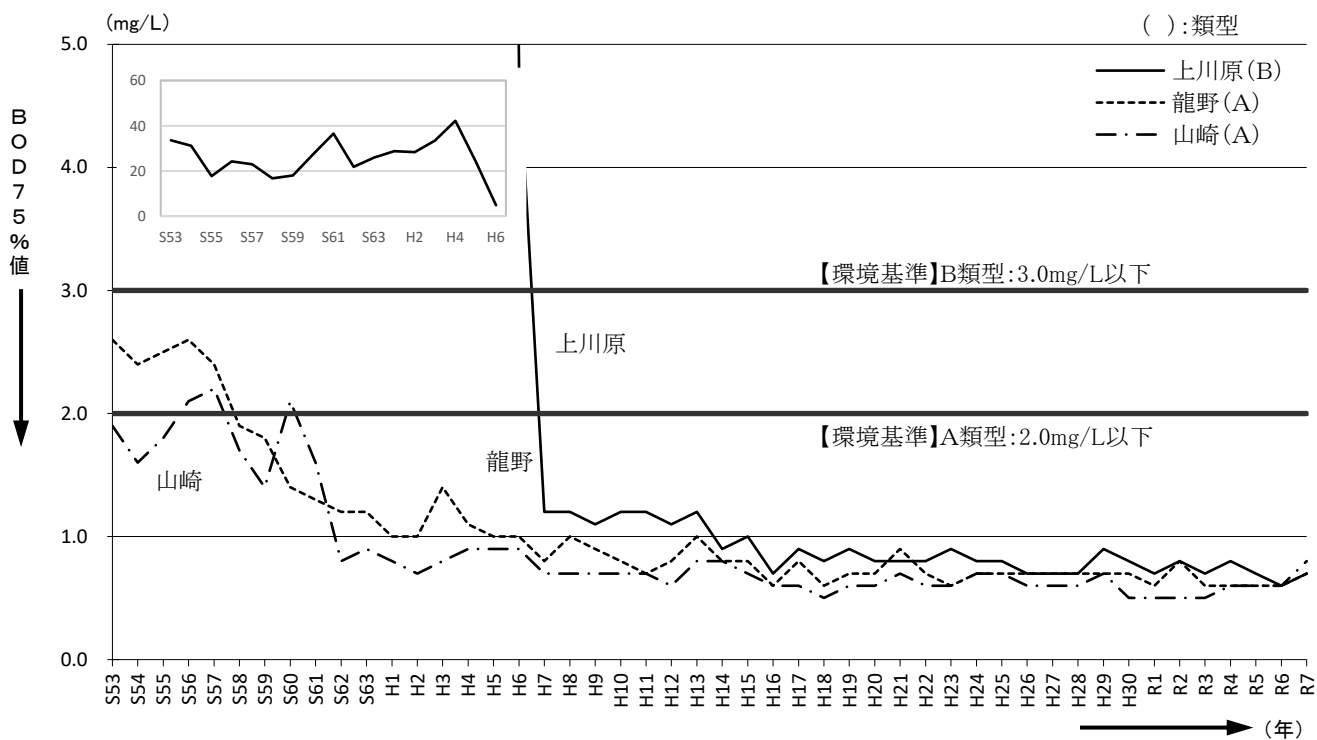


図－1.46 加古川の水質縦断図（BOD75%値）

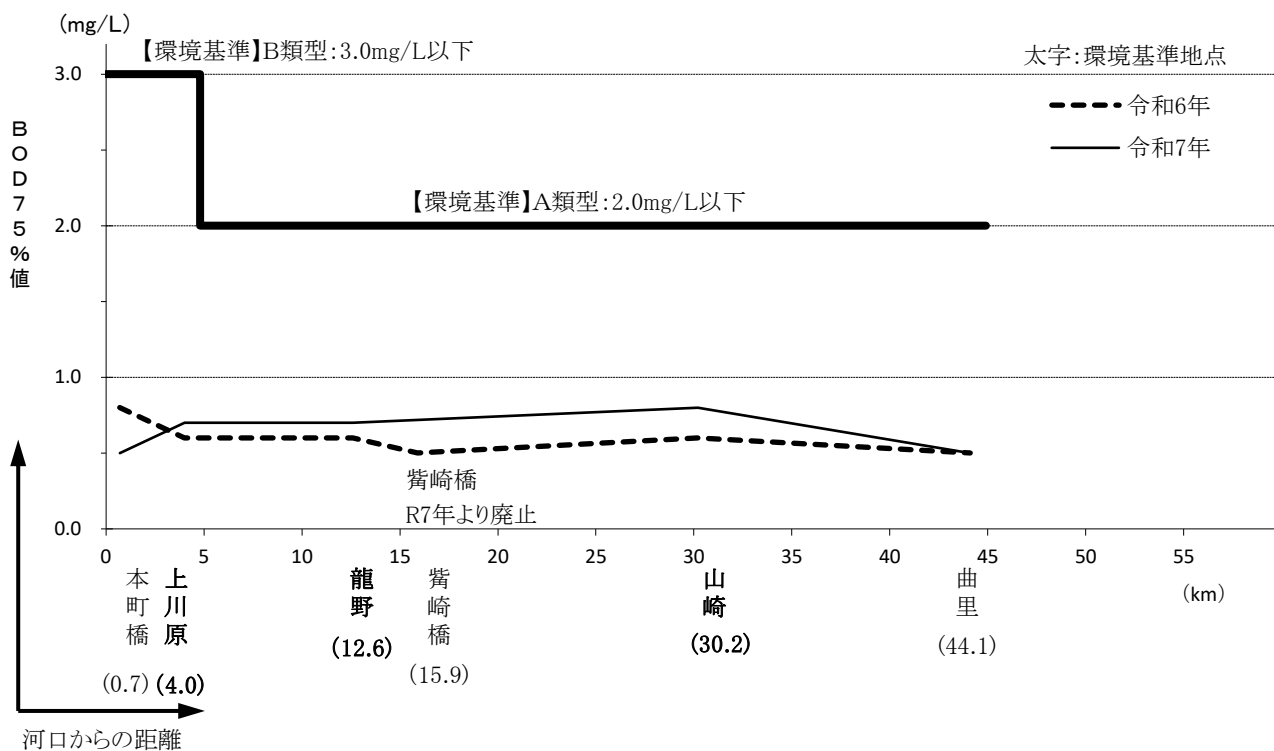
⑥ 揖保川

たつの

龍野地点でみると、令和7年のBOD75%値は0.7mg/Lであり、環境基準（A類型：2.0mg/L以下）を満足する水質である。また、林田川合流後の上川原地点でみると、令和7年のBOD75%値が0.7mg/Lであり、平成7年以降環境基準（B類型：3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。



図－1.47 揖保川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）



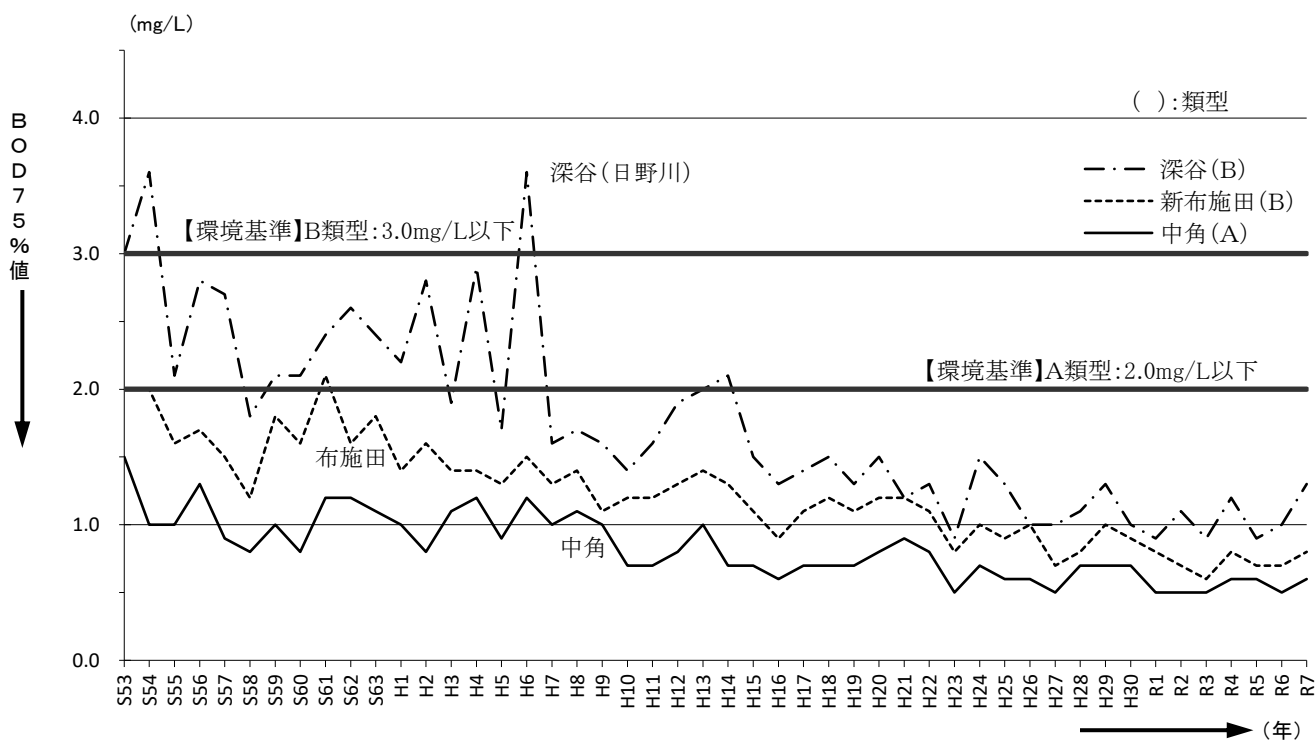
図－1.48 揖保川の水質縦断図（BOD75%値）

⑦ 九頭竜川

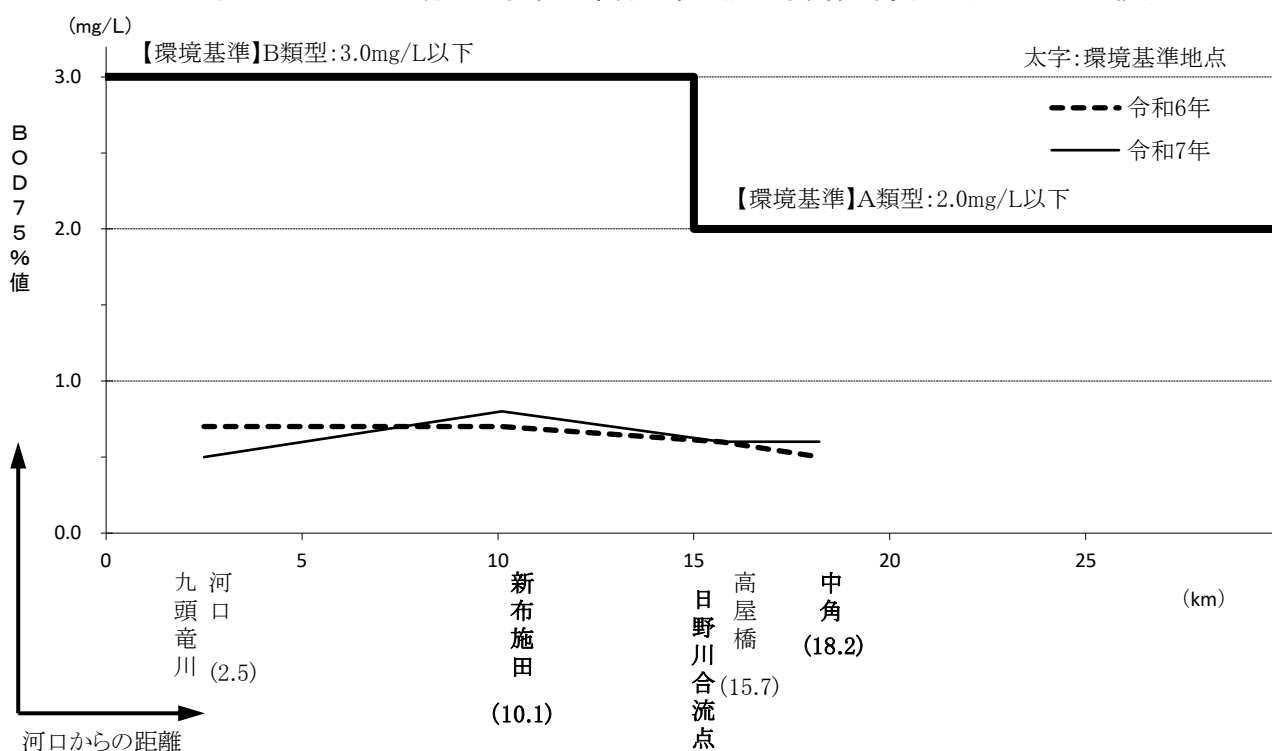
なかつの

中角地点でみると、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。平成14年以降は1.0mg/Lを下回り、やや漸減傾向にある。令和7年のBOD75%値は0.6mg/Lであった。

支川日野川下流の深谷地点でみると、令和7年のBOD75%値は1.3mg/Lであり、平成7年以降は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。



図－1.49 九頭竜川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

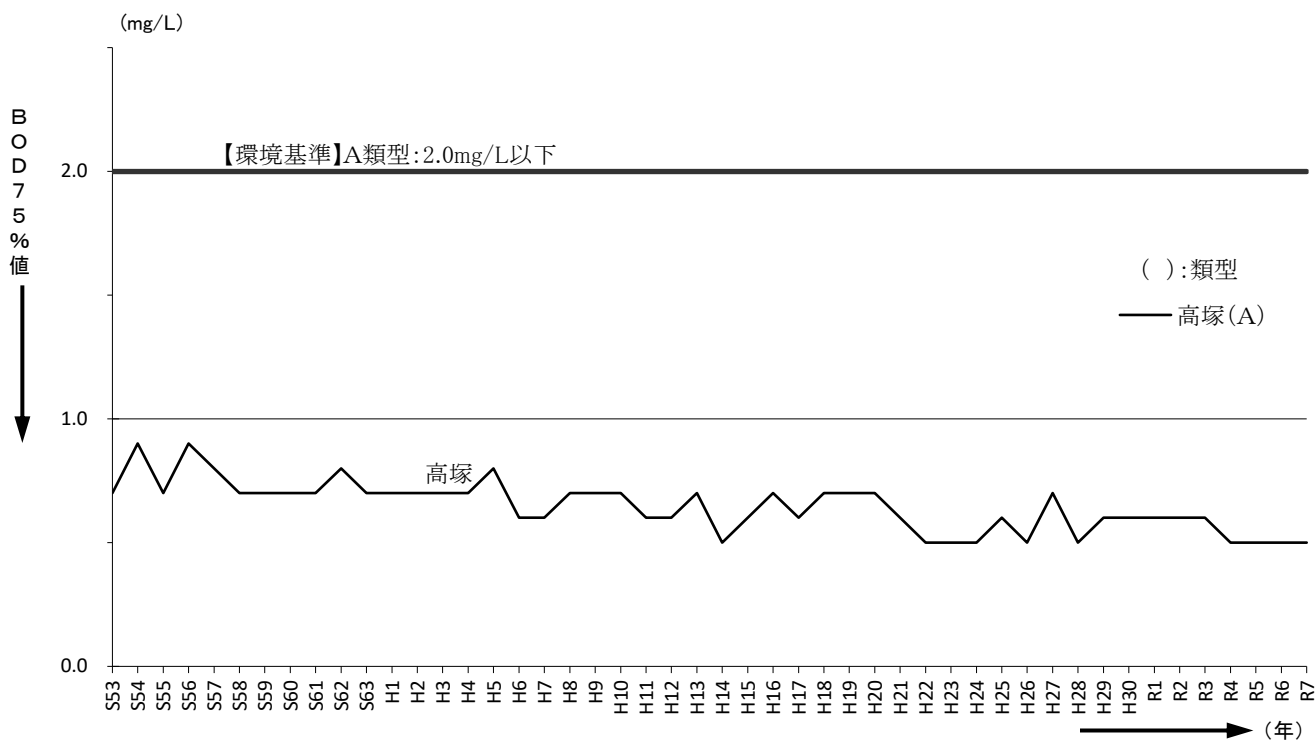


図－1.50 九頭竜川の水質縦断図（BOD75%値）

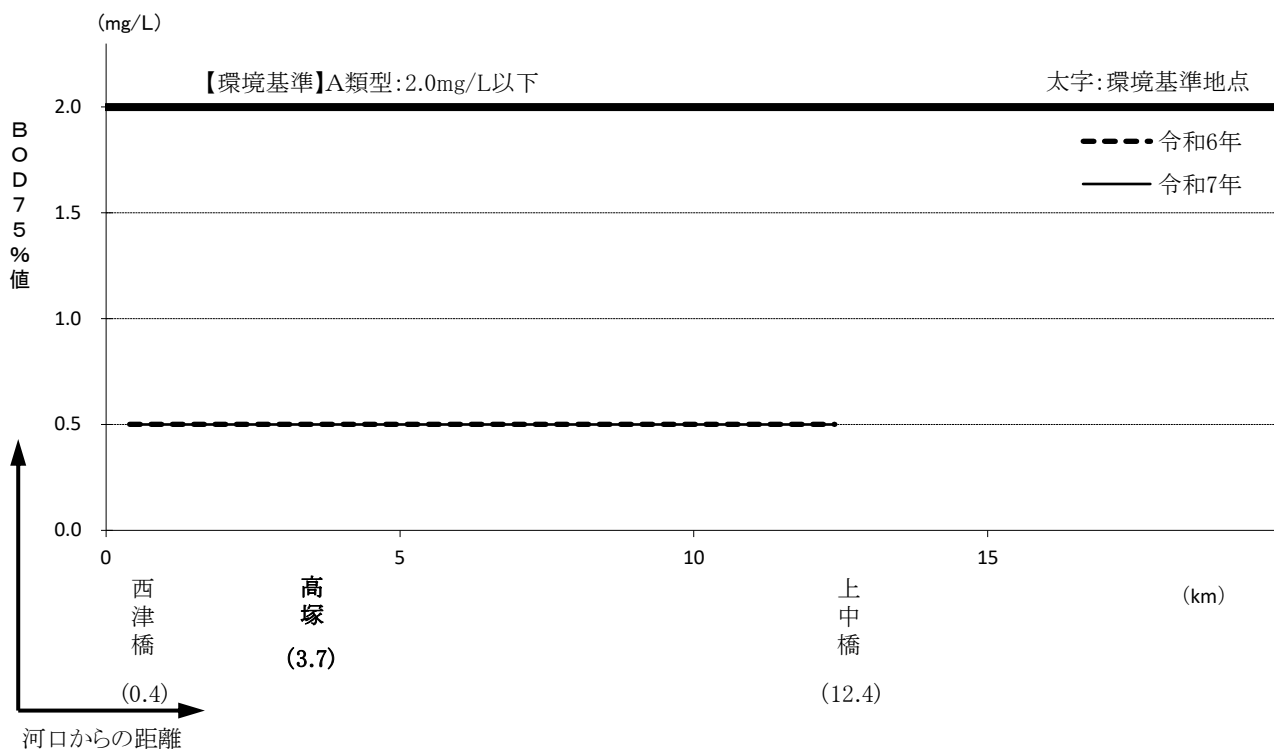
⑧ 北 川

たかつか

高塚地点は、昭和53年以降1.0mg/Lを下回る値で推移しており、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満
足する水質を維持している。令和7年のBOD75%値は0.5mg/Lであった。



図－1.51 北川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）



図－1.52 北川の水質縦断図（BOD75%値）

⑨ 由良川

は び ば し

波美橋地点でみると、昭和53年以降、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持しており、令和7年のBOD75%値は0.7mg/Lであった。

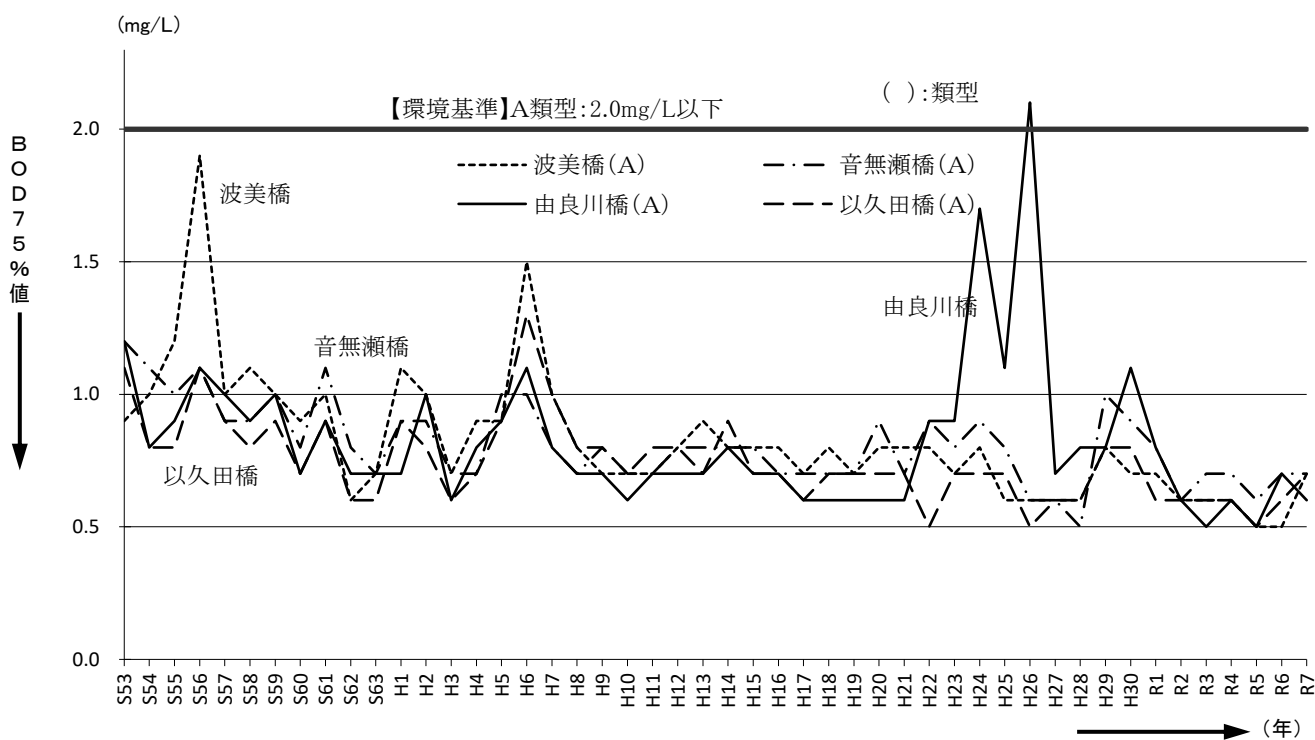


図-1.53 由良川水系（由良川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

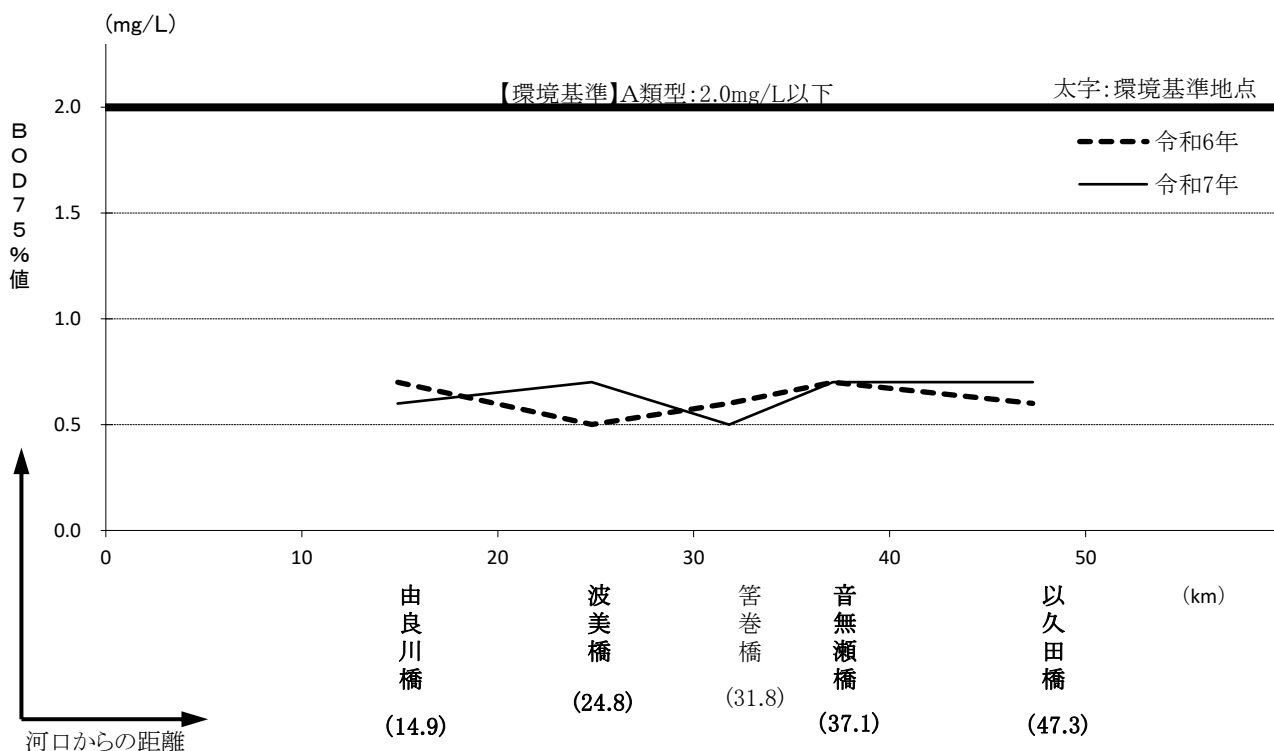
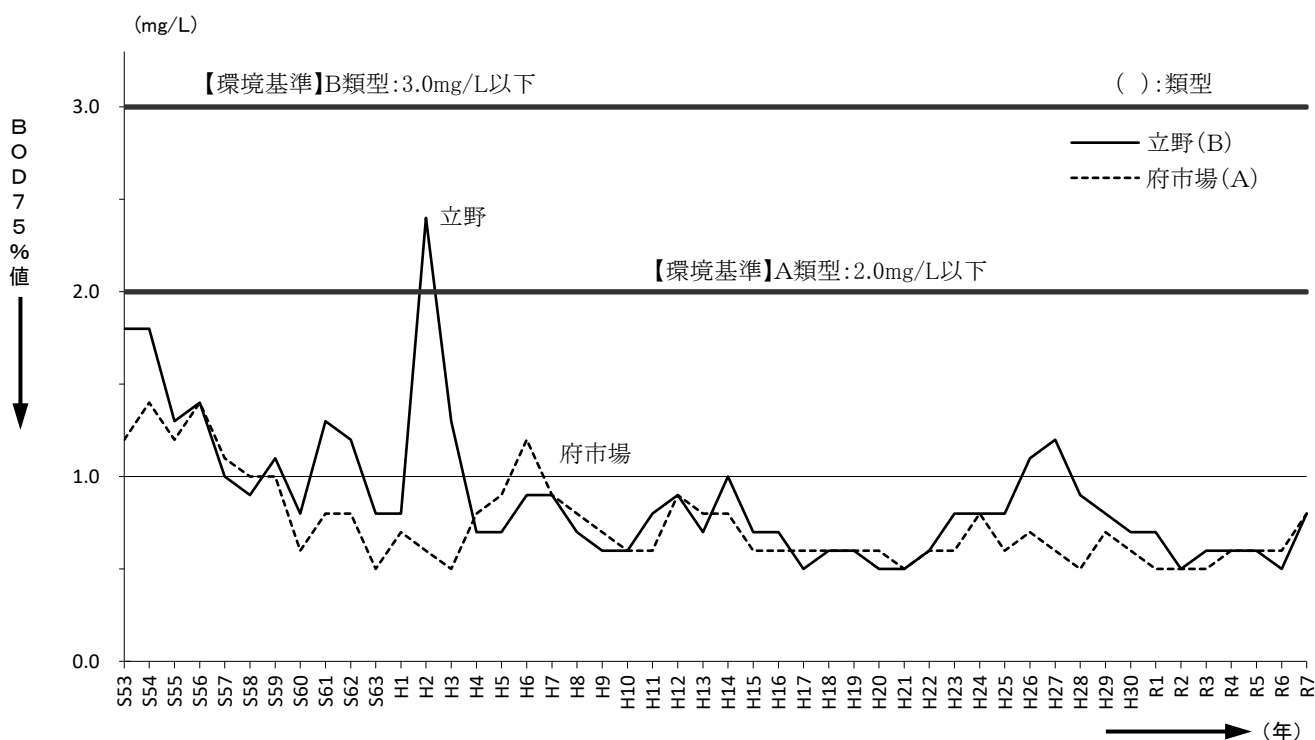


図-1.54 由良川の水質縦断図（BOD75%値）

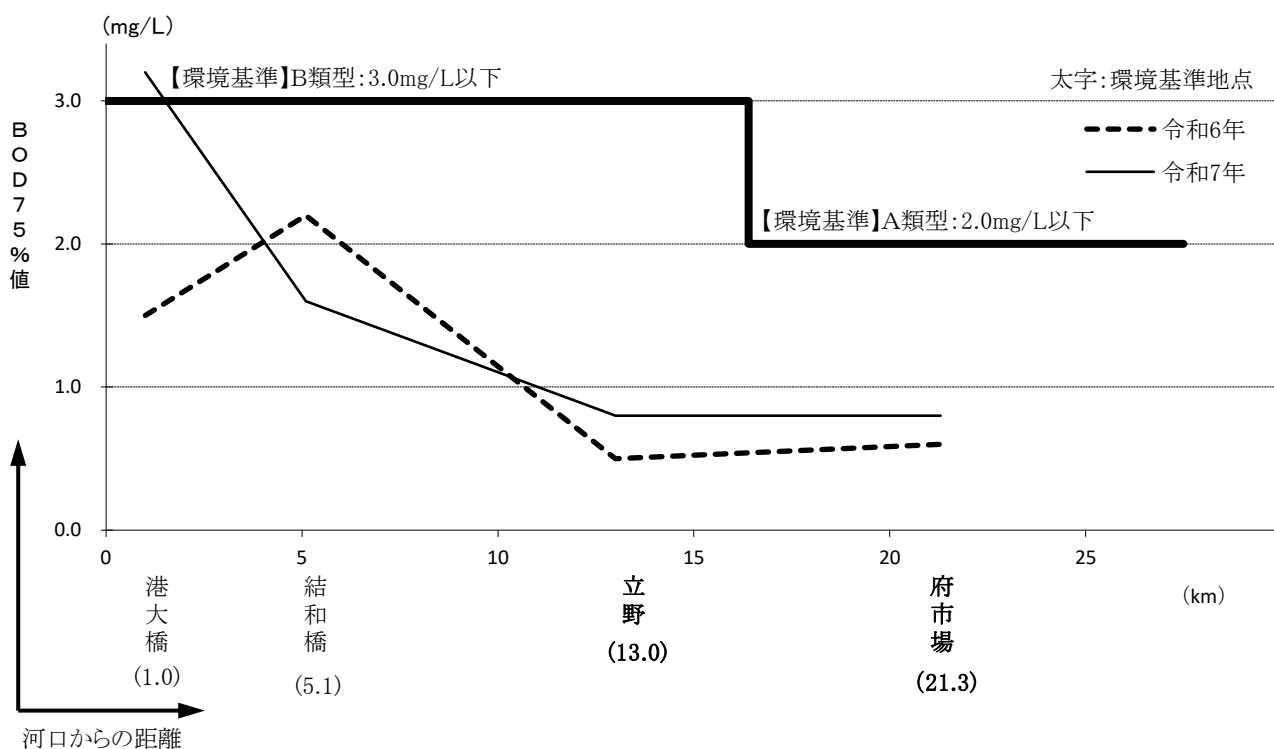
⑩ 円 山 川

たちの

立野地点でみると、昭和53年以降、環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持しており、平成3年以降は0.5～1.5mg/Lの間で推移している。令和7年のBOD75%値は0.8mg/Lであった。



図－1.55 円山川水系の水質経年変化（BOD75%値）



図－1.56 円山川の水質縦断図（BOD75%値）

1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況

表－1.6 水系別におけるランク別地点数（糞便性大腸菌群数）

水系別該当地点数																							
判定	糞便性 大腸菌群数 (個/100mℓ)	新宮川 水系		紀の川 水系		大和川 水系		淀川 水系		加古川 水系		揖保川 水系		九頭竜川 水系		北川 水系		由良川 水系		円山川 水系		計	
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
適	2以下	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	5
	3～100	4	3	2	6	0	2	1	3	1	0	2	2	1	2	1	3	6	1	1	0	19	22
可	101～400	0	0	7	4	5	7	1	1	4	3	4	3	2	1	2	0	0	4	1	2	26	25
	401～1000	0	0	1	0	4	3	2	4	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	10	10
不適	1001以上	1	1	0	0	5	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12	5
合計		5	5	11	11	14	14	10	9	5	4	6	5	8	8	3	3	6	6	2	2	70	67

表－1.7 (1) 一級河川の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

地点番号は図－1.7に示す。

判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
新 宮 川 (水 系)					
1	川 原 樋 川	◎ 川 原 樋 川 取 水 口	AA	20	適
2	熊 野 川	◎ 熊 野 大 橋	A	29	適
3	市 田 川	市 田 川 河 口	D	1100	不適
4	熊 野 川	熊 野 川 河 口	A	1	適
紀 の 川 (水 系)					
5	紀 の 川	◎ 大 川 橋	A	66	適
6	〃	御 蔵 橋	A	43	適
7	〃	◎ 恋 野 橋	A	88	適
8	〃	岸 上 橋	A	170	可
9	〃	三 谷 橋	A	13	適
10	〃	◎ 藤 崎 井 堰	A	300	可
11	貴 志 川	高 島 橋	A	200	可
12	紀 の 川	◎ 船 戸	A	300	可
13	〃	新 六 ヶ 井 堰	A	18	適
14	〃	紀 の 川 大 橋	A	4	適

*判定：「適」=100個/100mℓ以下、「可」=1000個/100mℓ以下、「不適」=1000個/100mℓを超えるもの

表-1.7 (2) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	
大 和 川 (水 系)					
15	佐 保 川	井 筒 橋	C	300	可
16	初 瀬 川	上 吐 田	C	20	適
17	大 和 川	太 子 橋	C	160	可
18	曾 我 川	◎ 小 柳 橋	C	55	適
19	〃	保 橋	C	120	可
20	大 和 川	御 幸 大 橋	C	1100	不適
21	〃	◎ 藤 井	C	2900	不適
22	〃	国 豊 橋	C	730	可
23	石 川	◎ 石 川 橋	A	110	可
24	大 和 川	◎ 河 内 橋	C	640	可
25	〃	◎ 浅 香 新 取 水 口	C	290	可
26	〃	◎ 遠 里 小 野 橋	D	170	可
27	佐 保 川	◎ 額 田 部 高 橋	C	230	可
28	〃	郡 界 橋	C	410	可
淀 川 (水 系)					
29	瀬 田 川	洗 堰 下	A	-	-
30	〃	◎ 唐 橋 流 心	A	-	-
31	野 洲 川	石 部	A	-	-
32	〃	◎ 服 部	A	-	-
33	宇 治 川	大 峰 橋 (天ヶ瀬ダム)	A	-	-
34	〃	宇 治 橋	A	-	-
35	〃	◎ 隠 元 橋	A	-	-
36	山 科 川	中 野 橋	未	-	-
37	宇 治 川	観 月 橋	B	-	-
38	東 高 瀬 川	三 栖 橋	未	-	-
39	宇 治 川	宇 治 川 大 橋	B	-	-
40	〃	◎ 宇 治 川 御 幸 橋	B	-	-
41	木 津 川	◎ 大 野 木 橋	A	-	-
42	〃	長 田 橋	A	-	-
43	服 部 川	◎ 伊 賀 上 野 橋	A	-	-
44	木 津 川	◎ 岩 倉 橋	A	-	-

*判定:「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表－1.7 (3) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
45	木 津 川	◎ 島 ケ 原 大 橋	A	-	-
46	〃	◎ 笹 瀬 橋	A	-	-
47	青 蓮 寺 川	青 蓮 寺 ダ ム 湖	未	-	-
48	名 張 川	新 夏 見 橋	A	-	-
49	宇 陀 川	安 部 田	未	-	-
50	名 張 川	名 張	A	-	-
51	〃	家 野 橋	A	-	-
52	〃	比 奈 知 ダ ム 湖	A	-	-
53	〃	高 山 ダ ム 湖	未	-	-
54	〃	高 山 ダ ム 下 流	未	-	-
55	宇 陀 川	高 倉 橋	A	-	-
56	〃	辻 堂 橋	A	-	-
57	〃	室 生 路 橋	A	-	-
58	木 津 川	◎ 加 茂 恭 仁 大 橋	A	-	-
59	〃	◎ 玉 水 橋	A	-	-
60	〃	◎ 木 津 川 御 幸 橋	A	-	-
61	桂 川	貯 水 池 基 準 点 (日 吉 ダ ム)	A	-	-
62	〃	◎ 渡 月 橋	A	-	-
63	〃	◎ 西 大 橋	A	-	-
64	〃	久 世 橋	A	-	-
65	〃	羽 束 師 橋	A	-	-
66	〃	◎ 宮 前 橋	A	-	-
67	淀 川	◎ 枚 方 大 橋	B	-	-
68	〃	◎ 鳥 飼 大 橋	B	-	-
69	〃	◎ 菅 原 城 北 大 橋	B	-	-
70	〃	◎ 伝 法 大 橋	C	-	-
71	芥 川	◎ 鷺 打 橋	A	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表－1.7 (4) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
72	一庫大路次川	一 庫 ダ ム	未	-	-
73	猪 名 川	◎ 銀 橋	A	270	可
74	〃	呉 服 橋	A	76	適
75	最 明 寺 川	最 明 寺 川 流 末	未	39	適
76	猪 名 川	◎ 軍 行 橋	A	560	可
77	内 川	内 川 流 末	未	450	可
78	駄 六 川	駄 六 川 流 末	未	78	適
79	猪 名 川	猪 名 川 橋	D	690	可
80	〃	◎ 利 倉	D	1800	不適
81	藻 川	◎ 中 園 橋	B	570	可
加 古 川 (水 系)					
82	加 古 川	◎ 板 波	B	260	可
83	〃	大 住 橋	B	0	0
84	〃	国 包	B	200	可
85	〃	◎ 池 尻	B	160	可
86	〃	相 生 橋	B	1	適
87	東 条 川	古 川 橋	未	-	-
88	万 願 寺 川	西 脇 橋	未	-	-
揖 保 川 (水 系)					
89	揖 保 川	曲 里	A	6	適
90	〃	◎ 山 崎	A	150	可
91	〃	鶯 崎	A	0	0
92	〃	◎ 龍 野	A	130	可
93	〃	◎ 上 川 原	B	200	可
94	〃	本 町 橋	B	38	適
95	林 田 川	構	未	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表－1.7 (5) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
九 頭 竜 川 (水 系)					
96	九 頭 竜 川	◎ 九 頭 竜 ダ ム 湖	AA	2	適
97	真名川ダム湖	真 名 川 ダ ム 湖	未	2	適
98	九 頭 竜 川	◎ 中 角	A	140	可
99	〃	高 屋 橋	A	50	適
100	日 野 川	◎ 深 谷	B	620	可
101	〃	日 光 橋	B	440	可
102	九 頭 竜 川	◎ 布 施 田	B	860	可
103	〃	九 頭 竜 川 河 口	B	78	適
北 川 (水 系)					
104	北 川	上 中 橋	A	10	適
105	〃	◎ 高 塚	A	76	適
106	〃	西 津 橋	A	3	適
由 良 川 (水 系)					
107	土 師 川	◎ 土 師 橋	A	99	適
108	由 良 川	◎ 以 久 田 橋	A	110	可
109	〃	◎ 音 無 瀬 橋	A	110	可
110	〃	筈 巻 橋	A	140	可
111	〃	◎ 波 美 橋	A	2200	不適
112	〃	◎ 由 良 川 橋	A	170	可
円 山 川 (水 系)					
113	円 山 川	◎ 府 市 場	A	330	可
114	出 石 川	弘 原	未	-	-
115	円 山 川	◎ 立 野	B	270	可
116	〃	結 和 橋	B	-	-
117	〃	港 大 橋	B	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表－1.8 (1) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点（N・P）

地点番号は図－1.7および図－1.8に示す。

判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
新 宮 川 (水 系)					
118	熊 野 川	◎ 猿 谷 ダ ム 湖 中 央	A	20	適
紀 の 川 (水 系)					
119	紀 の 川	大 滝 ダ ム 湖 ダ ム サ イ ト	A	1	適
淀 川 (水 系)					
120	琵琶湖(南湖)	粟 津 沖 中 央	AA	-	-
121		三 保 ケ 崎 沖	AA	-	-
122		◎ 浜 大 津 沖	AA	-	-
123		浜 大 津 沖 中 央	AA	-	-
124		柳 ケ 崎 沖	AA	-	-
125		柳 ケ 崎 沖 中 央	AA	-	-
126		山 田 港 沖	AA	-	-
127		○ 唐 崎 沖	AA	-	-
128		◎ 唐 崎 沖 中 央	AA	-	-
129		伊 佐 ヌ 川 沖	AA	-	-
130		大 宮 川 沖	AA	-	-
131		大 宮 川 沖 中 央	AA	-	-
132		志 那 沖	AA	-	-
133		雄 琴 沖	AA	-	-
134		雄 琴 沖 中 央	AA	-	-
135		◎ 新 杉 江 港 沖	AA	-	-
136		堅 田 沖	AA	-	-
137		◎ 堅 田 沖 中 央	AA	-	-
138	木 ノ 浜 沖	AA	-	-	
139	琵琶湖(北湖)	丹 出 川 沖	AA	-	-
140		丹 出 川 沖 中 央	AA	-	-
141		吉 川 港 沖	AA	-	-
142		ほ う ら い 沖	AA	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表－1.8 (2) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R7	R7
143	琵琶湖(北湖)	ほうらい沖中央	AA	-	-
144	〃	日 野 川 沖	AA	-	-
145	〃	南 比 良 沖	AA	-	-
146	〃	○南比良沖中央	AA	-	-
147	〃	長 命 寺 沖	AA	-	-
148	〃	◎北 小 松 沖	AA	-	-
149	〃	北小松沖中央	AA	-	-
150	〃	◎愛 知 川 沖	AA	-	-
151	〃	大 溝 沖	AA	-	-
152	〃	大 溝 沖 中 央	AA	-	-
153	〃	石 寺 沖	AA	-	-
154	〃	安 曇 川 沖	AA	-	-
155	〃	○安曇川沖中央	AA	-	-
156	〃	彦 根 港 沖	AA	-	-
157	〃	外 ケ 浜 沖	AA	-	-
158	〃	外ヶ浜沖中央	AA	-	-
159	〃	天 野 川 沖	AA	-	-
160	〃	◎今 津 沖	AA	-	-
161	〃	○今津沖中央	AA	-	-
162	〃	姉 川 沖	AA	-	-
163	〃	◎長 浜 沖	AA	-	-
164	〃	知 内 川 沖	AA	-	-
165	〃	知内川沖中央	AA	-	-
166	〃	早 崎 港 沖	AA	-	-
167	布 目 川	◎布 目 ダ ム	A	-	-
168	宇 陀 川	◎室 生 ダ ム 湖	A	-	-
169	〃	◎県営水道取水口	A	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

2. 住民参加による水質調査

2. 1 住民協働調査の目的

水辺の魅力を高め、良好な河川環境を維持していくためには、市民参加による河川環境の整備と保全を進めていくことが重要である。

住民との協働による水質調査は、住民が測定に参加でき、かつ、分かりやすい水質項目を住民と協働して調査することによって、水質調査活動を通じた住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとした調査である。

2. 2 調査内容

「住民参加による水質調査」は、主に表－2.1に示す取り組みや調査の一環として、古くから全国で数多く実施されている。

これら調査は、子どもに向けた啓発・学習ツールとしても利用されており、調査の定着や多様化も見られている。

調査では、水辺に来る人々に理解できる分かりやすい指標項目で、水質調査に容易に参加でき、その調査結果が評価できるような水質項目として、主に表－2.1に示す調査項目が利用されている。

これら項目は、「河川（湖沼）水質管理の指標（案）」における「住民との協働による測定項目」として、啓発・学習に効果的な水質項目及び水質に関連する重要な項目としても紹介されている。

表－2.1 住民との協働による水質調査の主な種類と測定項目

調査の種類	概要	主な測定項目
①河川愛護活動・イベントの一環として実施	・河川愛護月間などの行事や地元が開催するイベントにおいて実施 ・自治体、漁業関係者等と河川管理者の連携のもと川遊びや稚魚放流、防災体験などの多様な体験メニューの一つとして水質調査を実施	簡易水質調査（パックテスト等） 水生生物による水質の簡易調査 など
②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施	・教育委員会や学校と河川管理者の連携のもと学校の授業において水質調査を実施 ・河川協力団体や教育関係者等が主体となって、子供の夏休みの自由研究向けに企画・実施するケースもある。	簡易水質調査（パックテスト等） 水生生物による水質の簡易調査 水温、流速、川底の石の大きさなど
③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施	・国土交通省では、平成 17 年から、水質調査の一部を住民と河川管理者の協働により実施。 ・感覚的な水質指標による調査（ごみの量や水の臭いなどを実際に体感することで測定し、評価する）を取り入れた調査を実施。	感覚的な水質指標による調査 ・ごみの量 ・透視度 ・川底の感触 ・水の臭い 水生生物による水質の簡易調査
④水生生物による簡易水質調査として実施	・水生生物は、水の汚れ（水質汚濁）の長期的・複合的な状況を反映しているので、これらの生物の種類や数を調べることで、おおまかな河川の水質を知る調査。 ・国土交通省と環境省では、昭和 59 年度から小中高生や一般の方の参加を得て全国にて継続的に実施している。	水生生物による水質の簡易調査
⑤その他	・平成 16 年から実施している「身近な水環境の全国一斉調査」では、市民団体等が協働で全国の河川や水辺など身近な水環境の水質をパック方式により一斉に調査し、公表している。 ・地域の特性やニーズに応じて、地域独自の調査（測定）項目や評価方法（点数付けなど）を設定し、調査を行うケースもある。	（地域独自の測定項目を設定）

2. 3 実施水系、湖沼と地点数

令和7年の河川における調査実施状況を表－2.2に示す。なお、令和7年は湖沼における調査は実施していない。

近畿地方整備局管内のすべての水系で住民との協働調査を実施しており、その調査地点数は10水系、延べ50地点（実地点数は49地点）である。

種類ごとでは、「河川愛護活動・イベントの一環として実施」が3地点、「出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施」が7地点、「今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施」が4地点、「水生生物の簡易水質調査として実施」が36地点、「その他」（身近な水環境全国一斉調査として実施）が0地点である。

表－2.2 調査を実施した水系と地点数

水系	①河川愛護活動・イベントの一環として実施	②出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施	③今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施	④水生生物による簡易水質調査として実施	⑤その他	全体 （R6住民参加による水質調査）
新宮川				1		1
紀の川				2		2
大和川		4				4
淀川	3	3	4	14		24
加古川				2		2
揖保川				8		8
九頭竜川				5		5
北川				1		1
由良川				1		1
円山川				2		2
水系数	1	2	1	9	0	10
地点数	3	7	4	36	0	50

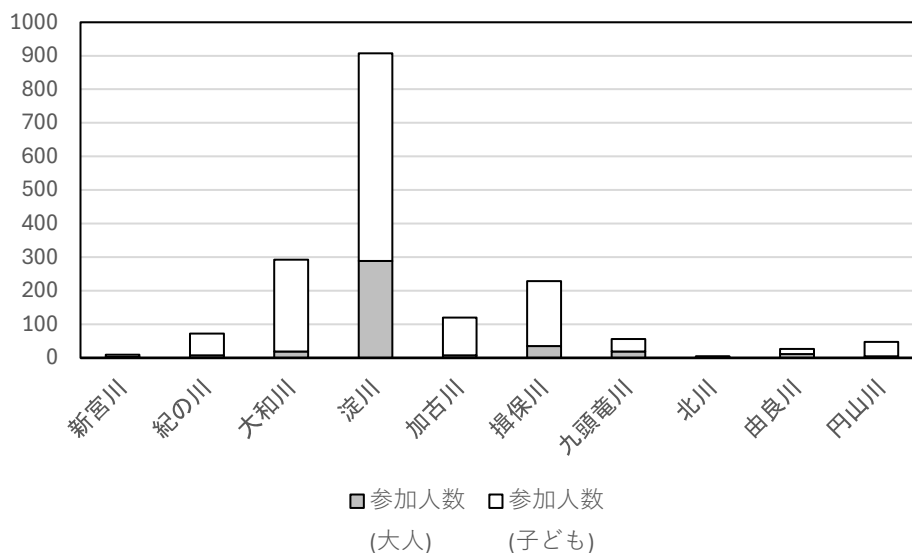
※全体の地点数は延べ数

2. 4 参加者数

令和7年の近畿地方整備局管内の河川における住民参加による水質調査は、全体で大人394人、子供1,367人、合計1,761人の住民の参加を得て実施した（表－2.3）。すべての水系で子供(15歳以下)の割合が多いか同数であった（図－2.1）。また、調査の種類別では「水生生物の簡易水質調査として実施」の調査の参加者数が多く、全参加者数の三分の一を占めた（表－2.4）。

表－2.3 調査に参加した住民の数（大人、小人別）（延べ人数）

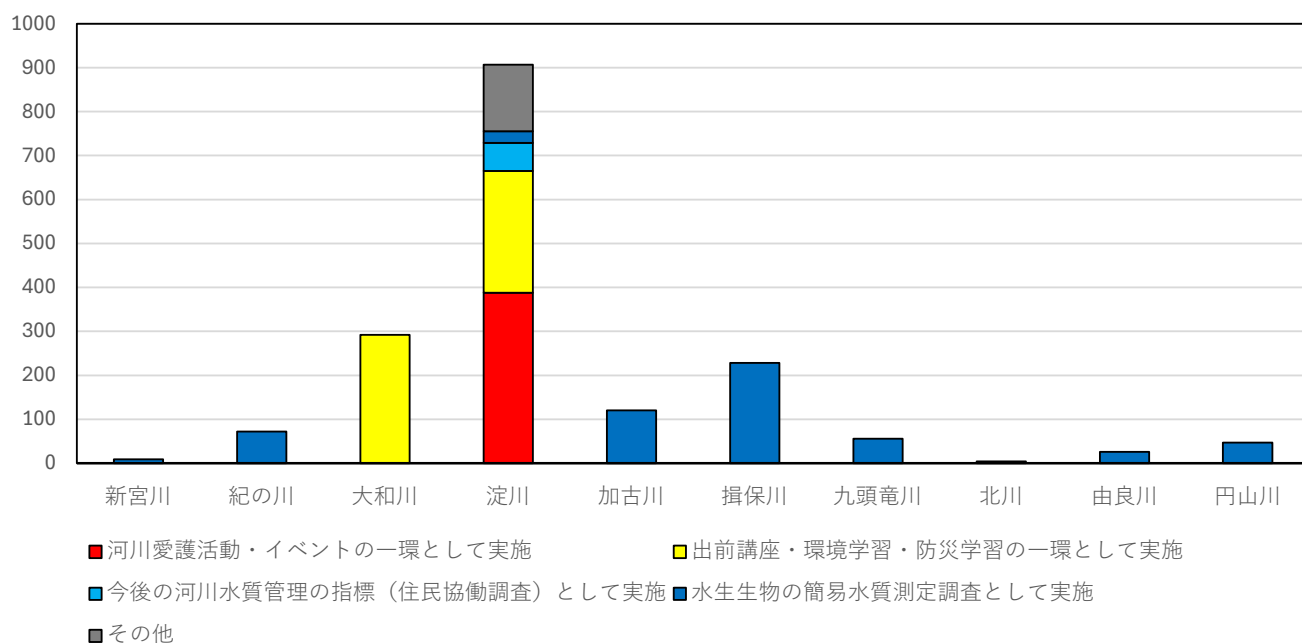
水系	参加人数(大人)	参加人数(子ども)	参加人数(計)
新宮川	2	7	9
紀の川	7	65	72
大和川	19	273	292
淀川	288	619	907
加古川	7	113	120
揖保川	35	193	228
九頭竜川	19	37	56
北川	2	2	4
由良川	11	15	26
円山川	4	43	47
合計	394	1367	1761



図－2.1 調査に参加した住民の数（大人、小人別）（延べ人数）

表－2.4 調査に参加した住民の数（調査の種類別）（延べ人数）

水系	河川愛護活動・イベントの一環として実施	出前講座・環境学習・防災学習の一環として実施	今後の河川水質管理の指標（住民協働調査）として実施	水生生物の簡易水質測定調査として実施	その他	合計
新宮川	0	0	0	9	0	9
紀の川	0	0	0	72	0	72
大和川	0	292	0	0	0	292
淀川	388	277	64	26	152	907
加古川	0	0	0	120	0	120
揖保川	0	0	0	228	0	228
九頭竜川	0	0	0	56	0	56
北川	0	0	0	4	0	4
由良川	0	0	0	26	0	26
円山川	0	0	0	47	0	47
合計	388	569	64	588	152	1761



図－2.2 調査に参加した住民の数（調査の種類別）（延べ人数）

このうち、住民参加が多かった地点は、表－2.4のとおりである。

表－2.4 参加者数が特に多かった調査地点（上位5地点）

順位	水系名	河川名	調査地点名	参加人数(大人)	参加人数(子ども)	参加人数(計)
1	大和川	大和川	河内橋	15	230	245
2	淀川	猪名川	池田床固下流	64	161	225
3	淀川	猪名川	桑津橋	73	97	170
4	淀川	木津川	稲広橋	68	72	140
5	淀川	猪名川	初谷川	5	105	110

3. 令和7年度ダイオキシン類の調査結果

3. 1 ダイオキシン類の調査地点

平成11年度以降、ダイオキシン類について継続的に調査を実施しており、近畿地方整備局管内では10水系47地点において実施している。水系ごとの調査地点を表－3.1に示す。

※基準監視地点・・・水系の順流最下流地点の環境基準点や流域の特性等を考慮して設定している地点

※補助監視地点・・・基準監視地点での調査を補完することを目的とし、過去の調査経緯や濃度が比較的高濃度となる可能性が高い地点

表－3.1 水系別の調査地点

地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
基準監視地点	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
補助監視地点	1 (2)	0 (3)	2 (7)	1 (12)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (3)	4 (34)
水系 計	2 (3)	1 (4)	3 (8)	5 (16)	1 (3)	1 (2)	1 (2)	1 (3)	1 (2)	1 (4)	17 (47)

上段 : 令和7年度調査地点数
(下段) : 各水系における調査地点数

3. 2 ダイオキシン類の調査結果

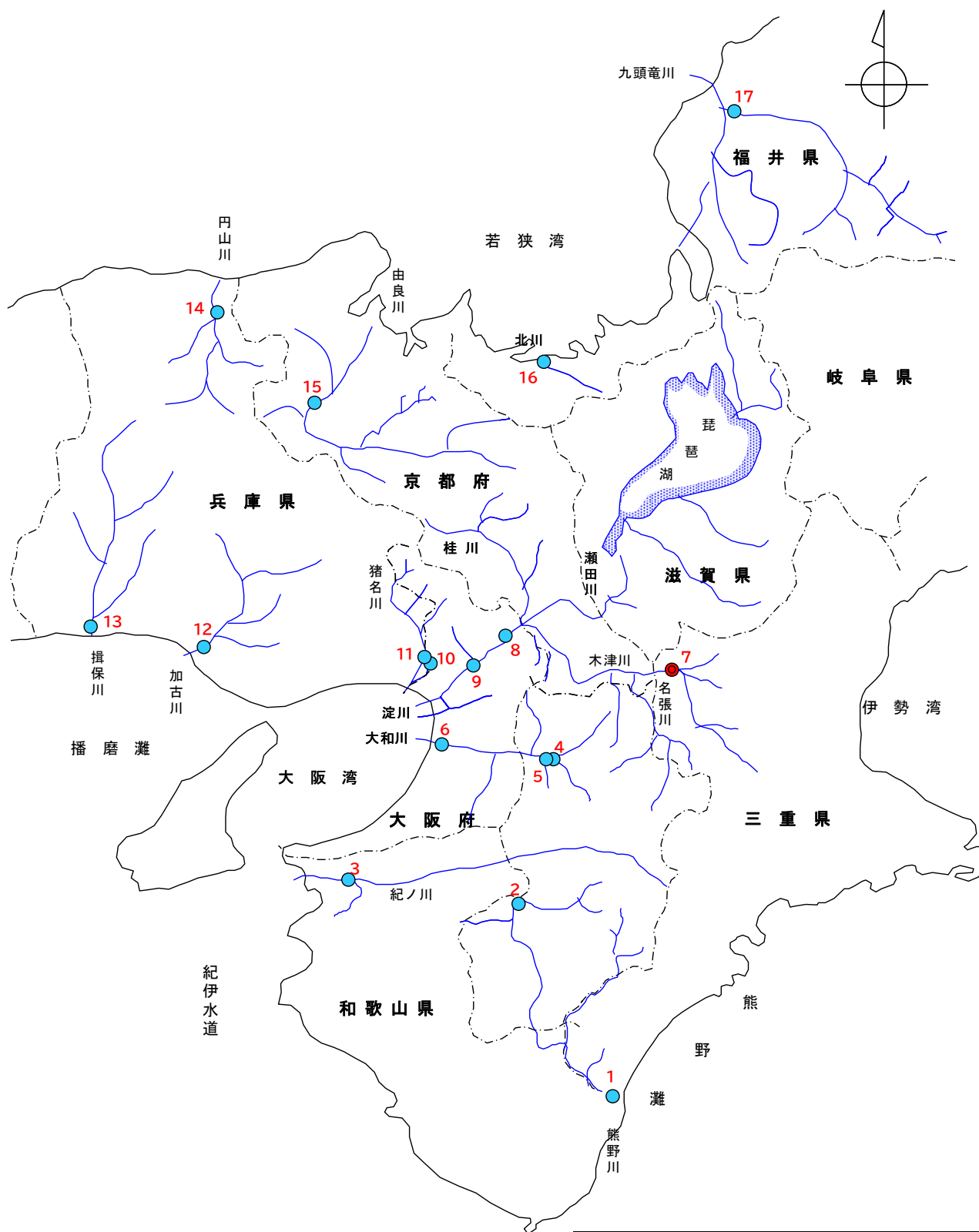
各地点における調査については、原則として年1回水質と底質を同時に調査している。また、環境基準値を超過する地点については重点監視状態にある地点（重点監視地点）として重点的に調査を行うこととしている。調査頻度の考え方は、表－3.2のとおりである。また、令和7年度当初時点における各水系における重点監視地点の内訳を表－3.3に、令和7年度調査結果を図－3.1、図－3.2、表－3.4、表－3.5に示す。

表－3.2 地点の種別による調査頻度

地点の種別	調査頻度	備 考
基準監視地点	1回/年	—
補助監視地点	1回/3年	—
重点監視地点	2回/年もしくは 4回/年（2回/年の調査で2回とも環境基準を超えた場合）	過去の調査において環境基準値を超過し、その後の調査で環境基準を2年間下回っていない地点。

表－3.3 各水系における重点監視地点（令和7年度当初時点）

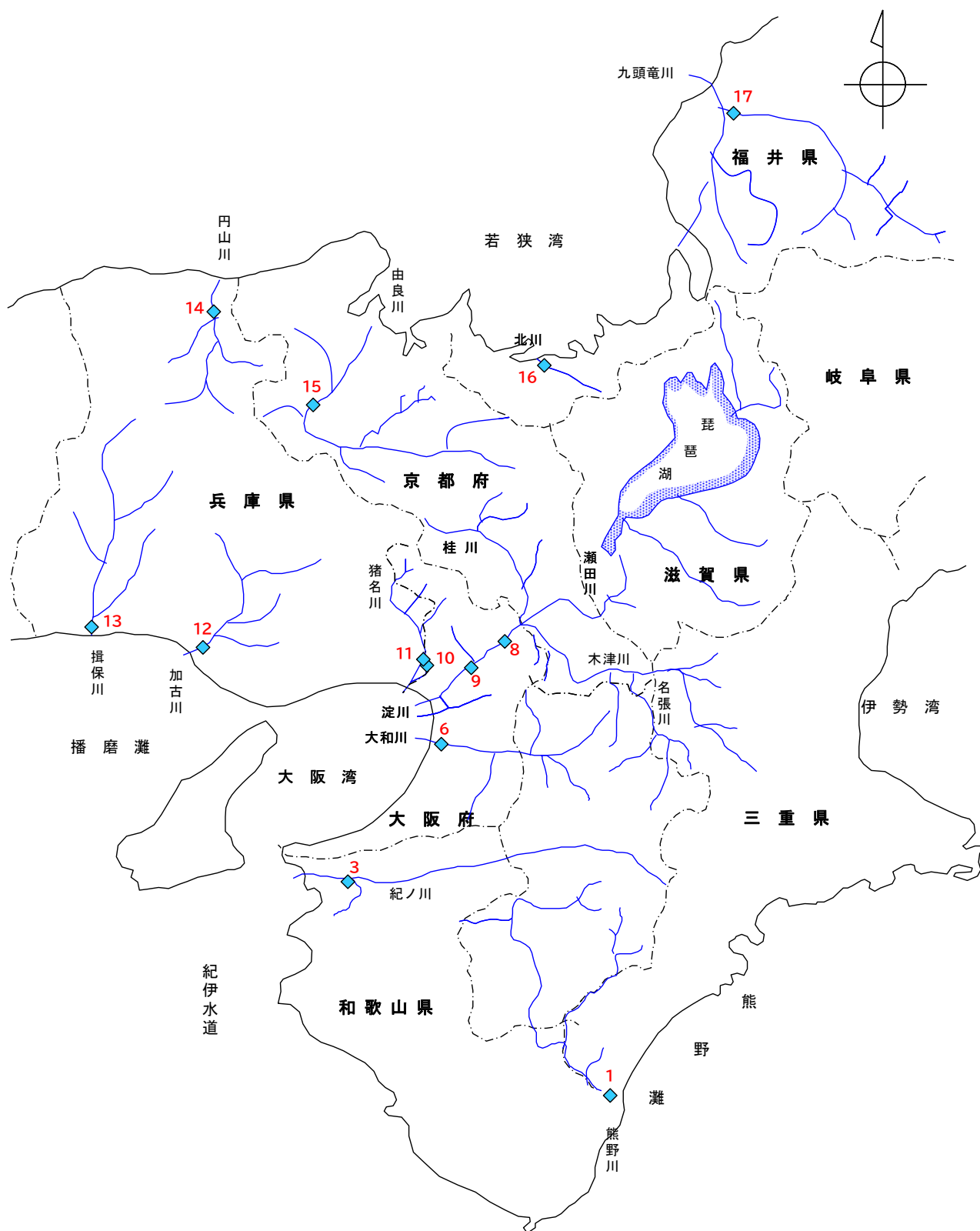
地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
重点監視地点数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
調査地点数	2	1	3	5	1	1	1	1	1	1	17



※数字は地点番号を示す。

※複数回の調査を実施した地点は年平均値で作成

図-3.1 令和7年度ダイオキシン類（水質）調査結果



※数字は地点番号を示す。

凡例	
環境基準値を超える地点	◆
環境基準値以下の地点	◆
重点監視地点（重点調査地点）	◇

※複数回の調査を実施した地点は年最高値で作成

図－3.2 令和7年度ダイオキシン類（底質）調査結果

表-3.4 令和7年度ダイオキシン類調査結果一覧表

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	地点の種別			ダイオキシン類(水質)				ダイオキシン類(底質)			
				基準監視地点 補助監視地点 の別	重点監視地点 (※1)		PCDD + PCDF	Co-PCB	TOTAL	評価値 (平均値)	PCDD + PCDF	Co-PCB	TOTAL	評価値 (最高値)
					水質	底質								
							pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
1	新宮川	熊野川	熊野大橋	基準			0.062	0.0046	0.067	0.067	0.22	0.014	0.23	0.23
2	新宮川	熊野川	猿谷ダム湖中央	補助			0.062	0.0047	0.067	0.067	—	—	—	—
3	紀の川	紀の川	船戸	基準			0.08	0.0047	0.084	0.08	0.32	0.014	0.34	0.34
4	大和川	大和川	上判田	補助			0.60	0.028	0.63	0.63	—	—	—	—
5	大和川	大和川	太子橋	補助			0.36	0.014	0.37	0.37	—	—	—	—
6	大和川	大和川	遠里小野橋 中	基準			0.32	0.016	0.33	0.33	0.25	0.014	0.26	0.26
7	淀川	木津川	岩倉橋	補助	○		3.7	0.0048	3.8	2.2	—	—	—	—
7	淀川	木津川		補助			0.56	0.0047	0.56	—	—	—	—	—
8	淀川	淀川	枚方大橋中央	基準			0.16	0.013	0.17	0.17	0.21	0.013	0.22	0.22
9	淀川	淀川	菅原城北大橋	基準			0.12	0.0096	0.13	0.13	10	0.90	11	11
10	淀川	猪名川	利倉	基準			0.14	0.013	0.16	0.16	0.35	0.093	0.44	0.44
11	淀川	藻川	中園橋	基準			0.14	0.030	0.17	0.17	0.32	0.072	0.39	0.39
12	加古川	加古川	池尻(加古川橋)	基準			0.24	0.0048	0.24	0.24	0.36	0.013	0.37	0.37
13	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	基準			0.066	0.0047	0.071	0.071	1.1	0.24	1.3	1.3
14	円山川	円山川	立野	基準			0.068	0.0047	0.073	0.073	0.21	0.013	0.22	0.22
15	由良川	由良川	波美橋	基準			0.079	0.005	0.084	0.084	0.49	0.034	0.53	0.53
16	北川	北川	高塚	基準			0.31	0.0047	0.32	0.32	0.26	0.016	0.27	0.27
17	九頭竜川	九頭竜川	中角	基準			0.19	0.0047	0.19	0.19	0.20	0.013	0.22	0.22

注1:四捨五入により、(PCDD+PCDF)とDL-PCBの和が、Totalと一致しないことがある。

注2:赤色のセルは、環境基準値(水質:1pg-TEQ/L、底質:150pg-TEQ/g)を超えた値を表す。

注3:水質基準の達成状況は、測定地点ごとに年間平均値により評価する。また、底質基準の達成状況は測定結果ごとに、また測定地点ごとに評価する。

(※1 重点監視地点とは、過年度の調査で環境基準値を超えた地点のうち、その後の調査で環境基準を2年間下回っていない地点。)

表－3.5 重点監視地点※の検出濃度の推移（水質）

(単位:pg-TEQ/L)

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.38	0.61	0.28	0.35	0.48	0.31	0.30	0.68	0.64	0.47	0.87	0.52	0.52	0.36	0.52	0.33
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.29	0.49	0.33	0.28	0.31	0.32	0.53	0.21	0.54	0.37	0.41	0.31	0.43	0.50	0.44	0.19
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.42	1.1	0.44	0.26	1.0	0.71	0.35	0.27	0.55	0.47	0.40	0.35	0.54	0.49	0.39	0.20
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.39	0.94	0.41	0.36	0.36	0.41	0.29	0.27	0.38	0.26	0.40	0.17	0.56	0.48	0.36	0.17
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.53	0.89	0.47	0.54	0.37	0.31	0.18	0.30	0.39	0.33	0.41	0.13	0.82	0.30	0.33	0.13

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.60	0.88	0.59	1.4	0.31	0.30	0.41	0.44	0.34	0.43	0.12	0.26	—	—	0.29	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.49	—	0.67	0.47	1.0	0.38	0.37	0.37	0.20	0.57	0.50	0.12	0.26	0.48	0.30	0.11
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.48	0.95	0.57	0.42	0.44	0.42	0.30	0.26	0.25	1.1	0.27	0.13	0.20	0.51	0.26	0.14
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.30	0.73	0.47	0.35	0.32	0.28	0.25	0.16	0.19	0.63	0.095	0.085	0.16	0.59	0.16	0.23
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.71	0.48	0.31	0.40	0.37	0.21	0.13	0.16	0.73	0.12	0.098	0.41	0.85	0.59	0.14

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.95	—	0.39	0.41	0.35	0.18
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.28	0.32	0.23	0.57	0.3	0.63	0.31	0.13	0.14	0.51	0.36	0.28	0.43	0.48	0.34	0.14
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.21	0.46	0.31	0.50	0.31	0.71	0.30	0.21	0.13	1.0	0.37	0.24	0.34	0.52	0.26	0.11
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.18	0.19	0.14	0.42	0.19	0.42	0.14	0.15	—	—	0.580	—	0.26	0.60	0.22	0.10
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.18	0.11	0.13	0.43	0.26	0.58	0.12	0.10	0.09	0.98	0.56	0.180	0.23	0.89	0.26	0.11

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.29	0.38	0.31	0.44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.36	0.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.26	0.56	0.29	0.19	0.23	0.62	0.25	0.38	0.26	0.81	0.23	0.10	0.22	0.54	0.53	0.26
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.21	0.30	0.18	0.21	0.16	0.44	0.35	—	—	—	0.20	—	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.34	0.18	0.23	0.25	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

府県名	水系名	河川名	調査地点	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.23	0.44	0.23	0.21	0.23	0.68	0.23	0.33	0.34	1.2	0.28	0.15	0.34	0.75	0.36	0.16
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.29	—
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.28	—

府県名	水系名	河川名	調査地点	令和6年度				令和7年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.16	0.55	0.30	0.16	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	—	—	0.41	—	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	—	—	—	—	—	—	—	—
三重県	淀川	木津川	岩倉橋					3.80	0.56	—	—

※ 平成16年度以降重点監視地点となった地点を示している。

注1: 【令和5年まで】

黄色のセルは、要監視濃度（環境基準値の1/2（水質：0.50pg-TEQ/L））を超えた値を表す。

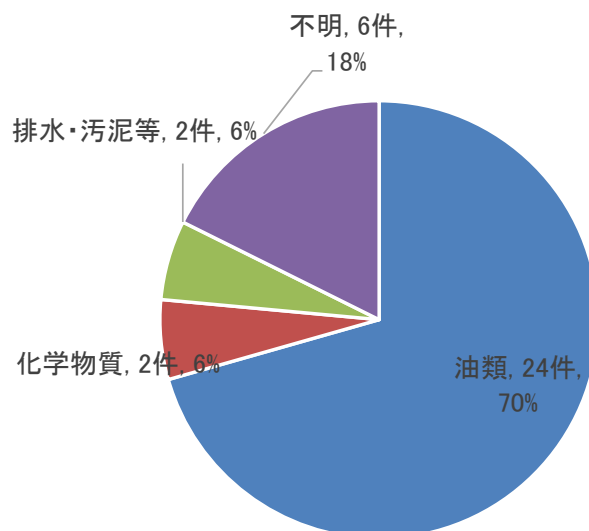
赤色のセルは、環境基準値（水質：1pg-TEQ/L）を超えた値を表す。

【令和6年から】

赤色のセルは、環境基準値（水質：1pg-TEQ/L）を超えた値を表す。

4. 水質事故の発生状況

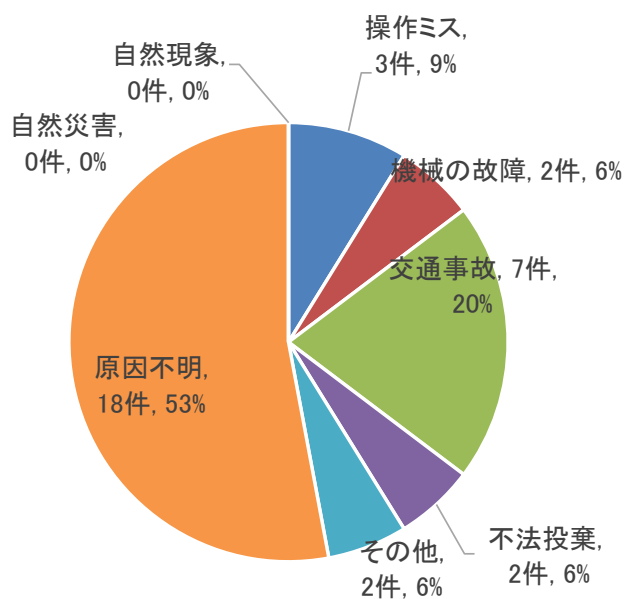
令和7年における近畿地方整備局管内（指定区間等を含む）の年間の水質事故発生件数は34件であった。
このうち、24件（70％）が油類の流出事故であった。



図－4.1 種類別事故発生件数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が 100%にならないことがある。

事故原因別では、原因不明が18件（53％）、交通事故が7件（20％）、工場等での操作ミスが3件（9％）、機械の故障、不法投棄、その他がそれぞれ2件（6％）であった。



図－4.2 原因別事故発生件数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が 100%にならないことがある。

これらの水質事故については、各水系に設置されている水質汚濁防止連絡協議会（国土交通省、府県、市町村等の土木部局・環境部局・水道部局等により構成）等により速やかに関係機関等に通報・連絡するとともに、発生源の調査、及び原因物質特定、河川への拡散防止等の対策を講じている。